



PSR-D1

DTX

取扱説明書



ごあいさつ

このたびはヤマハDJXをお買いもとめいただき、
まことにありがとうございます。DJXのさまざまな機能を十分に活用するために、
この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。
なお、読み終わった後も、保証書とともに大切に保管して、
操作のしかたがわからないときにお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-5C)以外は使用しない。
(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



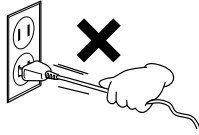
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

⚠️ 注意

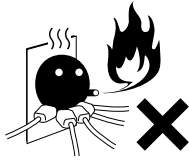
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

- ❌ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

- ❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



- ❌ タコ足配線をしな。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



- ❗ 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。

- ❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示通りに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

- ❗ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)と一緒に使用しない。発熱、発火、液漏れの原因になります。

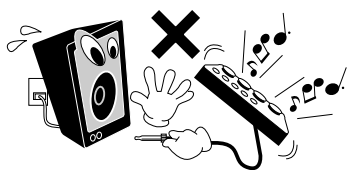
- ❌ 乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。

- ❌ 使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。

- ❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

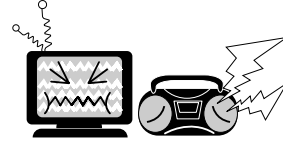
- ❌ 乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

- ❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。感電または機器の損傷のおそれがあります。



- ❌ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

- ❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



- ❌ 不安定な場所に置かない。機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- ❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

- ❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- ❌ 指定のスタンド/ラック以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

- ❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



作成したデータの保存について

- ❗ 作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはヤマハMIDIデータファイラーMDF3等の外部機器に保存されることをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。また、使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

演奏の準備	6
電源の準備	6
譜面立ての取り付け方	6
ヘッドフォン/外部出力端子について	7
フットスイッチ端子について	7
MIDI端子について	7
MIC/LINE IN端子について	7

各部の名称	8
--------------	---

操作早見表

ステップ1 これがDJXだ!!	10
ステップ2 DJXの鍵盤の機能	12
ステップ3 デモソングの鳴らしかた/ボイス/ スタイルの選びかた	14
デモソングを鳴らしましょう	14
鍵盤で弾く音色(ボイス)を選びましょう	14
スタイルを選びパターンを鳴らしましょう	15
ステップ4 デジタルサンプリング	16
ステップ5 ファンクション	18
ステップ6 ノブ/リボンコントローラー/ フットスイッチにいろいろな 機能をアサインする	20

基本操作を覚えましょう(ディスプレイの見かた)	22
--------------------------------	----

ソングを鳴らしましょう	25
デモソングを続けて聴くには...	25
好きなソングを1曲ずつ聴くには...	25
テンポ(BPM)の調整	26
ソング音量	27
トラックをオン/オフ	27

ボイス(音色)を選んで演奏しましょう	28
メインボイスを選ぶ	28
メインボイスの各種設定	29
ボイスセットのオン/オフ	31
タッチセンスを調整する	31
デュアルのオン/オフ	32
デュアルボイスの各種設定	32
スプリットのオン/オフ	33
2つのスプリットポイントについて	34
スプリットボイスの各種設定	35
トランスポーズ	36
チューニング	36

効果を付けて演奏しましょう	37
リバーブのオン/オフ	37
リバーブの各種設定	37

コーラスのオン/オフ	38
コーラスの各種設定	38
DSPのオン/オフ	39
DSPの各種設定	39
アルペジエーターのオン/オフ	40
アルペジエーターの各種設定	40
演奏中に音程を変更する(ピッチベンド)	41
ピッチベンドレンジの設定	41

パターンを鳴らしてみましょう(スタイル)	42
パターン演奏とは...	42
スタイルを選ぶ	42
パターン演奏のスタート	43
スタート	43
シンクロスタート	43
リードインスタート	44
パターン演奏のストップ	44
パターン演奏のコードの押さえ方	45
簡単にコードを変えるには...	45
本格的な押さえ方でコードを変えるには...	45
パートのオン/オフ	47
ビートリバース機能	47
パターン演奏に合わせてメロディ演奏	48
パターン音量の調整	48
セクションの切り替え	49
リードインセクション(LEAD IN/LEAD OUTボタン)	49
ビートセクション(BEAT A/Bボタン)	49
ブレイクアウトセクション(BEAT A/Bボタン)	50
リードアウトセクション(LEAD IN/LEAD OUTボタン)	50
パターン演奏のスプリットポイントを変更する	51

スタイルに合ったボイスを選ぶには (パフォーマンスセットアップ)	52
プリセットA/Bを呼び出す	52
ユーザー設定を記録する	53
記録したパネル設定(ユーザー1~4)を呼び出す	55

ノブ&リボンコントローラーを使ってみましょう (ノブ&リボンコントローラー)	56
ノブについて	56
CUTOFFノブ	56
RESONANCEノブ	57
GROOVEノブ	57
ASSIGNノブ	57
BASS BOOSTノブ	59
リボンコントローラーについて	59

自分の声や音を録音するには(サンプリング)	62
サンプリング	62
ループ再生	67
エンドポイントの設定	69

録音しましょう	71
録音モードについて	71
演奏をそのまま録音する(リアルタイム録音)	72
リハーサルモードについて	74
楽譜形式で1音ずつ録音する(ステップ録音)	76
ステップ入力について	80
音符の置き換え	81
ベロシティカーブの設定	81
ソングを削除する(ソングクリア)	83
フットスイッチの機能を設定しましょう	84
MIDI機器を接続して演奏しましょう	85
MIDIって何?	85
パーソナルコンピューターと接続する	87
外部機器からMIDIデータを受信する (リモートチャンネルの設定)	88
外部機器へMIDIデータを送信する (キーボードアウト/パターンアウトの設定)	89
外部機器へMIDIデータを送信する (キーボードアウト/パターンアウトの設定)	89
ローカルオン/オフを設定する	90
クロックを設定する	90
バルクダンプを送信する	91
DJXのパネル設定を送信する(イニシャルセンド)	92
サンプリングデータをバルクダンプ送信する (サンプルバルクダンプ)	93
ボイスリスト	94
スタイルリスト	97
ドラムキットリスト	98
エフェクトタイプリスト	101
故障かな?と思ったら	102
MIDIインプリメンテーションチャート	104
初期化(イニシャライズの方法)	107
オプション(別売)商品のご紹介	107
インデックス	108
DJX仕様	110
保証とアフターサービス	111

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

微妙なニュアンスを表現できるタッチレスボンス付61鍵キーボード

高音質、バラエティ豊かなパネルボイス140音色+10ドラムキット+5スペシャルキット+GMボイス128音色+スペシャルボイス1音色+サンプリングボイス1音色。最大同時発音数32。

パネルボイスを選んだ時に、各ボイスに最適なデュアルボイスなどが自動的にセットされるボイスセット機能

先進のテクノ/ダンス系パターンを中心に100スタイルのパターン演奏機能

各スタイルに最適なパネル設定(ボイス/エフェクト設定など)をボタン一つで呼び出し、すぐに演奏できるパフォーマンスセットアップ(プリセットA/B)機能

最大16種類のパネル設定(ボイス・スタイルなどの設定)を記憶させ、演奏中もワンタッチで呼び出せるパフォーマンスセットアップ(ユーザー)機能

自分の声やCD演奏などを録音して、簡単に演奏に活用できるデジタルサンプリング機能

パターン演奏(演奏パート)を、アナログシンセのように視覚的にコントロールできる5ノブ(カットオフ/レゾナンス/グループ/アサイン/ベースブースト)

スクラッチ感覚でこずることにより、パターン演奏(演奏パート)をコントロールできるリボンコントローラー演奏に効果的なデジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP/アルペジエーター)機能

コード1トラック+メロディ5トラック、合計6トラックに録音(再生)できるソングメモリー機能。録音方法は、リアルタイム録音とステップ録音の2種類。

さまざまな機能が設定でき、便利に活用できるフットスイッチ機能(フットスイッチはオプション商品)。

パネルの設定状況や、コード表示などを一目で確認できる大型液晶画面。

音楽の可能性を広げるMIDI機能(GMシステムレベル1対応)

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



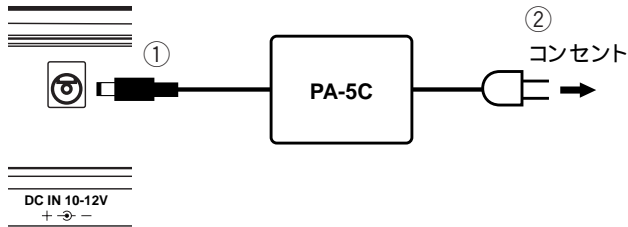
演奏の準備

電源の準備

DJXは、電源として、電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① リアパネルのDC IN 10-12V [電源アダプター] 端子へさし込みます。
- ② 家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



- ❗ 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-5Cをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。
- ❗ 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

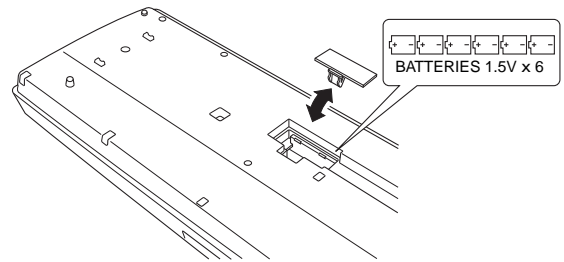
同梱品について

DJXの同梱品を確認してください。

本体	取扱説明書
電源アダプターPA-5C	保証書
譜面立て	

乾電池を使うときは

- ① 柔らかい布などの上で裏返します。電池プタをはずします。
- ② 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池プタを閉めます。

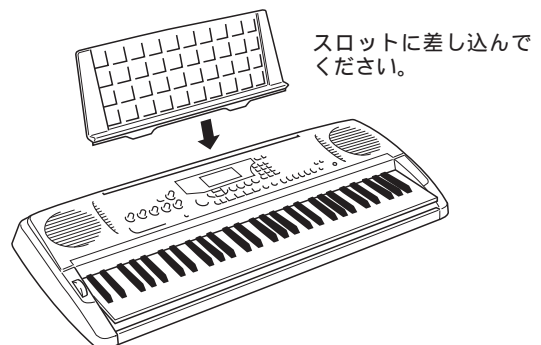


乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、ディスプレイの表示が消えたり、記憶させている内容が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

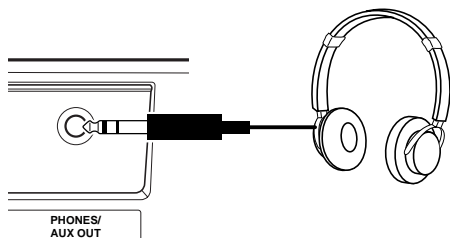
- ❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ❗ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なるもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- ❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

メモ 乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

譜面立ての取り付け方



ヘッドフォン/外部出力端子について



接続すると自動的にDJXのスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/AUX OUT端子は外部出力端子にもなります。PHONES/AUX OUT端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、DJXの演奏を外部機器で鳴らすことができます。

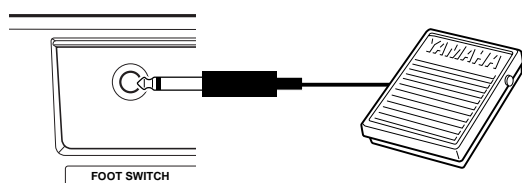


大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



DJXを外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。

フットスイッチ端子について

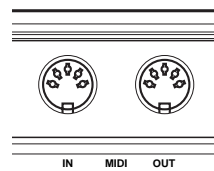


別売のフットスイッチ(FC4またはFC5)をこの端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン/オフ、パターンのスタート/ストップなど、さまざまなコントロールが可能になります。(84ページ参照)



FOOT SWITCH端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。フットスイッチを踏みながら電源を入れないでください。

MIDI端子について



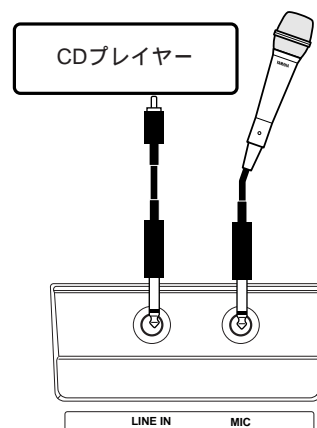
MIDI IN端子は外部のMIDI機器からMIDI信号を受信します。MIDI OUT端子はDJXからMIDI信号(DJXで演奏した音符やキーを叩いた強さなど)を他の機器に送ります。



MIDIケーブルは楽器店などでお買い求めください。

MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因になりますのでご注意ください。

MIC/LINE IN端子について



サンプリングに使用する端子です。(62ページ参照)

MIC端子にマイクを接続すれば、DJXに人の声などを録音することができます。また、LINE IN端子に外部機器を接続すれば、シンセサイザーやCDプレイヤーなどの演奏を録音することもできます。



各部の名称

フロントパネル

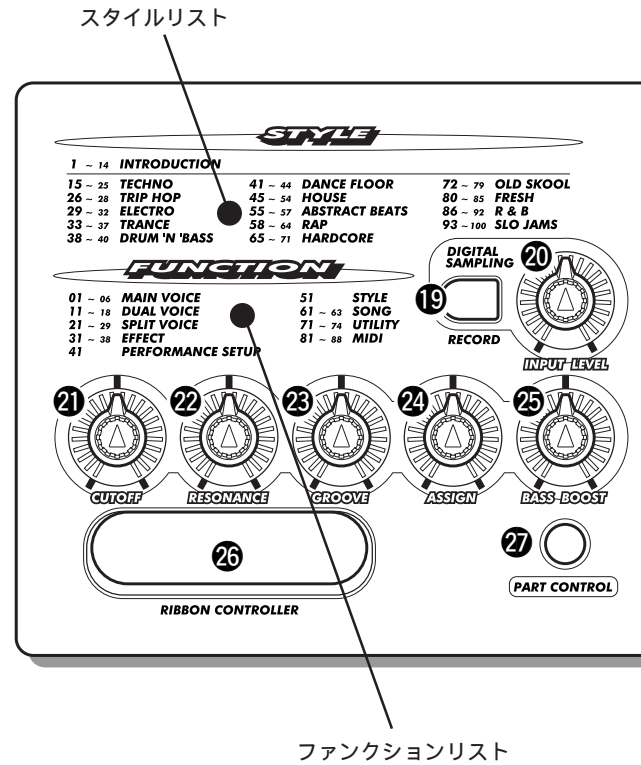
- ① STAND BY/ON(電源入/切)スイッチ 23ページ
- ② MASTER VOLUME(全体音量)コントロール 22ページ
- ③ OVERALL(設定変更), [+] [-] ボタン 22ページ
- ④ FUNCTION(ファンクション)ボタン 18ページ
- ⑤ SONG(ソング)ボタン 23ページ
- ⑥ STYLE(スタイル)ボタン 23ページ
- ⑦ VOICE(ボイス)ボタン 23ページ
- ⑧ ナンバーボタン[1]-[0] [+] [-] ボタン
(ステップ録音キー) 23, 78ページ
- ⑨ PATTERN CONTROL(パターンコントロール)ボタン 43ページ
- ⑩ SYNC-START(シンクロスタート)ボタン 44ページ
- ⑪ START/STOP(スタート/ストップ)ボタン 43, 44ページ
- ⑫ LEAD IN/LEAD OUT
(リードイン/リードアウト)ボタン 44, 49, 50ページ
- ⑬ BEAT A/B : BREAK OUT
(ビートA/B : ブレイクアウト)ボタン 49, 50ページ
- ⑭ RECORD(録音)ボタン 71ページ
- ⑮ PERFORMANCE SETUP(パフォ - マンスセットアップ)ボタン
[SONG MEMORY(ソングメモリー)ボタン]... 54, 55, 73, 77ページ
- ⑯ ARPEGGIATOR(アルペジエーター)ボタン 40ページ
- ⑰ REVERB(リバーブ)ボタン 37ページ
- ⑱ DUAL(デュアル)ボタン 32ページ

DIGITAL SAMPLING(デジタルサンプリング)部

- ⑱ RECORD(録音)ボタン 62ページ
- ⑳ INPUT LEVEL(インプットレベル)ノブ 63ページ
- ㉑ CUTOFF(カットオフ)ノブ 56ページ
- ㉒ RESONANCE(レゾナンス)ノブ 57ページ
- ㉓ GROOVE(グルーブ)ノブ 57ページ
- ㉔ ASSIGN(アサイン)ノブ 57ページ
- ㉕ BASS BOOST(ベースブースト)ノブ 59ページ
- ㉖ RIBBON CONTROLLER(リボンコントローラー) 59ページ
- ㉗ PART CONTROL(パートコントロール) 61ページ
- ㉘ PITCH BEND(ピッチベンド)ホイール 41ページ

リアパネル

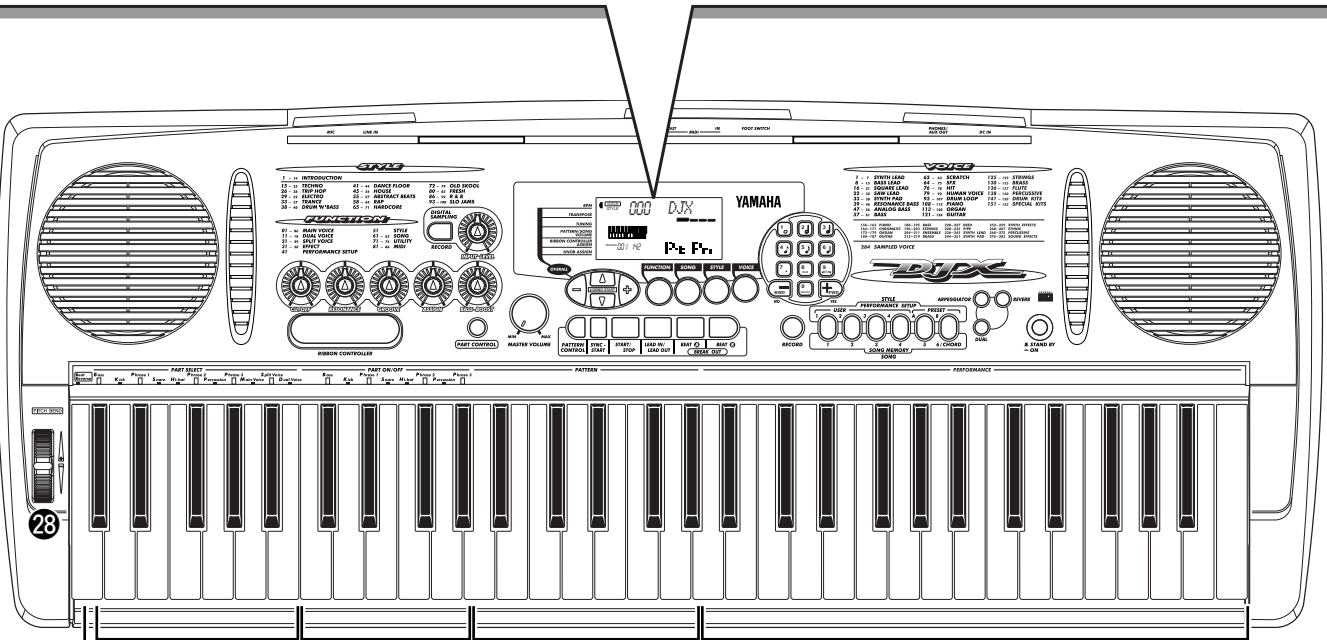
- ㉙ DC IN 10-12V(電源アダプター)端子 6ページ
- ㉚ PHONES/AUX OUT(ヘッドホン/外部出力)端子 7ページ
- ㉛ FOOT SWITCH(フットスイッチ)端子 7ページ
- ㉜ MIDI IN/OUT端子 86ページ
- ㉝ LINE IN(ライン入力)端子 62ページ
- ㉞ MIC(マイク)端子 62ページ



ボイスリスト

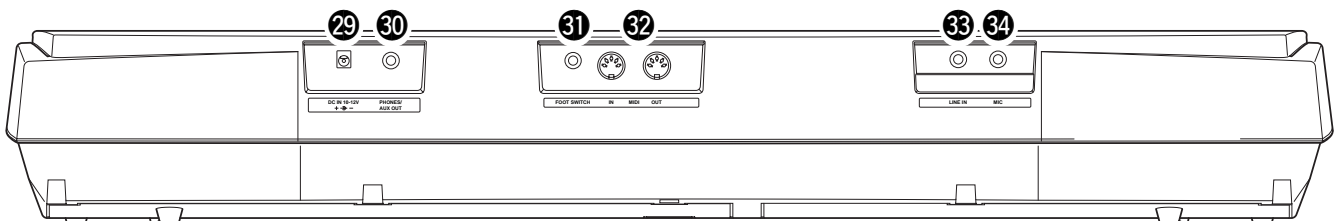
VOICE LIST					
1 - 7	SYNTH LEAD	62 - 63	SCRATCH	125 - 129	STRINGS
8 - 15	BASS LEAD	64 - 75	SFX	130 - 135	BRASS
16 - 21	SQUARE LEAD	76 - 78	HIT	136 - 137	FLUTE
22 - 32	SAW LEAD	79 - 92	HUMAN VOICE	138 - 140	PERCUSSIVE
33 - 38	SYNTH PAD	93 - 107	DRUM LOOP	141 - 150	DRUM KITS
39 - 46	RESONANCE BASS	108 - 112	PIANO	151 - 155	SPECIAL KITS
47 - 56	ANALOG BASS	113 - 120	ORGAN		
57 - 61	BASS	121 - 124	ORGAN		
156-163	PIANO	188-195	BASS	220-227	REED
164-171	CHROMATIC	196-202	STRINGS	228-235	PIPE
172-179	ORGAN	204-211	ENSEMBLE	236-243	SYNTH LEAD
180-187	GUITAR	212-219	BRASS	244-251	SYNTH PAD
252-259	SYNTH EFFECTS		260-267	ETHNIC	
268-275	PERCUSSIVE		276-283	SOUND EFFECTS	

284 SAMPLED VOICE



パートセレクト鍵域 (C#1 ~ B1) パートオン/オフ 鍵域 (C2 ~ G#2) パターン鍵域 (A2 ~ G#3) パフォーマンス鍵域 (A3 ~ C6)

ビートリバス 鍵盤 (C1)



これが

だ!!



Power On!

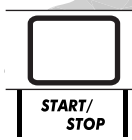
- ① 電源を入れる。



STAND BY
ON

Start the Pattern!

- ② START/STOPボタンを押して、パターン演奏をスタートする。PATTERN鍵域を押してもスタート。



☉ 詳細は43ページを参照してください。

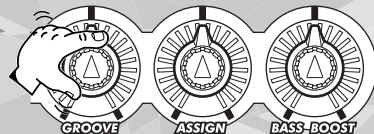
Let's Play!

- ③ ノブ(右側3つ)を回す。

☉ 詳細は56ページを参照してください。

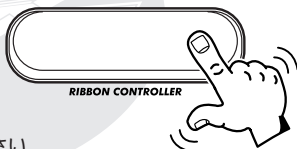
GROOVE ノブ

パターンのタイミングをずらして、ノリを変える。



Let's Scratch!

- ④ リボンコントローラーをこする。ASSIGNノブ同様さまざまなコントロールがアサインできる。



☉ 詳細は59ページを参照してください。

ASSIGN ノブ

ダイナミクスや、テンポ(BPM)とピッチなど、さまざまなコントロールがアサインできる。

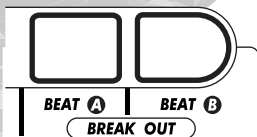
BASS BOOST ノブ

パターンの低音をブーストして、演奏の厚みを変える。

Beat A ↔ Beat B

- ⑤ BEAT A/Bボタンを押してパターンの雰囲気を変える。

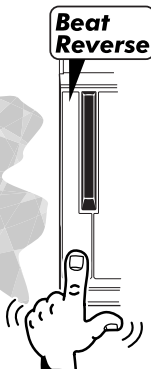
☉ 詳細は49ページを参照してください。



Beat Reverse!

- ⑥ BEAT REVERSE鍵盤を押して、裏拍で次の小節の頭にジャンプ。連続して押さえると1拍目の8分音符だけを連続演奏。

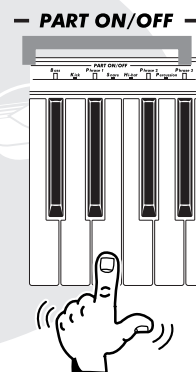
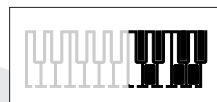
☉ 詳細は47ページを参照してください。

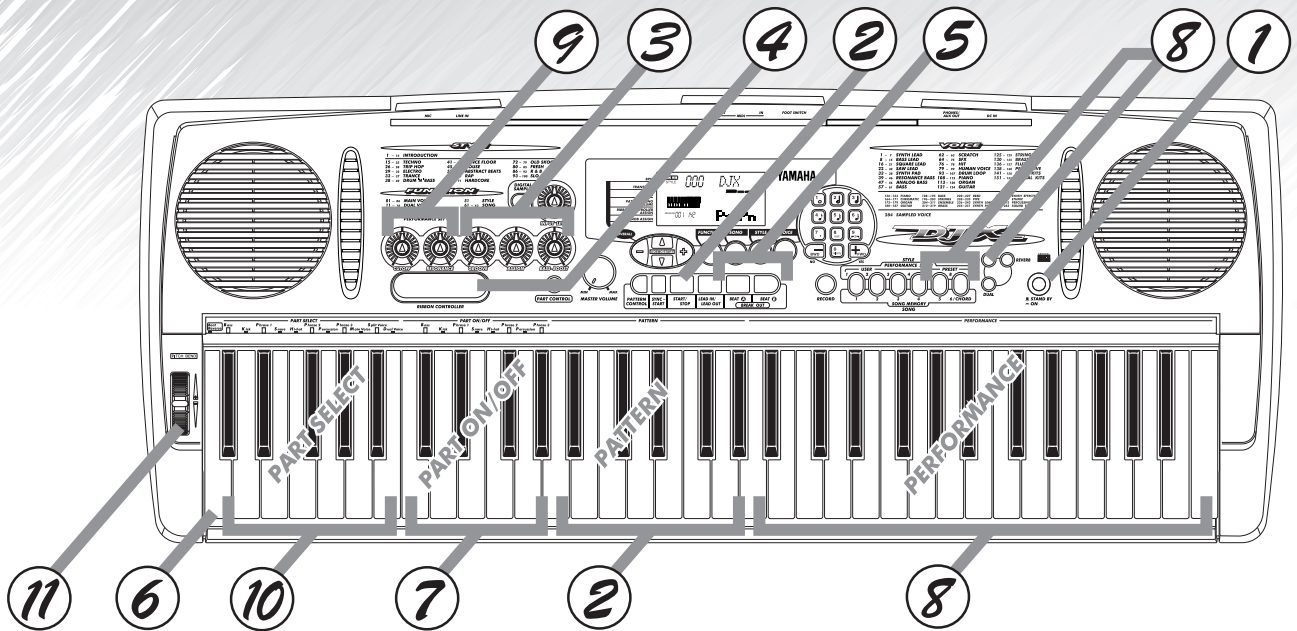


Part Mute!

- ⑦ PART ON/OFF鍵盤を押して、パート単位でミュート(消音)する。現在鳴っているパートは、ディスプレイに点灯表示される。

☉ 詳細は47ページを参照してください。

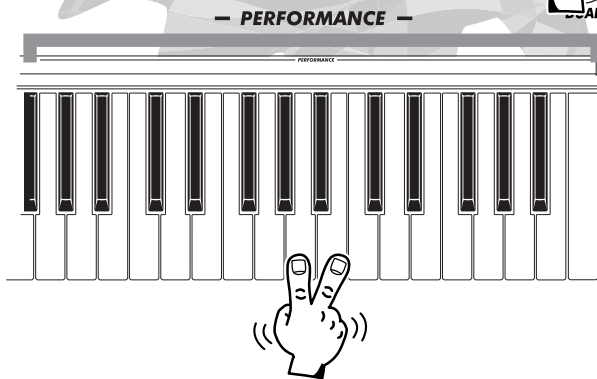
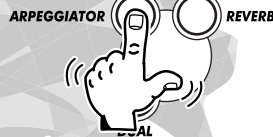




Let's Performance!

- ⑧ PERFORMANCE鍵盤を押すと、人の声や効果音(ボイスナンバー000)が鳴る。PERFORMANCE SETUP PRESET A(B) ボタンを押すと、各スタイルに最適なボイスを呼び出せる。さらに、ARPEGGIATORボタンを押してアルペジエーターをオンにして、PERFORMANCE鍵盤を押すと、アルペジエーターがかかる。

☎ 詳細は 29, 52, 40 ページを参照してください。



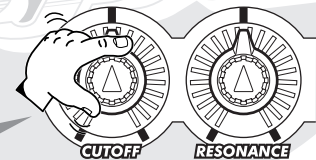
Let's Play!

- ⑨ PERFORMANCE鍵盤で演奏しながら、ノブ(左側2つ)を回す。RESONANCEノブを右へいっぱい回してからCUTOFFノブを回すと効果的。

☎ 詳細は 56 ページを参照してください。

CUTOFF ノブ

PERFORMANCE鍵盤の演奏のカットオフ周波数をコントロール。右に回すと明るいサウンドに、左に回すともったサウンドになる。



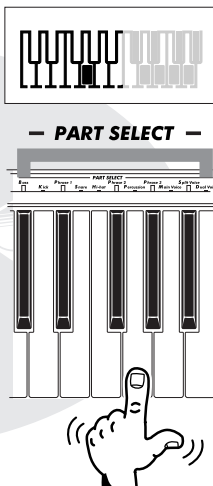
RESONANCE ノブ

カットオフ周波数付近の効果の大きさをコントロール。右に回すと効果大、左に回すと効果小になる。

Part Select!

- ⑩ PART SELECT鍵盤を押して、ノブでコントロールできるパートを選ぶ。ディスプレイには現在コントロールしているパートが点灯表示される。

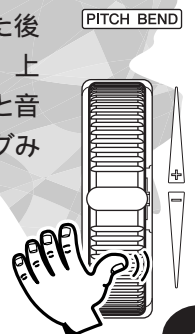
☎ 詳細は 61 ページを参照してください。



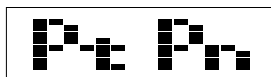
Bend Up! Bend Down!

- ⑪ ピッチベンドホイールを回す。PERFORMANCE鍵盤を押さえた後に、ピッチベンドホイールを回す。上に回すと音程が上がり、下に回すと音程が下がる。ギターのように、音程をアップダウン。

☎ 詳細は 41 ページを参照してください。



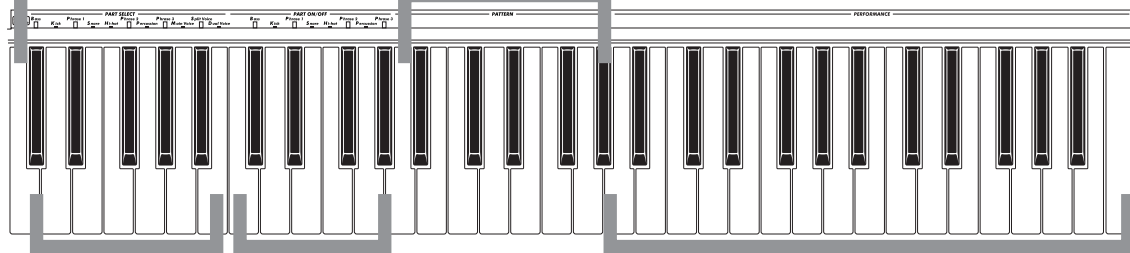
A 電源を入れたときの状態



パートコントロール「オン」
パターンコントロール「オン」

ビートルリバーズ鍵盤 (47ページ参照)...ビート(拍)の表と裏を入れ替えます。

パターン鍵域 (45ページ参照)...コードを押さえます。



パートオン/オフ鍵域 (47ページ参照) ...各パートのオン/オフ(鳴らす/鳴らさない)を設定します。
パフォーマンス鍵域 (29ページ参照) ...パネルで選んだボイスを鳴らします。

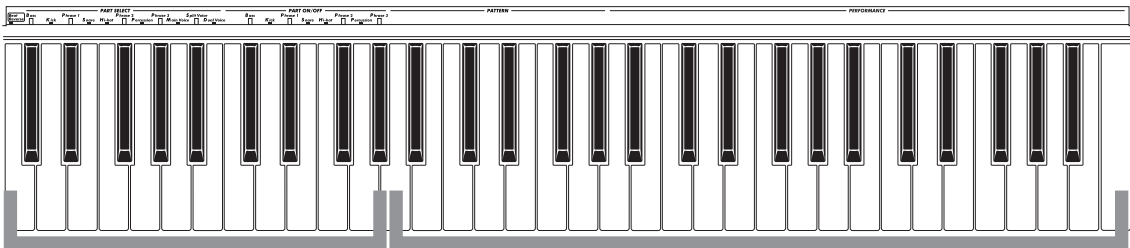
パートセレクト鍵域 (61ページ参照)...ノブやリボンコントローラーの効果のかかるパートを設定します。

B パートコントロールをオフにすると...



パートコントロール「オフ」
パターンコントロール「オン」

パターンスプリットポイント



パターン鍵域 (45ページ参照) ...コードを押さえます。

パフォーマンス鍵域 (29ページ参照) ...パネルで選んだボイスを鳴らします。

パートコントロールをオフにすると、パターンスプリットポイントは1オクターブ下がります。

スペシャルボイスでDJパフォーマンス!!

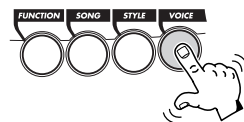
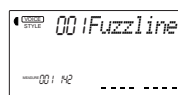
電源を入れたときに選ばれているボイスナンバー000は、DJXにプリセットされているボイスが鍵盤ごとに鳴らせるスペシャルボイスです。黒鍵にリズム(ドラムループ)、白鍵に人声/効果音などが入っているので、これだけでも簡単にパフォーマンスできます。

上のDの状態で、

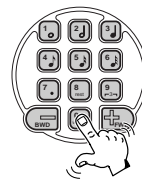
レッツパフォーマンス!



1 VOICEモードにする。



2 ボイスナンバー000を選ぶ。



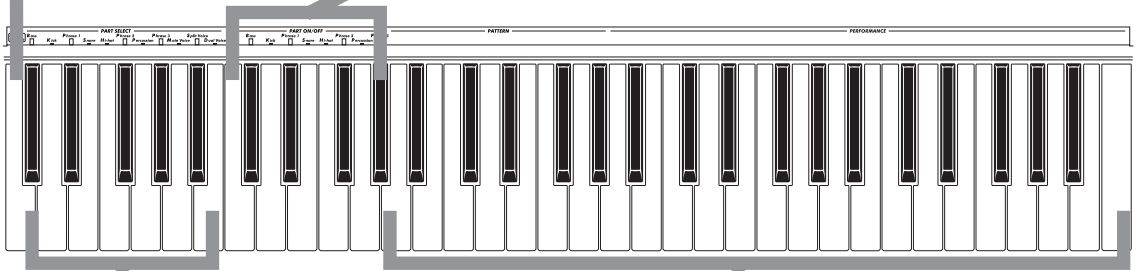
C パターンコントロールだけをオフにすると...



パートコントロール「オン」
パターンコントロール「オフ」

ビートリバース鍵盤 (47ページ参照)
...ビート(拍)の表と裏を入れ替えます。

パートオン/オフ鍵盤 (47ページ参照)
...各パートのオン/オフ(鳴らす/鳴らさない)を設定します。



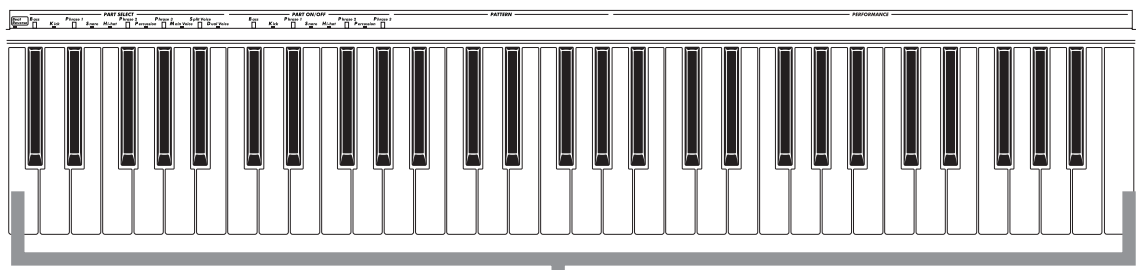
パートセレクト鍵盤 (61ページ参照)
...ノブやリボンコントローラーの効果の
かかるパートを設定します。

パフォーマンス鍵盤 (29ページ参照)
...パネルで選んだボイスを鳴らします。
パターン鍵盤がなくなるので、コードの指定ができなくなります。

D パートコントロールと
パターンコントロールをオフにすると...



パートコントロール「オフ」
パターンコントロール「オフ」



パフォーマンス鍵盤 (29ページ参照)
...パネルで選んだボイスを鳴らします。

パターン鍵盤がなくなるので、
コードの指定ができなくなります。

3 鍵盤を押さえていろいろなボイスを鳴らす。
ノブやリボンコントローラーも使ってみましょう。

DJXボイスリスト

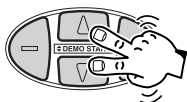
Analog Kit 3	Uhh+Hit	Ohh 2	Ohh 1	Yo-Kurt	HiJuu	Huea	Turntable	Signal	Reverse	Omeh-FX	FM/TB2	BLJ Trill	FM/TB1	Yeah...	Uhh	Gol!	GetUp!	Come On 2	Come On 1	Scratch (L)	Scratch (H)
	Samba137	114bpmC4	110bpmC4	144bpmC4	093bpmC4	160bpmC4	138bpmC4	137bpmC4	135bpmC4	134bpmC4	108bpmC4	103bpmC4	102bpmC4	098bpmC4	091bpmC4						

黒鍵を押さえながら、白鍵をいろいろ押してパフォーマンス!

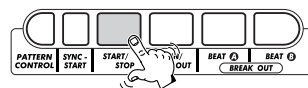
デモソングを鳴らしましょう

この楽器の性能をフルに活用したデモソングが3曲入っています。ソングナンバー1~3を続けて聴いてみましょう。

- 1 OVERALL ボタンと
ボタンを同時に押す。



- 2 ソングをストップ。

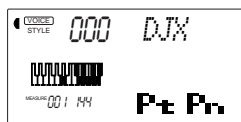
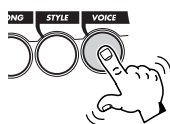


鍵盤で弾く音色(ボイス)を選びましょう

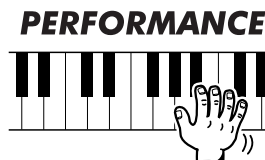
DJXには、284種類の音色(ボイス)が入っています。いろいろなボイスを選んで鳴らしてみましょう。

パネルボイス 0スペシャルボイス
+ 1~140[140音色]
+ 141~150ドラムキット[10キット]
+ 151~155スペシャルキット[5キット]
GMボイス 156~283[128音色]
サンプリングボイス 284[1音色]

- 1 VOICEモードにする。



- 3 PERFORMANCE鍵域で演奏する。



- 2 (下のパネルボイスリストを見て)
ボイスを選ぶ。



◎ 詳細は28ページを参照してください。

パネルボイスリスト

ボイスNo.156以降はボイスリスト(94ページ)を参照してください。

<p>No. ボイスネーム</p> <p>0 DJX</p> <p>SYNTH LEAD</p> <p>1 Fuzzline 2 Talkbox 3 Acid Sync 4 Universe 5 Adrenaline 6 Fragile 7 Cut Glass</p> <p>BASS LEAD</p> <p>8 Killer S 9 Reso-X 10 Choppy 11 PhatMan 12 Organese 13 Happy Vibes 14 TriTouch 15 Sync</p> <p>SQUARE LEAD</p> <p>16 MC-Line 17 Alien 18 Psyche 19 Clanger 20 Square Lead 1 21 Square Lead 2</p>	<p>No. ボイスネーム</p> <p>SAW LEAD</p> <p>22 Break It 23 Scary 24 Move It 25 Robot Lead 26 Fat 27 Seq Ana 28 Stab 29 Pulse Saw 30 Sawtooth Lead 1 31 Sawtooth Lead 2 32 Bedtime</p> <p>SYNTH PAD</p> <p>33 Sequenza 34 Insomnia 35 Wave2001 36 Amber 37 Eerie 38 Trance Pad</p> <p>RESONANCE BASS</p> <p>39 Techno Bass 40 Kickin'B 41 Bassline 42 Nu Floor 43 Fish303 44 No.No.No</p>	<p>No. ボイスネーム</p> <p>45 Nu Swing 46 Synth Bass</p> <p>ANALOG BASS</p> <p>47 Analog Bass 48 Dance Bass 49 Snap Bass 50 Old Mini 51 Power Bass 52 Dub Bass 53 Factory 54 Hyper 55 Kidz Bass 56 Techno</p> <p>BASS</p> <p>57 Acoustic Bass 58 Finger Bass 59 Pick Bass 60 Fretless Bass 61 Slap Bass</p> <p>SCRATCH</p> <p>62 Scratch 63 Killer DJ</p> <p>SFX</p> <p>64 FMTB 1 65 BLJ Trill 66 Omen-FX</p>	<p>No. ボイスネーム</p> <p>67 Rave Pipe 1 68 Rave Pipe 2 69 FMTB 2 70 GtrChord 71 HiquiTB 72 Reverse 73 Signal 74 Aah 75 Turntable</p> <p>HIT</p> <p>76 Metal Hit 77 Sharp Hit 78 Mild Hit</p> <p>HUMAN VOICE</p> <p>79 Come On 1 80 Come On 2 81 GetUp! 82 Go!! 83 Huea 84 Hiuhu 85 Yo-Kurt 86 Oh Babe 87 Ohh 1 88 Ohh 2 89 One More Time 90 Uhh</p>	<p>No. ボイスネーム</p> <p>91 Uhh+Hit 92 Yeah...</p> <p>DRUM LOOP</p> <p>93 091bpmC4 94 095bpmC4 95 096bpmC4 96 102bpmC4 97 103bpmC4 98 106bpmC4 99 110bpmC4 100 114bpmC4 101 134bpmC4 102 135bpmC4 103 137bpmC4 104 138bpmC4 105 144bpmC4 106 160bpmC4 107 Samba137</p> <p>PIANO</p> <p>108 Funky Electric Piano 109 DX Electric Piano 110 CP 80 111 Bell Electric Piano 112 Clavi</p> <p>ORGAN</p> <p>113 Jazz Organ 1</p>	<p>No. ボイスネーム</p> <p>114 Jazz Organ 2 115 Rock Organ 116 Cheez Organ 117 16'+2' Organ 118 Dance Organ 119 MissU 120 R&B Organ</p> <p>GUITAR</p> <p>121 Octave Guitar 122 Clean Guitar 123 Muted Guitar 124 Overdriven Guitar</p> <p>STRINGS</p> <p>125 Strings 126 Marcato Strings 127 Synth Strings 128 StringPad 129 Pizzicato</p> <p>BRASS</p> <p>130 Techno Brass 131 Jump Brass 132 Brass Phase 133 Synth Brass 134 Bright Brass 135 Brass Tek</p>	<p>No. ボイスネーム</p> <p>FLUTE</p> <p>136 Ethnic Flute 137 Coco Flute</p> <p>PERCUSSIVE</p> <p>138 Claps-X 139 Rim-X 140 Tom-X</p> <p>DRUM KITS</p> <p>141 Standard Kit 1 142 Standard Kit 2 143 Room Kit 144 Rock Kit 145 Electronic Kit 1 146 Analog Kit 1 147 Dance Kit 148 Jazz Kit 149 Brush Kit 150 Symphony Kit</p> <p>SPECIAL KITS</p> <p>151 Analog Kit 2 152 Analog Kit 3 153 Electronic Kit 2 154 B900 Kit 155 DJX Kit</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

スタイルの選びかた

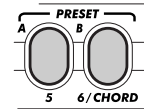
スタイルを選びパターンを鳴らしましょう

DJXには、100種類のスタイルが入っています。
スタイルを選んで、いろいろなパターンを鳴らしてみましょう。

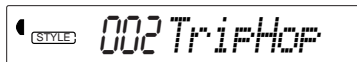
1 STYLEモードにする。



3 PERFORMANCE SETUP (PRESET A、またはB) ボタンを押す。 スタイルに合ったボイスや、パネル設定が 呼び出されます。



2 (下のスタイルリストを見て) スタイルを選ぶ。



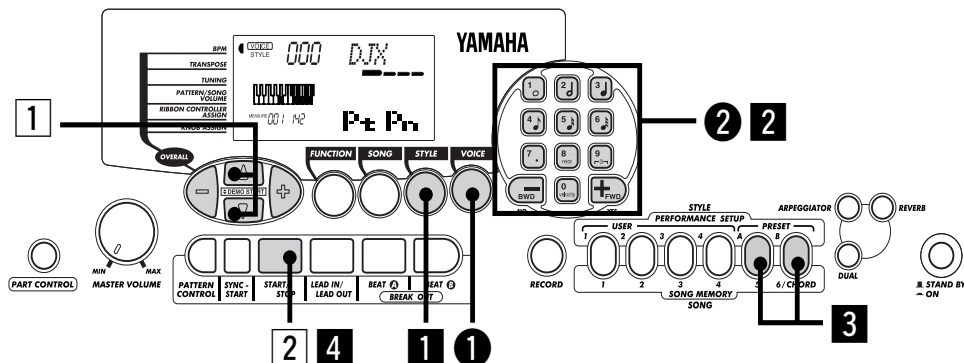
4 パターンを演奏する。



☺ 詳細は 42, 52 ページを参照してください。

スタイルリスト

No. スタイルネーム	No. スタイルネーム	No. スタイルネーム	No. スタイルネーム	No. スタイルネーム	
INTRODUCTION					
1 Pop Techno	23 Speed Garage	DANCE FLOOR			
2 Trip Hop	24 Acid Techno	41 Euro Dance	60 Hype	FRESH	
3 Electro Beat	25 Samba Techno	42 Euro Latin	61 Money	80 Chillin'	
4 Goa	TRIP HOP				
5 Hard Step 8th	26 Funky Trip Hop	43 Pop Reggae	62 Ragga	81 Dreamin'	
6 Handbag 1	27 Pop Trip Hop	44 Handbag 2	63 Shakin'	82 EastSide	
7 Romantic House	28 Vintage Trip Hop	HOUSE			83 Grind
8 Ambient	ELECTRO				84 Hezee
9 Acid Jazz	29 Plastic Electro	45 House	65 Buggin'	85 Loc	
10 Treach	30 Cosmic Beat	46 Acid House	66 Diesel	R & B	
11 Steppa	31 Body Rock	47 Deep House	67 Hi Rolla	86 Bouncy	
12 Struttin'	32 Compilation	48 Progressive House	68 Homies	87 Do it up	
13 All That	TRANCE				88 Hump
14 Soulful	33 Trance	49 Tribal House	69 SuckaMC	89 Plush	
TECHNO					
15 Tribal Techno	34 Psychodelic Trance	50 Vintage Chicago	70 SupaBad	90 Pow!	
16 Gabba	35 Relaxx	51 Hard Floor	71 WestSide	91 Skippin'	
17 Soft Gabba	36 Hypnotic	52 Hip House	OLD SKOOL		
18 Euro Techno	37 Dark Trance	53 Club House	72 Beatbox	SLO JAMS	
19 Modern Detroit Techno	DRUM'N'BASS				
20 Vintage Detroit Techno	38 Drum'n'Bass	54 Dub House	73 Delight	93 1stLuv	
21 Modern Berlin Techno	39 Hard Jungle	ABSTRACT BEATS			94 Cool
22 Minimal Techno	40 Soul 2001	55 Digital Rock	74 Flares	95 DaLadies	
RAP					
58 Bomb					
59 Dance Hall					
75 Funked Up					
76 Jack					
77 Old Skool					
78 Party					
79 Theque					
96 Daydream					
97 Loverz					
98 On Hit					
99 Pushin'					
100 Sultry					

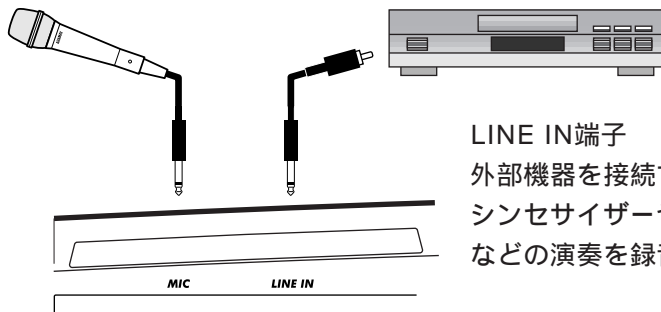


操作早見表 ステップ4 デジタルサンプリング

DJXは、自分の声や物音、CDの演奏などを録音できるサンプリング機能を持っています。サンプリングした音は鍵盤を押さえて、他のボイスと同じようにピッチ付きで鳴らすことができます。

MIC端子

マイクを接続すれば、人の声などを録音できます。

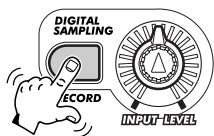


LINE IN端子

外部機器を接続すれば、シンセサイザーやCDプレイヤーなどの演奏を録音できます。

マイク、または外部機器を接続して録音してみましょう。

1 サンプリングモードにする。



トリガーレベル..[+][-]ボタン

4のサンプリング待機状態に入ると、MIC/LINE IN端子からの入力信号が設定したトリガーレベルを越えた時に、サンプリングがスタートします。

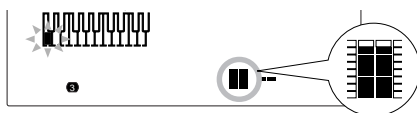
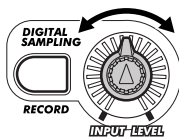
トリガーレベルは、[+][-]ボタンを使って1~7の範囲で調節します(0dB ~ - 18dB : - 3dB単位の7段階)。



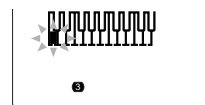
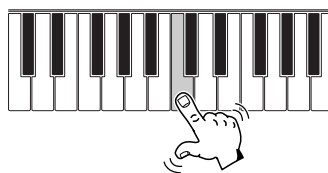
2 入力レベルとトリガーレベルを調節する。

入力レベル...INPUT LEVELノブ

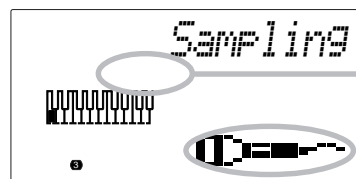
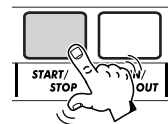
実際にサンプリングする音をマイクに入れて(ライン入力して)ディスプレイの入力レベル表示を確認します。サンプリングする音が大きすぎたり小さすぎる場合は、INPUT LEVELノブを回して適度な値に調節します。



3 サンプリング音を割り当てる鍵盤を選択する。

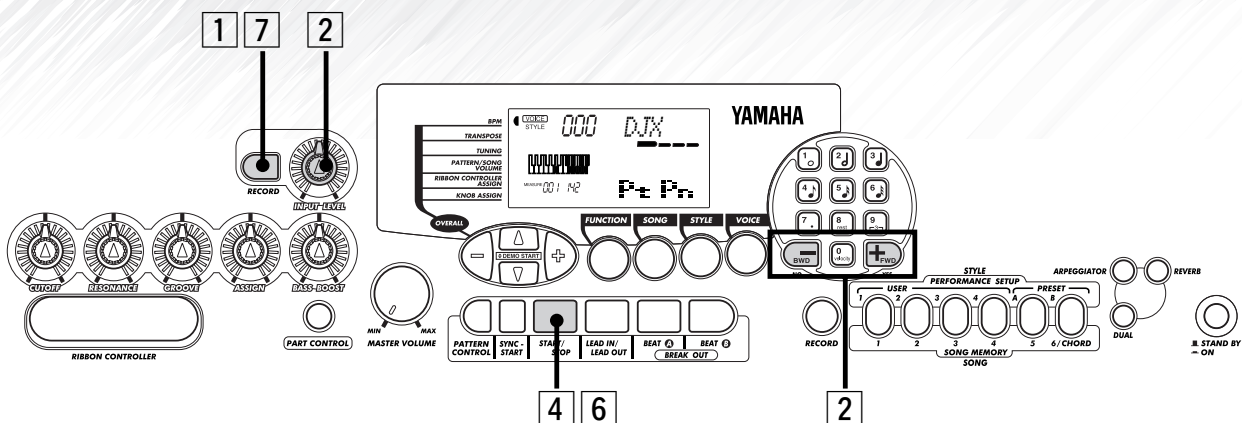


4 サンプリング待機状態に入る。

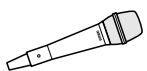


RECORD 消灯

マイクアイコン (サンプリング待機状態)



5 サンプリングをスタートする。

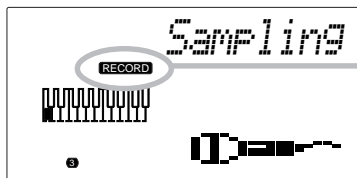


「あいうえお」

または



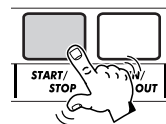
▶ PLAY



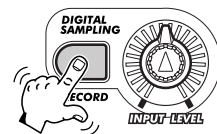
スタートすると点灯に変わる。



6 サンプリングをストップする。
(スタート後約3秒で自動的にストップします。)

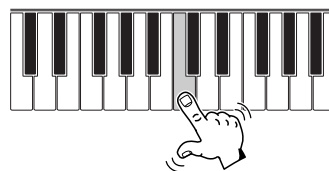
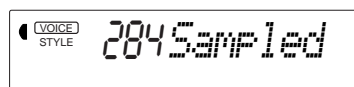


7 サンプリングモードを抜ける。



8 サンプリングした音を再生する。

サンプリングモードを抜けると、メインボイスにボイスナンバー284(サンプリングボイス)が自動的に選ばれます。サンプリング音を鍵盤で鳴らしましょう。



サンプリングした音の再生終了位置を設定したり、ループ再生(繰り返し再生)で鳴らすこともできます。(67ページ参照)

◎ 詳細は62ページを参照してください。

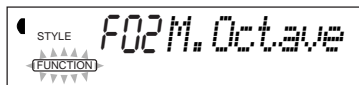
DJXには、各機能の詳細を設定するファンクション設定があります。ここではファンクション共通の基本的な操作方法を説明します。

- 1 FUNCTIONボタンを押す。



- 3 しばらくするとディスプレイの [FUNCTION] 表示が点灯に変わってファンクションが選ばれ(確定し) ファンクションナンバーの表示(F02など)が、ファンクションの設定値表示(数値など)に変わります。

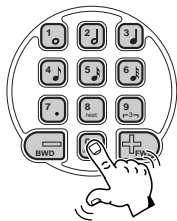
- 2(右ページのファンクションリストを見て)ファンクションナンバーを選ぶ。



[FUNCTION] 表示の点滅中は選択可能

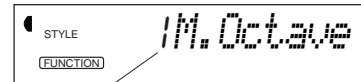


ファンクションの設定値表示



ファンクションナンバーの入力

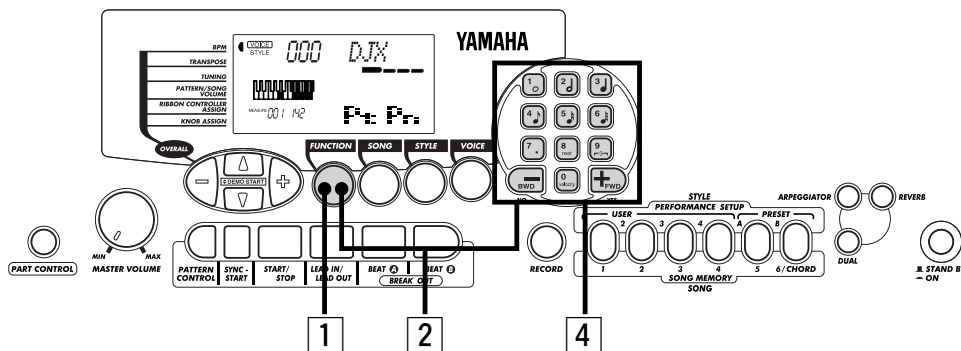
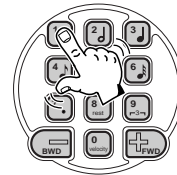
- 4 ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを押してファンクションの設定値を入力します。



ファンクション設定値の変更



FUNCTION ボタンを押すとファンクションナンバーが1つ大きくなります。押し続けると連続して大きくなります。

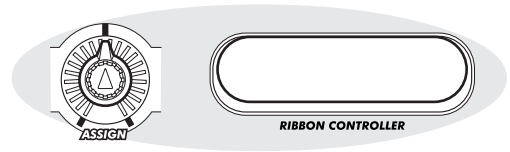


ファンクションリスト

ファンクション			ページ	ファンクション			ページ
F01	M. Volume	メインボイス ボリューム	29	F32	RevType	リバーブ タイプ	37
F02	M. Octave	メインボイス オクターブ	29	F33	Chorus	コーラス オン/オフ	38
F03	M. Pan	メインボイス パン	29	F34	ChoType	コーラス タイプ	38
F04	M. RevLvl	メインボイス リバーブセンドレベル	29	F35	Dsp	DSP オン/オフ	39
F05	M. ChoLvl	メインボイス コーラスセンドレベル	29	F36	DspType	DSP タイプ	39
F06	M. DspLvl	メインボイス DSPセンドレベル	29	F37	Arpegator	アルペジエーターオン/オフ	40
F11	D. Volume	デュアルボイス ボリューム	32	F38	ArpegType	アルペジエータータイプ	40
F12	D. Octave	デュアルボイス オクターブ	32	F41	UserBank	パフォーマンスセットアップユーザーバンク	55
F13	D. Pan	デュアルボイス パン	32	F51	PtrnSPnt	パターンスプリットポイント	51
F14	D. RevLvl	デュアルボイス リバーブセンドレベル	32	F61	USng1Clr	ユーザーソング1クリア	83
F15	D. ChoLvl	デュアルボイス コーラスセンドレベル	33	F62	USng2Clr	ユーザーソング2クリア	83
F16	D. DspLvl	デュアルボイス DSPセンドレベル	33	F63	USng3Clr	ユーザーソング3クリア	83
F17	D. Voice	デュアルボイス ボイス選択	33	F71	FootSw	フットスイッチ	84
F18	Dual	デュアルボイス オン/オフ	33	F72	VoiceSet	ボイスセット	31
F21	S. Volume	スプリットボイス ボリューム	35	F73	TouchSns	タッチセンス	31
F22	S. Octave	スプリットボイス オクターブ	35	F74	PBRange	ピッチベンドレンジ	41
F23	S. Pan	スプリットボイス パン	35	F81	RemoteCh	リモートチャンネル	88
F24	S. RevLvl	スプリットボイス リバーブセンドレベル	35	F82	KbdOut	キーボードアウト	89
F25	S. ChoLvl	スプリットボイス コーラスセンドレベル	35	F83	PtrnOut	パターンアウト	89
F26	S. DspLvl	スプリットボイス DSPセンドレベル	35	F84	Local	ローカルオン/オフ	90
F27	S. Voice	スプリットボイス ボイス選択	35	F85	ExtClock	クロック	90
F28	Split	スプリットボイス オン/オフ	35	F86	BulkSend	バルクセンド	91
F29	SplitPnt	スプリットボイス スプリットポイント	35	F87	InitSend	イニシャルセットアップセンド	92
F31	Reverb	リバーブ オン/オフ	37	F88	Smp1Send	サンプルバルクダンプ	93

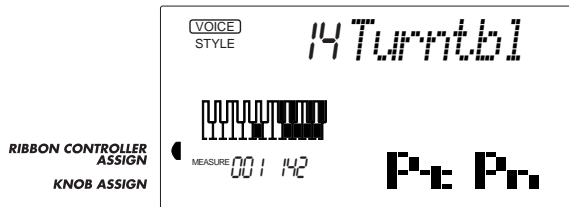
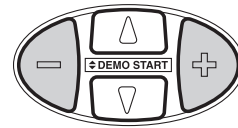
ASSIGNノブ、リボンコントローラー、フットスイッチにはいろいろな機能をアサインする(割り当てる)ことができます。

ASSIGNノブ、リボンコントローラーのアサイン



1 ASSIGNノブに機能をアサインする場合は、ディスプレイのOVERALLアイコンが「KNOB ASSIGN」の位置に移動するまで、OVERALL または ボタンを繰り返し押します。リボンコントローラーに機能をアサインする場合は、OVERALLアイコンを「RIBBON CONTROLLER ASSIGN」の位置まで、移動させます。

2 OVERALL[+][-]ボタンを押して、ASSIGNノブ、またはリボンコントローラーにアサインする機能を変更します。



ASSIGNノブ/リボンコントローラー効果リスト

カットオフ *	Cutoff	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートに対して、CUTOFFノブと同様の効果がかかります。(56ページ参照)
レゾナンス *	Resonanc	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートに対して、RESONANCEノブと同様の効果がかかります。(57ページ参照)
リバーブセンドレベル	RevLevel	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのリバーブセンドレベルをコントロールします。
コーラスセンドレベル	ChoLevel	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのコーラスセンドレベルをコントロールします。
DSPセンドレベル	DspLevel	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのDSPセンドレベルをコントロールします。
モジュレーション	Mod	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパート演奏にビブラート(変調効果)をかけます。
アタック	Attack	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのアタックタイム(音が鳴り始めてから最大音量レベルに達するまでの時間)をコントロールします。 ボイスによっては変化しない場合もあります。
リリース	Release	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのリリースタイム(音が鳴り止み始めてから鳴らなくなるまでの時間)をコントロールします。
パン	Pan	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのパン(音の定位)をコントロールします。
ボリューム	Volume	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのボリューム(音量)をコントロールします。
グループ **	Groove	GROOVEノブと同様の効果がかかります。(57ページ参照)
ダイナミクス **	Dynamics	パターンのタイミングによってベロシティを増減して、パターンの印象を変化させます。
ダイナミクスストレンクス **	Strength	ダイナミクスで変化させるベロシティの大きさをコントロールします。
ターンテーブル **	Turntbl	パターン演奏のテンポとピッチを同時にコントロールします。
アルペジエータースピード ***	ArpSpeed	アルペジエーターのスピード(分解能)を10段階でコントロールします。 (アルペジエーターオンの場合だけ機能します。)

* 印の機能はリボンコントローラーだけに設定できる機能です。

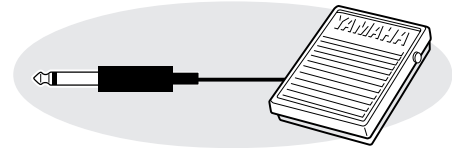
** 印の機能はパートセレクト(61ページ参照)の設定に関らず有効な機能です。

*** 印の機能は、パートセレクトの設定に関らず、メインボイスパートだけに有効な機能です。

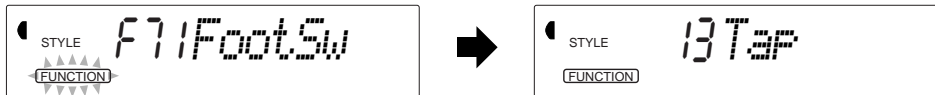
☉ 詳細は57, 59ページを参照してください。

トスイッチにいろいろな機能をアサインする

フットスイッチのアサイン



フットスイッチのアサインは、ファンクション71で設定します。
(設定方法はステップ5を参照してください。 18ページ)

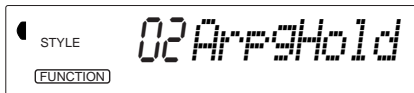


たとえば、「13 Tap」を設定した(デフォルト)場合は、選ばれているソングやパターンの拍子数分フットスイッチを踏むと(4拍子の場合は4回踏む)、踏んだテンポでソングやパターンがスタートします。再生中に同じ方法でテンポを変更することもできます。

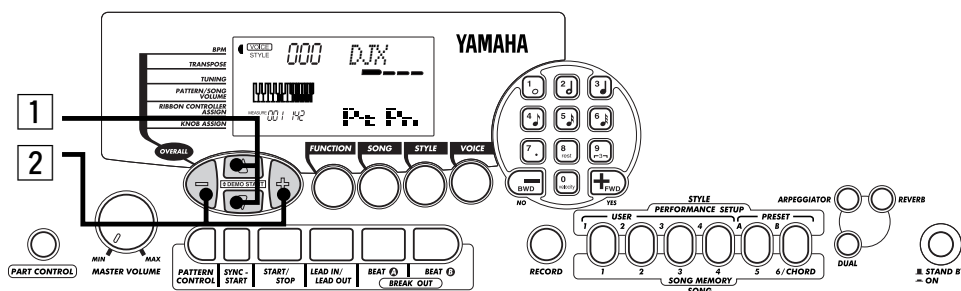
また、「02 アルペジエーターホールド」を設定した場合は、鍵盤演奏にアルペジエーター(40ページ参照)がかかっている時にフットスイッチを踏み込むと、踏み込んでいる間は鍵盤から指を離してもアルペジエーターが鳴り続けます。

フットスイッチ機能リスト

01	サステイン	Sustain
02	アルペジエーターホールド	ArpgHold
03	スタート/ストップ	StartStp
04	リードイン/リードアウト	Ld InOut
05	ビートA	Beat A
06	ビートB	Beat B
07	アルペジエーター	Arpgator
08	デュアル	Dual
09	スプリット	Split
10	リバーブ	Reverb
11	コーラス	Chorus
12	DSP	Dsp
13	タップ	Tap



☺ 詳細は84ページを参照してください。



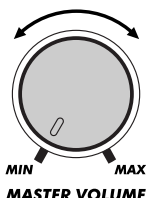


基本操作を覚えましょう(ディスプレイの見かた)

音量の調節

MASTER VOLUMEコントロールを回します。

左に回すと、音量が小さくなります。



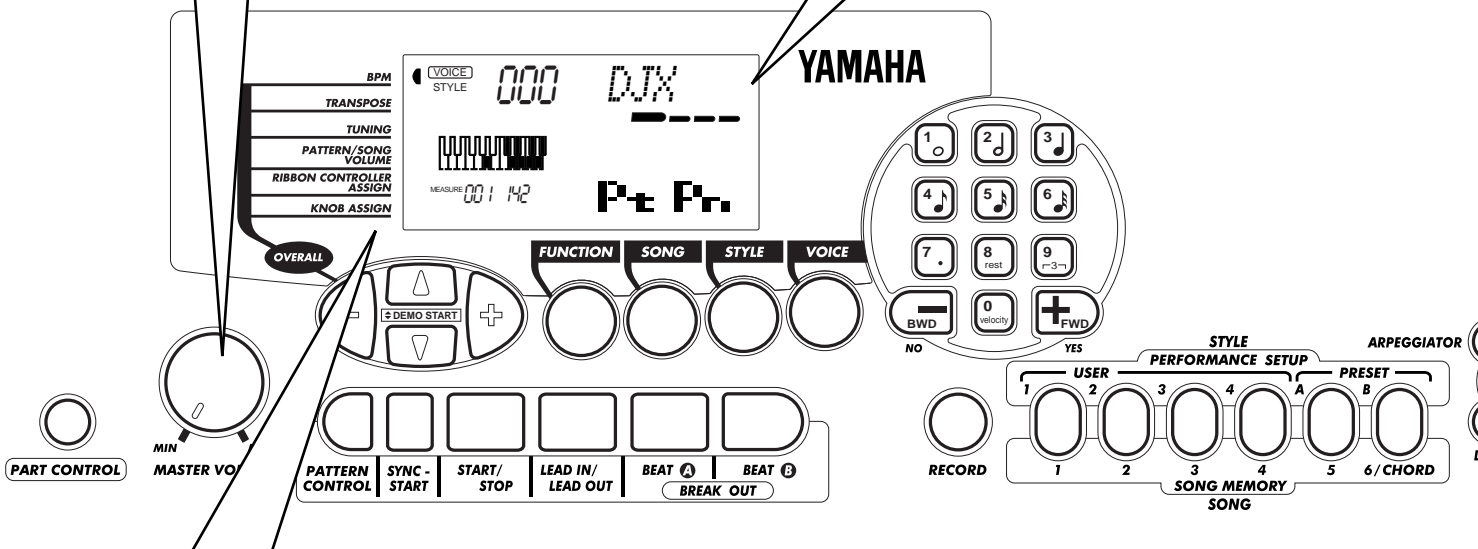
右に回すと、音量が大きくなります。

ネーム&ナンバー表示 (SONG/VOICE/STYLE)

ディスプレイ上段には、現在選ばれているモードの「ネームとナンバー」が表示されます。

例)SONGモードの場合

ソングナンバー表示 ソングネーム表示



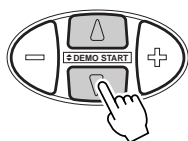
オーバーオール表示

オーバーオールでは、DJX全体に関するさまざまな設定が行えます。

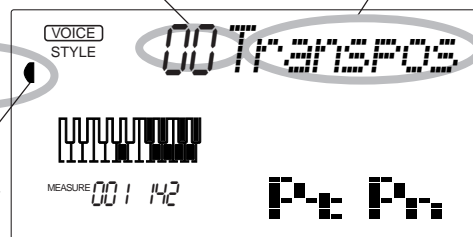
- ・BPM(テンポ)..... 26ページ
- ・トランスポーズ..... 36ページ
- ・チューニング..... 36ページ
- ・パターン/ソング音量..... 27, 48ページ
- ・リボンコントローラーアサイン.. 59ページ
- ・ノブアサイン..... 57ページ

OVERALL または ボタンを押すと、OVERALLアイコンが移動し、ディスプレイ上段には現在選ばれている「設定項目」と「設定値」が表示されます。さらにOVERALL または ボタンを押すと、設定項目が切り替わります。

例)トランスポーズの場合 設定値 (トランスポーズ)表示 設定項目 (トランスポーズ)表示



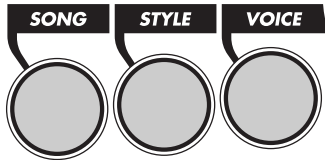
オーバーオールアイコン



OVERALL表示はしばらくそのままにすると、モードの「ネームとナンバー」表示に戻ります。

モードの選びかた

SONG/STYLE/VOICEボタンを押すと、DJXの基本的なモードを選ぶことができます。(選ばれているモードのアイコンが表示されます。)



- ・SONGモード
聴きたいソングを選ぶとき
- ・VOICEモード
鍵盤で演奏するボイス(音色)を選ぶとき
- ・STYLEモード
スタイルを選ぶとき

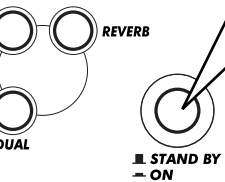


電源オン

STAND BY/ONスイッチを押すと、電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。



スイッチが「STAND BY」の状態でも微電流が流れています。DJXを長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。



設定値の換えかた

設定値の変更はOVERALL[+] [-] ボタンを使用します。



一度押すと、ひとつ小さなナンバーに

一度押すと、ひとつ大きなナンバーに

押し続けると、ナンバーが連続で増減します。

SONGモードやSTYLEモードを選んだ後にVOICEモードを選べると、次のような表示になります。

SONGモード VOICEモード STYLEモード VOICEモード



START/STOPボタンでソングがスタート



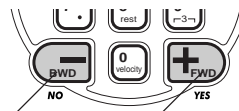
START/STOPボタンでパターン演奏がスタート



ファンクションモードについては18ページを参照してください。

ナンバーの選びかた

ナンバーをひとつずつ変えるには、[+] [-] ボタンを使用します。



一度押すと、ひとつ小さなナンバーに

一度押すと、ひとつ大きなナンバーに

押し続けると、ナンバーが連続で増減します。

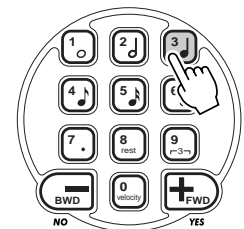
SONG/VOICE/STYLEボタンを押すと、それぞれのナンバーが増加し、押し続けると連続で増加します。

直接ナンバーを選ぶには、ナンバーボタン[1]~[0]を使用します。

例) 3 : Acid Sync を選ぶ場合



ナンバーボタンの[3] または[0][3] を押すと、ナンバーが点滅します。しばらくそのままにすると、ナンバーが通常表示に変わり確定します。



「100の位」「10の位」「1の位」の順番で、ナンバーボタンを続けて3つ押せば、すぐにナンバーが確定します。1桁の数字の場合は先頭に「00」を、2桁の数字の場合は「0」を付けます。

鍵盤表示

パートコントロールオン/オフやパートセレクトの情報を表示します。



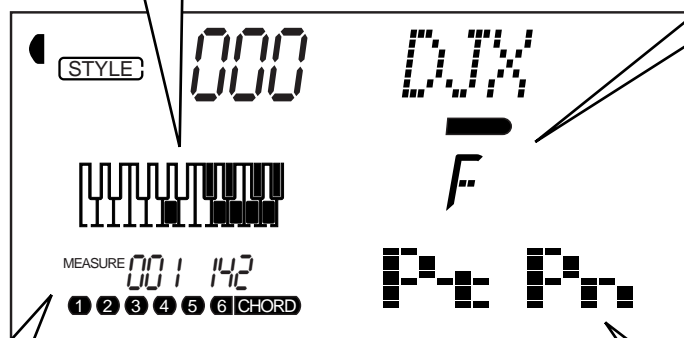
ビート表示

パターンやソングのビート(拍)を、4つのバーで点滅表示します。



コード表示

現在鳴っているコード名や、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。



小節 (MEASURE) 表示

ソングの小節番号やパターン演奏の現在の小節番号を表示します。



テンポ (BPM) 表示

パターン演奏やソングなどのテンポ(曲の速さ)を表示します。BPMとは「Beat Per Minute」の略で、「1分間の4分音符の数」を表します。



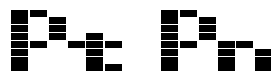
ソングトラック表示

デモソングやソングメモリーの録音トラックに関する情報を表示します。



アイコン表示

通常は、選ばれているモードの設定内容などをアイコン(絵記号)で表示します。また、ソング再生時やパターン演奏時は音量レベルメーターを表示します。



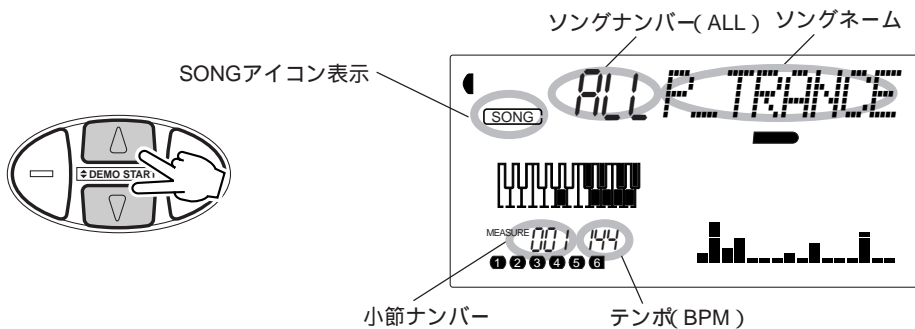


ソングを鳴らしましょう

DJXにはデモソングが3曲入っています。まずデモソングを鳴らして聴いてみましょう。
自分の演奏を録音する場合はソングメモリー機能を活用しましょう。(71ページ参照)

デモソングを続けて聴くには...

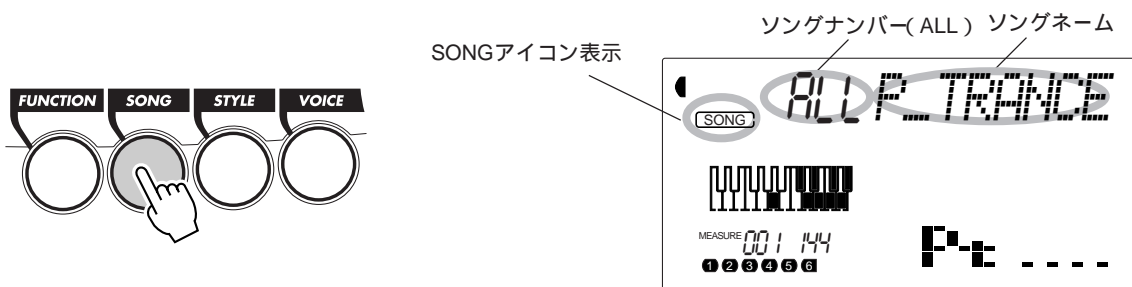
OVERALL ボタンを同時に押します。
デモソングをソングナンバー順に、連続してデモ再生します。



START/STOPボタンを押すと、デモ再生がストップします。

好きなソングを1曲ずつ聴くには...

- 1 SONGモードを選びます。
SONGボタンを押して、SONGモードを選びます。

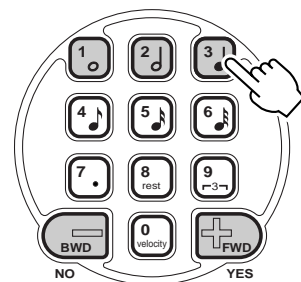


- 2 ナンバーボタンでナンバーを選びます。
ナンバーの選びかた 23ページ

ALL(オール)	全曲
001~003	デモソング
004~006	ユーザーソング(録音方法は71ページを参照してください。)

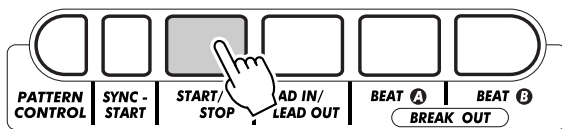


自分で録音したユーザーソング1~3(ソングナンバー004~006)も同様に再生できます。(71ページ参照)



3 ソングをスタート/ストップします。

START/STOPボタンを押すと、ソングがスタートします。ソングに合わせて鍵盤演奏もできます。
もう一度START/STOPボタンを押すと、ソングがストップします。



小節ナンバー

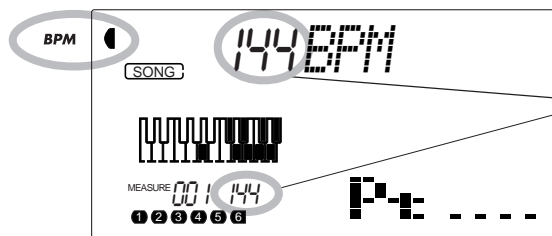
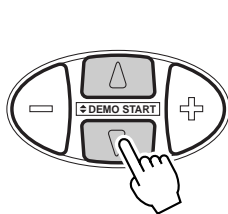


フットスイッチの操作で、ソングをスタートさせることもできます。(84ページ参照)

テンポ(BPM)の調整

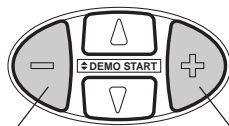
ソング/スタイルのテンポ(BPM)を「♩ = 32 ~ 280」の範囲で調整します。BPMとは「Beat Per Minute」の略で「1分間の4分音符の数」を表します。

1 ディスプレイに「BPM」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押します。



現在のテンポ設定値

2 OVERALL[+][-]ボタンを押して、テンポ設定値を変更します。



テンポ設定値が減少し、テンポが遅くなります。

テンポ設定値が増加し、テンポが速くなります。



パターンがストップしている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なテンポが自動的に設定されます。パターン演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。(STYLEボタンでスタイルナンバーを変更した場合を除く。)

ソングを選ぶと、そのソングのテンポが自動的に設定されます。

OVERALL[+][-]ボタンを同時に押すと、現在選ばれているソング・スタイルに最適なテンポ値が設定されます。

ビートディスプレイについて

演奏中は、テンポに合わせて4つのバーが点滅します。

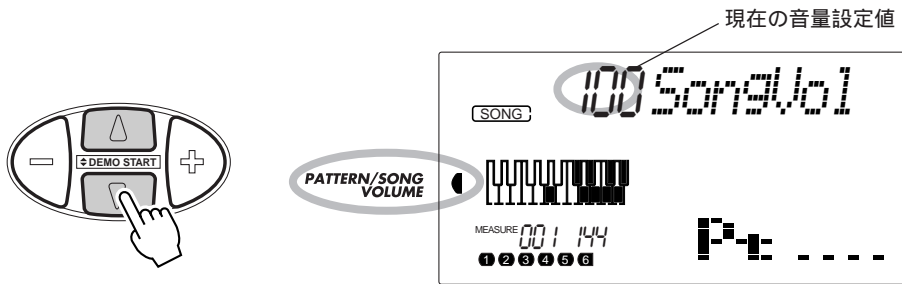


- 1拍目
- 2拍目
- 3拍目
- 4拍目

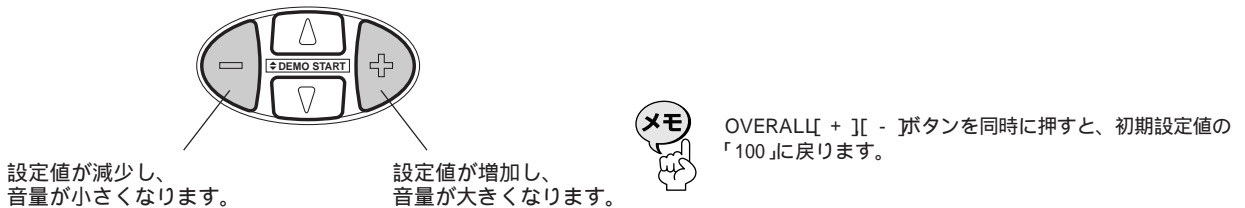
ソング音量

ソングの音量を変更して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

- 1 ディスプレイに「SongVol」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押し
ます。

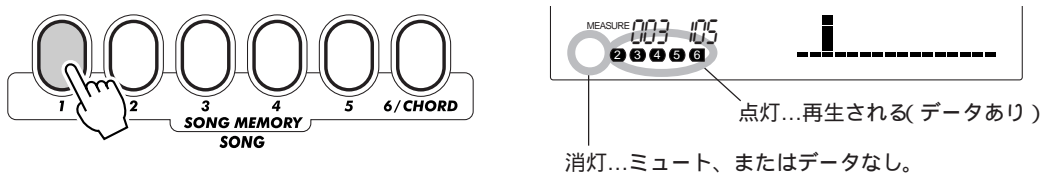


- 2 OVERALL [+] [-] ボタンを押して、ソングの音量を000～127の範囲で変更します。



トラックをオン/オフ

SONG MEMORY 1～6/CHORDボタンを押して、トラックをオン/オフすることができます。オフにするとそのトラックの演奏はミュート(消音)され、ディスプレイのナンバーが消灯します。



トラック1～5 メロディの演奏が録音されています。

トラック6/コード トラック1～5同様にメロディの演奏が録音されているか、パターン演奏の情報が録音されています。

特定のトラックをオフにして再生し、そのトラックの演奏を自分で弾くこともできます。

パターン演奏を録音したユーザーソング(71ページ参照)を再生する場合、6/CHORD ボタンを押すことでパターン演奏のオン(鳴らす)オフ(鳴らさない)ができますが、さらにパターンの各パートのオン/オフもできます。(47ページ参照)




ボイス(音色)を選んで演奏しましょう

メインボイスを選ぶ

DJXには、先進のAWM[アドバンスド・ウェーブ・メモリー]音源を利用した高品質な155種類の音色(パネルボイス)と128種類の音色(GMボイス)が入っています。

パネルボイス..... 0スペシャルボイス
+ 1 ~ 140[140音色]
+ 141 ~ 150ドラムキット[10キット]
+ 151 ~ 155スペシャルキット[5キット]

GMボイス  156 ~ 283[128音色]

サンプリングボイス ... 284[1音色]

いろいろなボイスを選んで鳴らしてみましよう。



メモ サンプリング機能(62ページ参照)でDJXに録音し、ボイスナンバー284を選べば、その音を鍵盤で鳴らすこともできます。デフォルト(工場出荷時)では、ボイスナンバー284にはサンプリングデータが入っています。



GMシステムレベル1

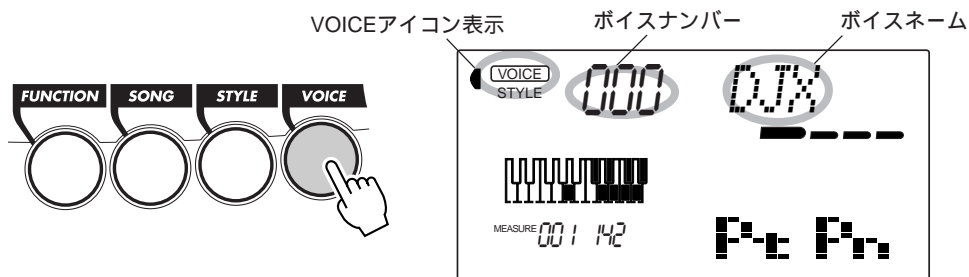
「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。

「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。

DJXはGMシステムレベル1に対応しています。

1 VOICEモードを選びます。

VOICEボタンを押して、VOICEモードを選びます。



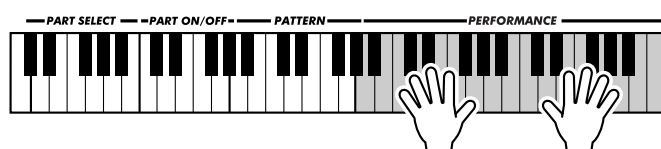
2 ナンバーボタンでボイスナンバーを選びます。

ナンバーの選びかた 23ページ

3 パフォーマンス鍵域で演奏してみましょう。

電源を入れた時は、パートコントロールは「オン」に、パターンコントロールも「オン」に設定されています。(12ページ参照)

いろいろなボイスを選んで、パフォーマンス鍵域で演奏してみましょう。



メインボイスにパネルボイス(ボイスナンバー0~155)を選択すると、ボイスセット(初期設定:オン)機能により、そのボイスに最適な設定(ボイス関連メニューの設定)が自動的に行われるため、すぐに演奏を始めることができます。(31ページ「ボイスセットのオン/オフ」参照)

メインボイスの各種設定

ファンクション1~6の設定で、メインボイスに関するさまざまな設定を行うことができます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)

メインボイスファンクションリスト

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F01	M. Volume メインボイス ボリューム	000 ~ 127	音量を変更して、デュアルボイス、スプリットボイス、伴奏やソング演奏との音量バランスをとります。
F02	M. Octave メインボイス オクターブ	- 2 ~ 2 (±2オクターブ)	オクターブを変更して、デュアルボイス、スプリットボイス、伴奏やソング演奏とのバランスをとります。
F03	M. Pan メインボイス パン	- 7 ~ 7 (- 7で最も左、7で最も右)	パン(音の定位)を変更します。左右に振って演奏することにより臨場感あふれるステレオ演奏が可能になります。
F04	M. RevLv1 メインボイス リバーブセンドレベル	000 ~ 127	リバーブのかかり具合を調整することができます。
F05	M. ChoLv1 メインボイス コーラスセンドレベル	000 ~ 127	コーラスのかかり具合を調整することができます。
F06	M. DsFLv1 メインボイス DSPセンドレベル	000 ~ 127	DSPのかかり具合を調整することができます。

ボイス(音色)を選んで演奏しましょう

ドラムの音や効果音を鍵盤で鳴らす(ドラムキット/スペシャルキット)
ボイスナンバー「141～150：ドラムキット(DrumKit)」を選ぶと、下記のドラム/パーカッションの音色が各鍵盤にセットされます。また、ボイスナンバー「151～155：スペシャルキット(SpecialKit)」を選ぶと、DJ演奏に最適な効果音などが各鍵盤にセットされます。

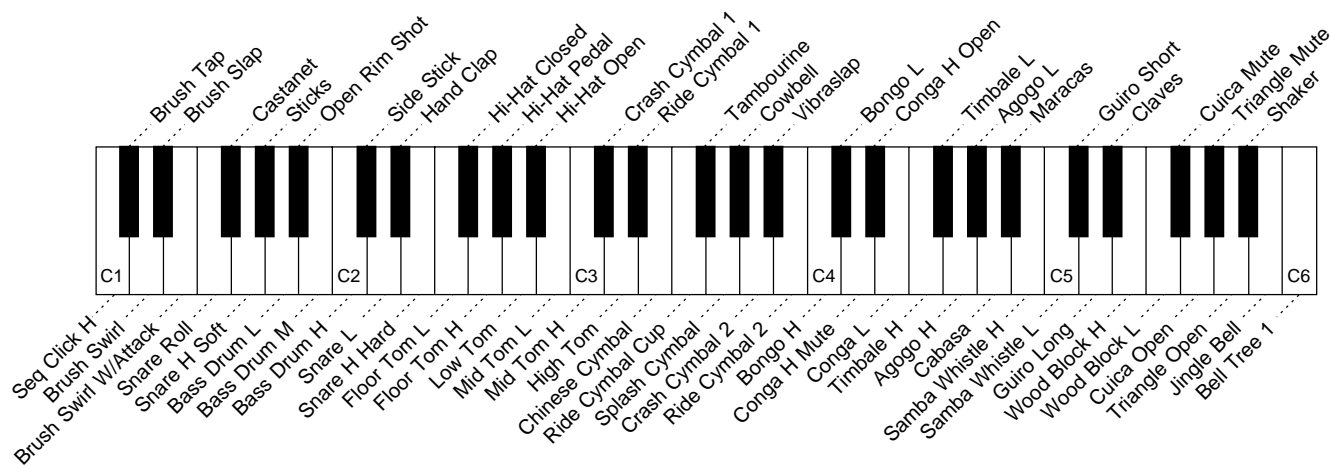


各キットの具体的な内容は98,100ページの「ドラムキットリスト」「スペシャルキットリスト」を参照してください。

【ドラムキット/スペシャルキットリスト】

141	Standard Kit 1	151	Analog Kit 2
142	Standard Kit 2	152	Analog Kit 3
143	Room Kit	153	Electronic Kit 2
144	Rock Kit	154	B900 Kit
145	Electronic Kit 1	155	DJX Kit
146	Analog Kit 1		
147	Dance Kit		
148	Jazz Kit		
149	Brush Kit		
150	Symphony Kit		

例) 141 Std.Kit1
(スタンダードキット1)



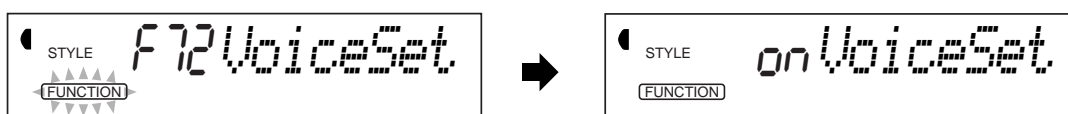
ボイスセットのオン/オフ

DJXには、メインボイス(パネルボイス)それぞれに、最適な他のボイス設定や、エフェクトなどの設定がプリセットされています。

ボイスセット機能をオンにしてパネルボイス(ボイスナンバー0~155)を選ぶと、そのボイスに最適な以下の設定が自動的にセットされるため、たいへん便利です。

ボイスセットのオン/オフは、ファンクション72で設定します。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F72」表示後、現在のオン/オフ設定を表示します。[+] [-] ボタンでオン/オフを設定します。



電源を入れた時は、ボイスセットは「オン」に設定されています。

ボイスセット「オン」でセットされるデータ

- ・メインボイス(ボリューム、オクターブ、パン)
- ・デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・アルペジエーター(オン/オフ、タイプ、スピード)

以下のデータはボイスセットオン/オフに関わらず、メインボイスの変更に伴って変更されます。

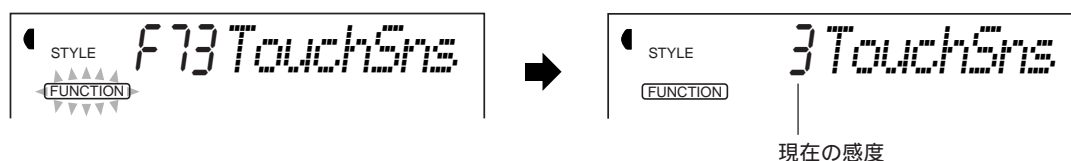
- ・メインボイス(リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・リバーブオン/オフ
- ・コーラスオン/オフ

タッチセンスを調整する

鍵盤を押さえる強さによって音量が変化するタッチレスポンスの感度を、3段階(1~3)から選択することができます。設定値が大きくなるほど、弾く強さによる音量変化が大きくなります。

ファンクション73の設定で、タッチセンスを設定します。

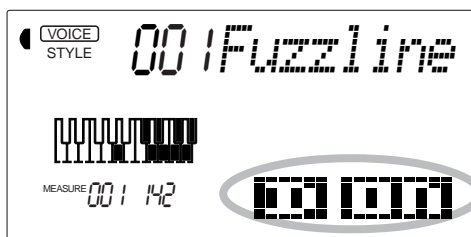
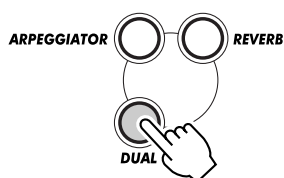
ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F73」表示後、現在の感度を表示します。ナンバーボタン、[+] [-] ボタンで感度を設定します。

デュアルのオン/オフ

DUALボタンを押して、ディスプレイに次のアイコンを表示させると、デュアルがオンになり、1つの鍵盤を押すだけで2つのボイス(メインボイス+デュアルボイス)が同時に鳴ります。



もう一度DUALボタンを押して、ディスプレイに次のアイコンを表示させると、デュアルがオフになり、メインボイスだけの演奏に戻ります。



フットスイッチの操作で、デュアルボイスをオン/オフすることもできます。(84ページ参照)

デュアルボイスの各種設定

ファンクション11~18の設定で、デュアルボイスに関するさまざまな設定を行うことができます。これらのファンクションでは、メインボイスと同時に鳴る「デュアルボイス(2つめのボイス)側の設定」を変更します。

ファンクションの選び方(18ページ参照)

デュアルボイスファンクションリスト

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F 11	D. Volume デュアルボイス ボリューム	000 ~ 127	音量を変更して、メインボイス、スプリットボイス、伴奏やソング演奏との音量バランスをとります。
F 12	D. Octave デュアルボイス オクターブ	- 2 ~ 2 (± 2オクターブ)	オクターブを変更して、メインボイス、スプリットボイス、伴奏やソング演奏とのバランスをとります。
F 13	D. Pan デュアルボイス パン	- 7 ~ 7 (- 7で最も左、 7で最も右)	パン(音の定位)を変更します。左右に振って演奏することにより臨場感あふれるステレオ演奏が可能になります。
F 14	D. RevLvl デュアルボイス リバーブセンドレベル	000 ~ 127	リバーブのかかり具合を調整することができます。

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F 15	D. ChoLv1 デュアルボイス コーラスセンドレベル	000 ~ 127	コーラスのかかり具合を調整することができます。
F 16	D. DsFLv1 デュアルボイス DSPセンドレベル	000 ~ 127	DSPのかかり具合を調整することができます。
F 17	D. Voice デュアルボイス ボイス選択	000 ~ 284	デュアルボイスのナンバーとネームを表示します。すべてのボイスからデュアルボイスを選択できます。
F 18	Dual デュアルボイス オン/オフ	on, oFF	デュアルボイスのオン/オフを設定します。本体パネルのDUALボタン同様にデュアルをオン/オフできます。[+]ボタンを押すとオン、[-]ボタンを押すとオフになります。



[+] [-] ボタンを同時に押すと、それぞれの初期設定に戻ります。

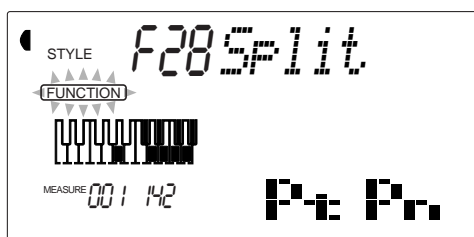
マイナスの値を設定する場合は、[-] ボタンを押しながらナンバーボタンを押します。

ボイスセット (31ページ参照) がオンの場合、メインボイスのパネルボイス(ボイスナンバー0 ~ 155)を変更すると、デュアルボイスの設定も自動的に変更されます。

スプリットのオン/オフ

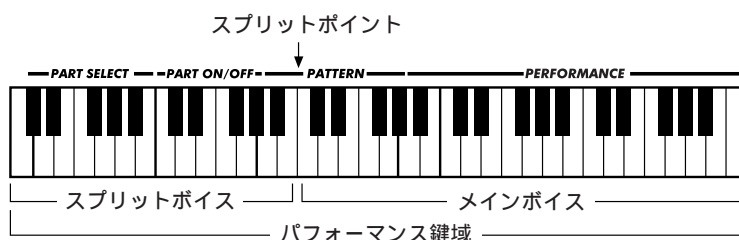
ファンクション28の設定で [+] ボタンを押すと、スプリットがオンになります。このとき、スプリットポイントを境に、キーボードの右側と左側で異なる2つのボイスを同時に演奏できます。

ファンクションの選び方 (18ページ参照)



スプリットのオン/オフ設定
[+] ボタンでオン、[-] ボタンでオフになります。

パートコントロール「オフ」/パターンコントロール「オフ」の場合



フットスイッチの操作で、スプリットボイスをオン/オフすることもできます。(84ページ参照)

[-] ボタンを押してスプリットをオフにすると、通常の演奏に戻ります。

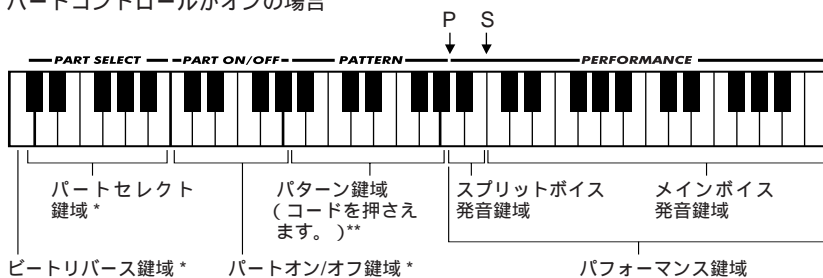
2つのスプリットポイントについて

DJXには、「スプリットボイス」と「パターン」の2種類のスプリットポイントがあります。パターンコントロール「オン」、スプリットボイス「オン」の場合、それぞれのスプリットポイントの設定により鍵盤で発音するボイスは下記ようになります。

スプリットボイスのスプリットポイントの設定 35ページ参照
 パターンのスプリットポイントの設定 51ページ参照

パターンスプリットポイント(P) < スプリットボイスのスプリットポイント(S)

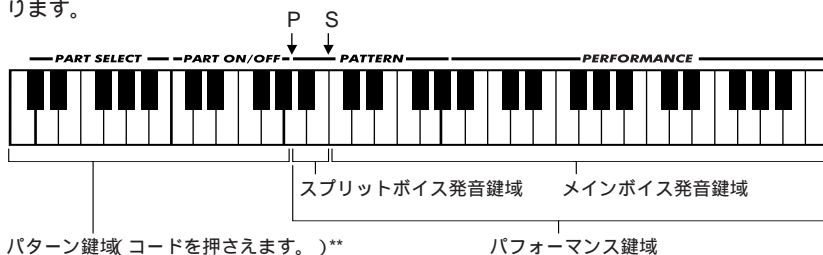
パートコントロールがオンの場合



スプリットボイスのスプリットポイントをパターンコントロールのスプリットポイントより左側に(小さく)設定することはできません。設定しようとする、パターンコントロールのスプリットポイントはスプリットボイスモードのスプリットポイントと同じ値になります。また、パターンコントロールのスプリットポイントをスプリットボイスのスプリットポイントより右側に(大きく)設定することはできません。設定すると、スプリットボイスモードのスプリットポイントがパターンコントロールのスプリットポイントと同じ値になります。

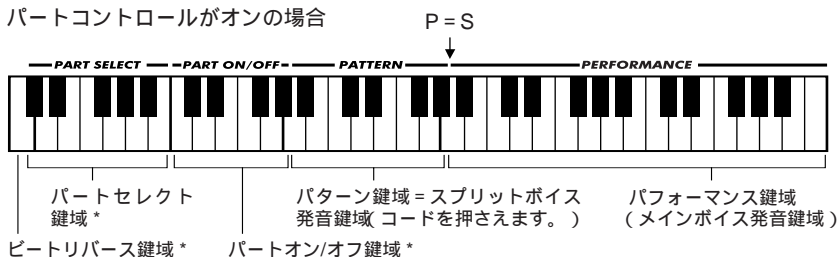
パートコントロールがオフの場合

パートコントロールがオフの場合は、スプリットボイスのスプリットポイントが設定値よりも1オクターブ下がります。したがって鍵盤で発音するボイスは下記ようになります。

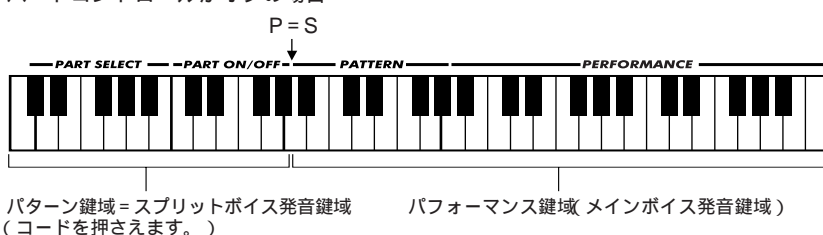


パターンスプリットポイント(P) = スプリットボイスのスプリットポイント(S)

パートコントロールがオンの場合



パートコントロールがオフの場合



* 印の鍵域を押さえても音は鳴りません。

**印の鍵域は、パターン演奏中に押さえても音は鳴りません。

スプリットボイスの各種設定

ファンクション21～29の設定で、スプリットボイスに関するさまざまな設定を行うことができます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)

スプリットボイスファンクションリスト

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F21	<i>S. Volume</i> スプリットボイス ボリューム	000 ~ 127	音量を変更して、メインボイス、デュアルボイス、伴奏やソング演奏との音量バランスをとります。
F22	<i>S. Octave</i> スプリットボイス オクターブ	- 2 ~ 2 (± 2オクターブ)	オクターブを変更して、メインボイス、デュアルボイス、伴奏やソング演奏とのバランスをとります。
F23	<i>S. Pan</i> スプリットボイス パン	- 7 ~ 7 (- 7で最も左、 7で最も右)	パン(音の定位)を変更します。左右に振って演奏することにより臨場感あふれるステレオ演奏が可能になります。
F24	<i>S. RevLvl</i> スプリットボイス リバーブセンドレベル	000 ~ 127	リバーブのかかり具合を調整することができます。
F25	<i>S. ChoLvl</i> スプリットボイス コーラスセンドレベル	000 ~ 127	コーラスのかかり具合を調整することができます。
F26	<i>S. DspLvl</i> スプリットボイス DSPセンドレベル	000 ~ 127	DSPのかかり具合を調整することができます。
F27	<i>S. Voice</i> スプリットボイス ボイス選択	000 ~ 284	スプリットボイスのナンバーとネームを表示します。すべてのボイスからスプリットボイスを選択できます。
F28	<i>Split</i> スプリットボイス オン/オフ	on, oFF	スプリットボイスのオン/オフを設定します。[+] ボタンを押すとオン、[-] ボタンを押すとオフになります。
F29	<i>SplitPnt</i> スプリットボイス スプリットポイント	000 ~ 127	スプリットボイスのスプリットポイントを設定します。設定した鍵盤が左手鍵域の最高音になります。ディスプレイには現在のスプリットポイントがノートナンバーで表示されます。ナンバーボタン、[+] [-] ボタンの他に、直接鍵盤を押してスプリットポイントを設定することができます。この設定中は鍵盤を押しても音は鳴りません。



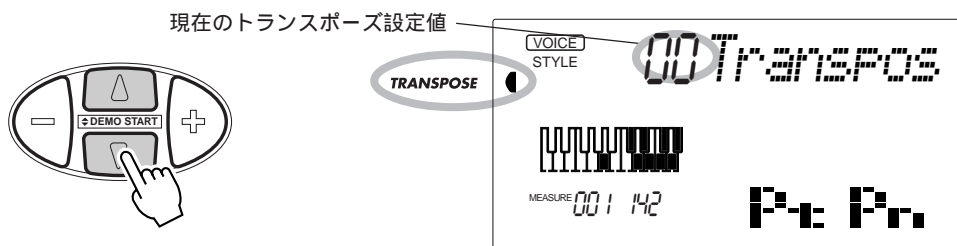
[+] [-] ボタンを同時に押すと、それぞれの初期設定に戻ります。

マイナスの値を設定する場合は、[-] ボタンを押しながらナンバーボタンを押します。

トランスポーズ

楽器全体の音程(トランスポーズ)を変更します。

- 1 ディスプレイに「Transpos」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押します。

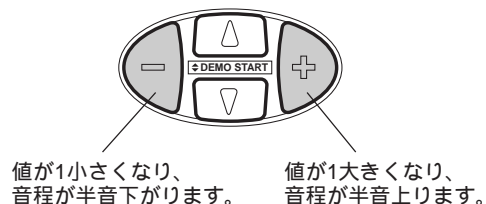


- 2 OVERALL[+][-]ボタンを押して、トランスポーズの値を - 12 ~ 12(単位:半音、±1オクターブ)の範囲で変更します。



OVERALL[+][-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。

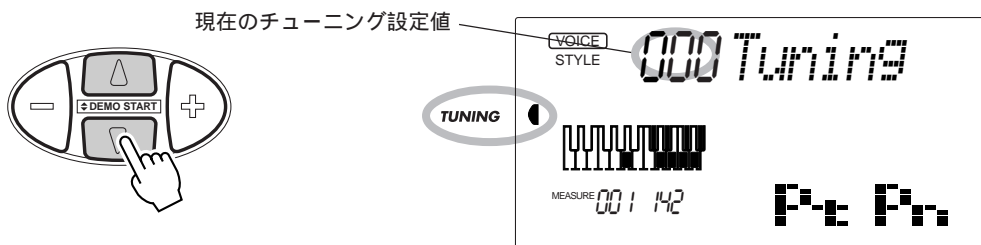
ドラムキット/スペシャルキット(ボイスナンバー141~155)には、トランスポーズはかかりません。



チューニング

楽器全体をチューニング(ピッチ[音程]の微調整)します。

- 1 ディスプレイに「Tuning」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押します。



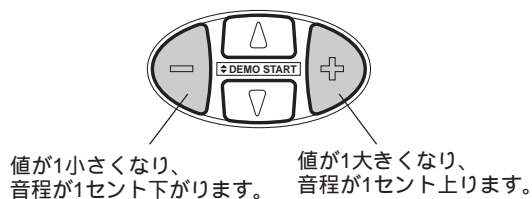
- 2 OVERALL[+][-]ボタンを押して、チューニングの値を - 100 ~ 100(単位:セント)の範囲で変更します。



チューニングの単位: 100セント = 半音

OVERALL[+][-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「000」に戻ります。

ドラムキット/スペシャルキット(ボイスナンバー141~155)には、チューニングはかかりません。



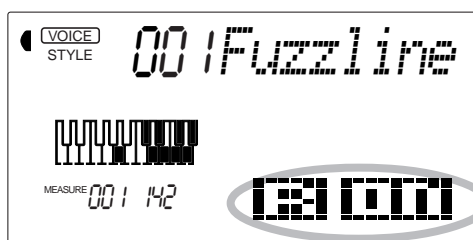
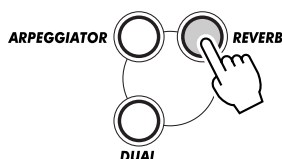


効果を付けて演奏しましょう

DJXは、鍵盤で弾いた音にコンサートホールで演奏しているような残響効果をかけたり、弾いた音に合わせて分散和音(アルペジオ)を自動的に演奏させることができます。

リバーブのオン/オフ

REVERBボタンを押すと、リバーブがオンになり、鍵盤を弾く音に残響効果がつきます。



もう一度REVERBボタンを押すと、リバーブがオフになります。



電源を入れるとリバーブはオンに設定されます。

メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス、それぞれのリバーブセンドレベルを調整することができます。(29, 32, 35ページ参照)

リバーブのオン/オフに関わらず、鍵盤の演奏音以外(スタイルやソング)にはリバーブがかかっている場合があります。楽器全体にリバーブをかけたくない場合は、リバーブタイプ「9: Off」を選択します。

フットスイッチの操作で、リバーブをオン/オフすることもできます。(84ページ参照)

リバーブの各種設定

ファンクション31～32の設定で、リバーブに関する設定を行うことができます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F31	Reverb リバーブ オン/オフ	on, oFF	リバーブのオン/オフを設定します。本体パネルのREVERBボタン同様にリバーブをオン/オフできます。
F32	RevType リバーブ タイプ	1～9	リバーブタイプのナンバーとネームを表示します。101ページの「エフェクトタイプリスト」を参考にタイプを選びます。



[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

コーラスのオン/オフ

ファンクション33の設定で [+] ボタンを押すと、コーラスがオンになり、鍵盤を弾く音にコーラス効果がつきます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



コーラスのオン/オフ設定
[+] ボタンでオン、[-] ボタンでオフになります。

[-] ボタンを押すと、コーラスがオフになります。



メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス、それぞれのコーラスセンドレベル(効果の深さ)を調整することができます。(29, 33, 35ページ参照)

コーラスのオン/オフに関わらず、鍵盤の演奏音以外(スタイルやソング)にはコーラスがかかっている場合があります。楽器全体にコーラスをかけたくない場合は、コーラスタイプ「5: Off」を選択します。

フットスイッチの操作で、コーラスをオン/オフすることもできます。(84ページ参照)

コーラスの各種設定

ファンクション33～34の設定で、コーラスに関する設定を行うことができます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F33	Chorus コーラス オン/オフ	on, off	コーラスのオン/オフを設定します。
F34	ChoType コーラス タイプ	1 ~ 5	コーラスタイプのナンバーとネームを表示します。101ページの「エフェクトタイプリスト」を参考にタイプを選びます。



[+] [-] ボタンを同時に押すと初期設定に戻ります。

DSPのオン/オフ

ファンクション35の設定で [+] ボタンを押すと、DSPがオンになり、鍵盤を弾く音にリバーブやコーラスに加え、ディストーションやトレモロのような特定の楽器に使われるようなさまざまな効果がつきます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



DSPのオン/オフ設定

[+] ボタンでオン、[-] ボタンでオフになります。

[-] ボタンを押すと、DSPがオフになります。



メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス、それぞれのDSPセンドレベル(効果の深さ)を調整することができます。(29, 33, 35ページ参照)

DSPのオン/オフに関わらず、鍵盤の演奏音以外(スタイルやソング)にはDSPがかかっている場合があります。楽器全体にDSPをかけたくない場合は、DSPタイプ 34 : Off, を選択します。

フットスイッチの操作で、DSPをオン/オフすることもできます。(84ページ参照)

DSPの各種設定

ファンクション35～36の設定で、DSPに関する設定を行うことができます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F 35	DSP DSP オン/オフ	on, oFF	DSPのオン/オフを設定します。
F 36	DSPType DSP タイプ	01 ~ 34	DSPタイプのナンバーとネームを表示します。 101ページの「エフェクトタイプリスト」を参考にタイプを選びます。

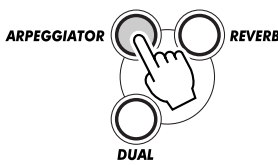


[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

アルペジエーターのオン/オフ

アルペジエーターは、テクノ系・ダンス系の演奏をしているときに効果的な機能です。

ARPEGGIATORボタンを押して、アルペジエーターをオンにします。パフォーマンス鍵域の押鍵(メインボイス)に対して、アルペジエーター(現在選ばれているアルペジエータータイプ：102ページ「エフェクトタイプリスト」参照)がかかります。



もう一度ARPEGGIATORボタンを押すと、アルペジエーターがオフになります。



フットスイッチの操作で、アルペジエーターをオン/オフしたり、アルペジエーターをホールドすることもできます。(84ページ参照)

押鍵しながらアルペジエーターをオンにした場合、次の押鍵からアルペジエーターが機能します。押鍵しながらアルペジエーターをオフにした場合、押鍵中のアルペジエーターはそのまま機能し、離鍵した時にオフになります。

アルペジエーターの各種設定

ファンクション37～38の設定で、アルペジエーターに関する設定を行うことができます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F37	Arpeggator アルペジエーター オン/オフ	on, oFF	アルペジエーターのオン/オフ状態を表示します。本体パネルのARPEGGIATORボタン同様にアルペジエーターをオン/オフできます。
F38	ArpegType アルペジエーター タイプ	1～16	アルペジエータータイプナンバーを表示します。102ページ「エフェクトタイプリスト」を参考にタイプを選びます。



[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

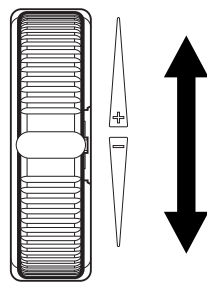
ボイスセットがオンの場合、メインボイスを変更するとアルペジエータータイプは自動的に変更されます。(31ページ参照)

演奏中に音程を変更する(ピッチベンド)

ピッチベンドは、鍵盤演奏(メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス)の音程を滑らかにアップ、またはダウンさせる(ベンドする)機能です。

押鍵中にPITCH BENDホイールを上下に動かすことで、音程を上げたり下げたりすることができます。

PITCH BEND

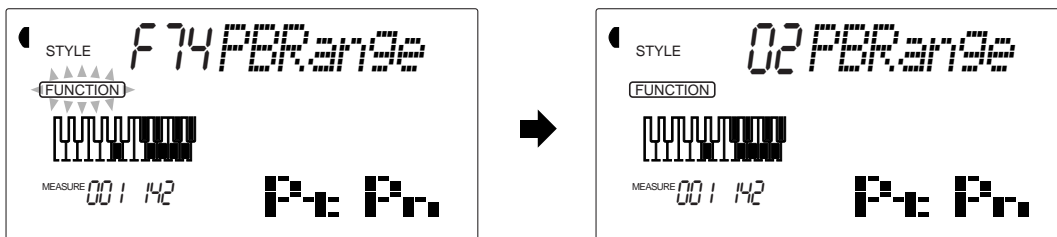


ピッチベンドレンジの設定

ピッチベンドで変化させる音程の幅を1～12半音(1オクターブ)の範囲で調整します。

ファンクション74の設定で、ピッチベンドレンジを設定します。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F74」表示後、現在のレンジ(変化幅)を表示します。ナンバーボタン、[+][-]ボタンでレンジを設定します。



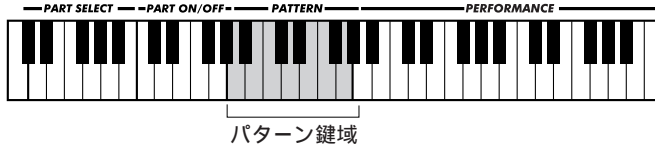
[+][-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「02」に戻ります。



パターンを鳴らしてみましょ(スタイル)

パターン演奏とは...

DJXは、100種類のスタイルでパターン演奏できます。
パターン演奏機能を使用すると、選択したスタイルとパターン鍵域で押されたコードに合わせて、パターン(ベース音とコード音)が自動的に演奏されます。

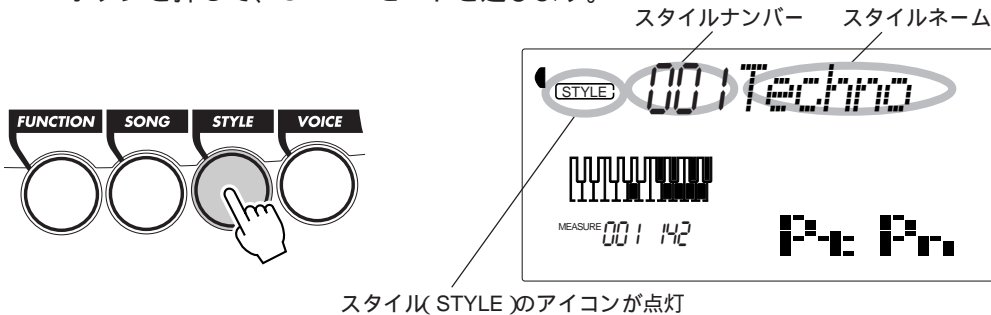


スタイルを選びます。	スタイルを選ぶ	42ページ
↓		
パターン演奏をスタートします。	パターン演奏のスタート	43ページ
↓		
コードを押さえます。	パターン演奏のコードの押さえ方	45ページ
↓		
セクションを切り替えます。	セクション(伴奏のパターン)の切り替え	49ページ
↓		
パートをオン/オフします。	パートのオン/オフの切り替え	47ページ
↓		
パターン演奏をストップします。	パターン演奏のストップ	44ページ

また、ビート(拍)の表と裏を入れ替えるビートリバーサや、ノブやリボンコントローラーを使っているいろいろなパターン演奏が楽しめます。

スタイルを選ぶ

1 STYLEモードを選びます。
STYLEボタンを押して、STYLEモードを選びます。



2 ナンバーボタンでスタイルナンバーを選びます。
ナンバーの選びかた 18ページ
スタイルリスト 97ページ

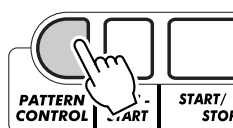
メモ パターン演奏がストップしている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なテンポが自動的に選ばれます。パターン演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。(STYLEボタンでナンバー変更した場合を除く)

パターン演奏のスタート

DJXは電源を入れるとパターンコントロールがオンになっています。



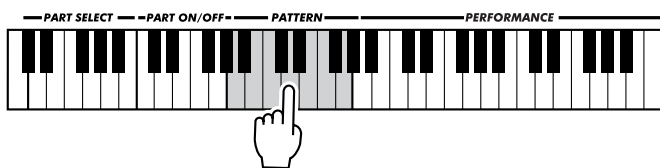
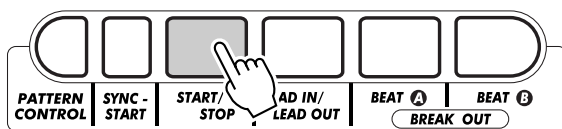
パターンコントロールがオフになっている場合は、PATTERN CONTROLボタンを押して、オンにしてください。



パターン演奏のスタート方法には、次の3種類があります。

スタート

START/STOPボタンを押すとパターン演奏がすぐにスタートします。コードは自動的に、現在選ばれているスタイルに最適なものになります。パターン鍵域でコードを変えることができます。もう一度START/STOPボタンを押すとパターン演奏がストップします。

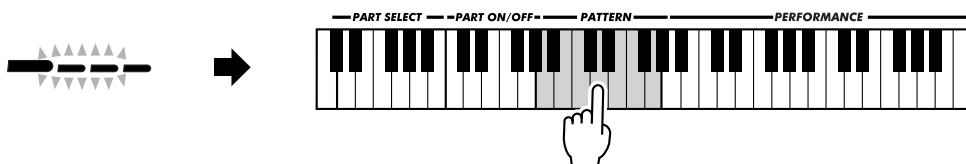


スタイルに最適なコードが設定されるのは、スタイルナンバーを選んだ時です。パターン演奏中にコードを変更してストップし、もう一度スタートすると、最後に押さえたコードでパターン演奏がスタートします。

シンクロスタート

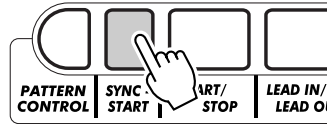
DJXは電源を入れるとシンクロスタート待機状態になり、ビートディスプレイが点滅します。

この状態でパターン鍵域でコードを押さえると、そのコードに従ってパターン演奏がスタートします。



パターンを鳴らしてみましょ(スタイル)

シンクロスタート待機状態(ビートディスプレイ点滅)になっていない場合は、SYNC-STARTボタンを押して、シンクロスタート待機状態にしてください。

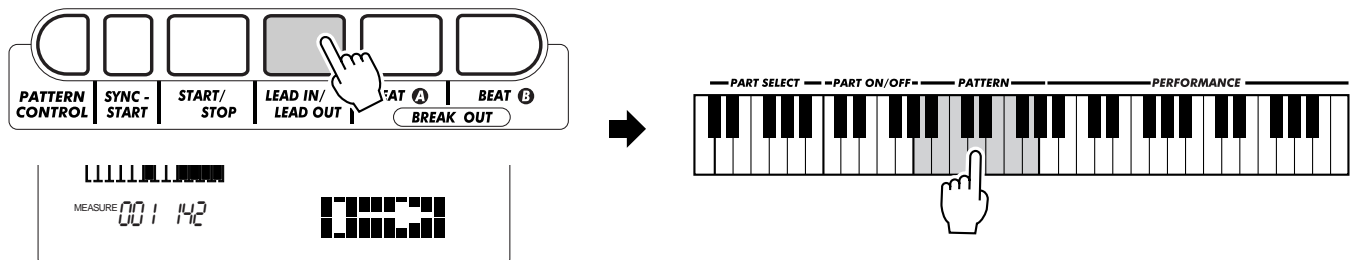


コードの押さえ方は、45ページを参照してください。

シンクロスタート待機状態で、もう一度シンクロスタートボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。この状態で、パターン鍵域の鍵盤でコードを押さえると、リズムなしのベース音とコード音が鳴ります。

リードインスタート

LEAD IN/LEAD OUTボタンを押してからパターン演奏をスタートさせると、パターン演奏はリードインセクションからスタートし、ビートA(またはB)セクションへ移行します。(49ページ参照)

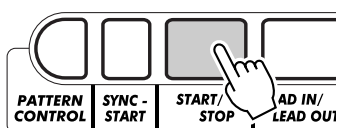


フットスイッチの操作(03:スタート/ストップ、13:タップ)で、パターン演奏をスタートさせることもできます。(84ページ参照)

パターン演奏のストップ

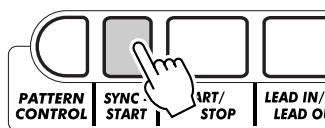
パターン演奏のストップ方法には、以下の3種類があります。

START/STOPボタン



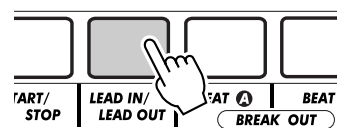
すぐにストップします。

SYNC-STARTボタン



すぐにストップします。ビートディスプレイが点滅して、シンクロスタート待機状態になります。

LEAD IN/LEAD OUTボタン



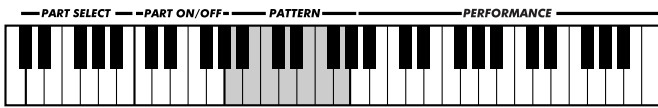
リードアウトセクションを演奏してからストップします。

パターン演奏のコードの押さえ方

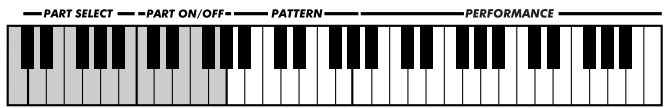
DJXの各スタイルは、あらかじめ最適なコードタイプ/ルートを持っています。このため、スタイルを選んでSTART/STOPボタンでパターン演奏をスタートすると、そのコードタイプ/ルートで演奏が始まります。

さらにパターン鍵域の鍵盤を押さえることにより、コードタイプ/ルートを変更することもできます。

パートコントロール「オン」の場合のパターン鍵域



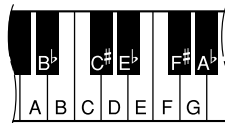
パートコントロール「オフ」の場合のパターン鍵域



簡単にコードを変えるには...

指1本でルートを指定すれば、各スタイルが持っているコードタイプはそのまま、ルートだけが変更できます。

ルートキー(根音)と押さえる鍵盤

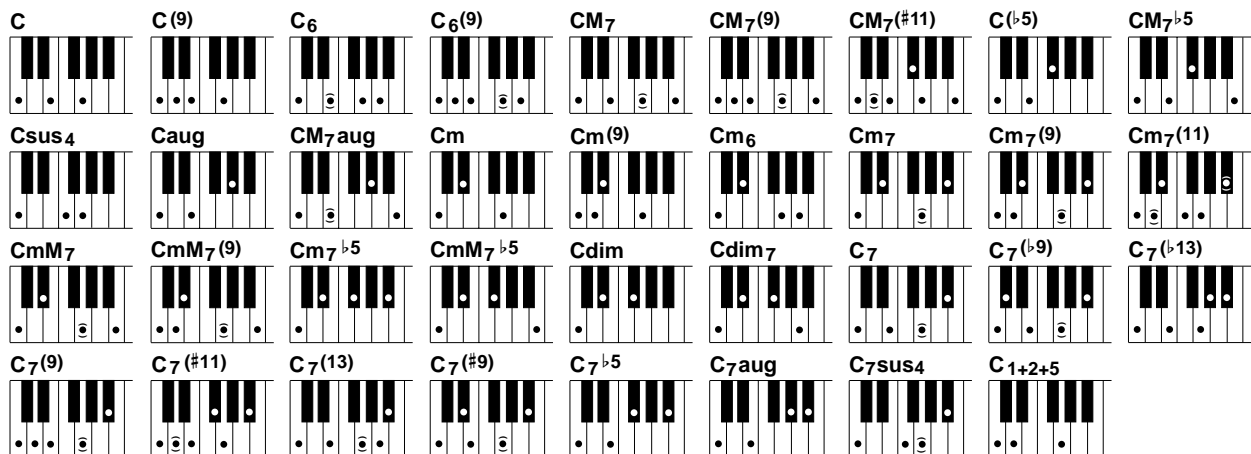


本格的な押さえ方でコードを変えるには...

以下を参照して、本格的にコードを押さえれば、コードタイプ/ルートを変更できます。

DJXで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[Cの押鍵例]



このイラストはパートコントロール「オフ」の場合を想定しています。

パターンを鳴らしてみましよう(スタイル)

DJXで認識されるコード

コード	押 鍵	コード(C)	ディスプレイ表示
メジャー[M]	1-3-5	C	C
アッドナインズ[9]	1-2-3-5	C(9)	C(9)
シックス[6]	1-(3)-5-6	C6	C6
シックスナインズ[6(9)]	1-2-3-(5)-6	C6(9)	C6(9)
メジャーセブンス[M7]	1-3-(5)-7または 1-(3)-5-7	CM7	CM7
メジャーセブンスナインズ[M7(9)]	1-2-3-(5)-7	CM7(9)	CM7(9)
メジャーセブンスアッドシャープイレブンス [M7(#11)]	1-(2)-3-#4-5-7または 1-2-3-#4-(5)-7	CM7(#11)	CM7(#11)
フラットファイブ[$\flat 5$]	1-3- $\flat 5$	C($\flat 5$)	C $\flat 5$
メジャーセブンスフラットファイブ[M7 $\flat 5$]	1-3- $\flat 5$ -7	CM7 $\flat 5$	CM7 $\flat 5$
サスフォー[sus4]	1-4-5	Csus4	Csus4
オーギュメント[$\sharp 5$]	1-3-#5	Caug	Caug
メジャーセブンスオーギュメント[M7aug]	1-(3)-#5-7	CM7aug	CM7aug
マイナー[m]	1- $\flat 3$ -5	Cm	Cm
マイナーアッドナインズ[m(9)]	1-2- $\flat 3$ -5	Cm(9)	Cm(9)
マイナーシックス[m6]	1- $\flat 3$ -5-6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス[m7]	1- $\flat 3$ -(5)- $\flat 7$	Cm7	Cm7
マイナーセブンスナインズ[m7(9)]	1-2- $\flat 3$ -(5)- $\flat 7$	Cm7(9)	Cm7(9)
マイナーセブンスアッドイレブンス[m7(11)]	1-(2)- $\flat 3$ -4-5-($\flat 7$)	Cm7(11)	Cm7(11)
マイナーメジャーセブンス[mM7]	1- $\flat 3$ -(5)-7	CmM7	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインズ[mM7(9)]	1-2- $\flat 3$ -(5)-7	CmM7(9)	CmM7(9)
マイナーセブンスフラットファイブ[m7 $\flat 5$]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ - $\flat 7$	Cm7 $\flat 5$	Cm7 $\flat 5$
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ[mM7 $\flat 5$]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ -7	CmM7 $\flat 5$	CmM7 $\flat 5$
ディミニッシュ[dim]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス[dim7]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ -6	Cdim7	Cdim7
セブンス[7]	1-3-(5)- $\flat 7$ または 1-(3)-5- $\flat 7$	C7	C7
セブンスフラットナインズ[7($\flat 9$)]	1- $\flat 2$ -3-(5)- $\flat 7$	C7($\flat 9$)	C7($\flat 9$)
セブンスアッドフラットサーティーンズ[7($\flat 13$)]	1-3-5- $\flat 6$ - $\flat 7$	C7($\flat 13$)	C7($\flat 13$)
セブンスナインズ[7(9)]	1-2-3-(5)- $\flat 7$	C7(9)	C7(9)
セブンスアッドシャープイレブンス[7(#11)]	1-(2)-3-#4-5- $\flat 7$ または 1-2-3-#4-(5)- $\flat 7$	C7(#11)	C7(#11)
セブンスアッドサーティーンズ[7(13)]	1-3-(5)-6- $\flat 7$	C7(13)	C7(13)
セブンスシャープナインズ[7(#9)]	1-#2-3-(5)- $\flat 7$	C7(#9)	C7(#9)
セブンスフラットファイブ[7 $\flat 5$]	1-3- $\flat 5$ - $\flat 7$	C7 $\flat 5$	C7 $\flat 5$
セブンスオーギュメント[7aug]	1-3-#5- $\flat 7$	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー[7sus4]	1-4-(5)- $\flat 7$	C7sus4	C7sus4
ワンプラスツープラスファイブ[1+2+5]	1-2-5	C1+2+5	C



カッコ()内の音符は省略しても構いません。

完全5度の押鍵ではルート音と5度の音によるパターンが演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。

オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによるパターンが演奏されます。

黒鍵を含めて隣接する3音を押鍵すると、コード演奏がキャンセルされ、リズム楽器のみのパターン演奏になります。(コードキャンセル)

コード押鍵は全て基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。

m7, m7 $\flat 5$, 6, m6, sus4, aug, dim7, 7 $\flat 5$, $\sharp 9$, m7(11) 1+2+5

7sus4は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。

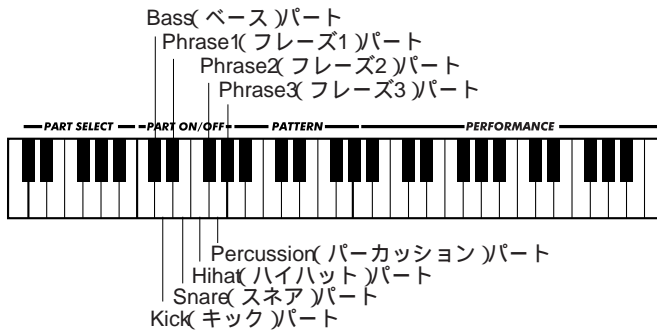
同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、パターンの演奏が変化しないことがあります。

鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

各スタイルの性質により、コード指定してもパターン演奏が変化しなかったり、指定したコードがパターン演奏にマッチしない場合があります。

パートのオン/オフ

DJXの一つ一つのパターンは、それぞれ8つのパートで構成されています。それぞれのパートをオン(鳴らす)/オフ(鳴らさない)することにより、パターンの印象に変化を与えます。



PART CONTROLボタンを押して、パートコントロールをオンにします。パートコントロールをオンにすると、8パートのオン/オフを切り替えることができます。



電源を入れた時は、パートコントロールは「オン」に設定されています。

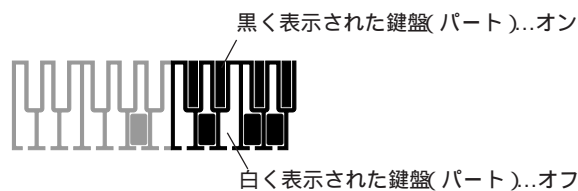
STYLEモードでパートコントロールをオンにすると、自動的にシンクロ待機状態になります。

パターン演奏を録音したユーザーソングの再生中に、パートをオン/オフすることもできます。

パターン鍵域で黒鍵を含めて隣接する3音を押鍵すると、コード演奏(黒鍵パート)がキャンセルされ、リズム楽器のみ(白鍵パート)のパターン演奏になります。パターン鍵域でコードを押さえると、コード演奏が鳴りはじめます。

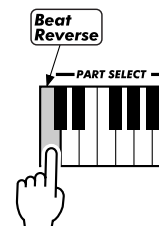
パートコントロールをオフにして再びオンにすると、パートのオン/オフ設定はリセットされ、すべてのパートがオンになります。

パターン演奏をスタートし、8つのPART ON/OFF鍵盤を押さえて、それぞれのパートをオン/オフします。現在のオン/オフ情報は、ディスプレイの鍵盤イラストの右側に表示されます。



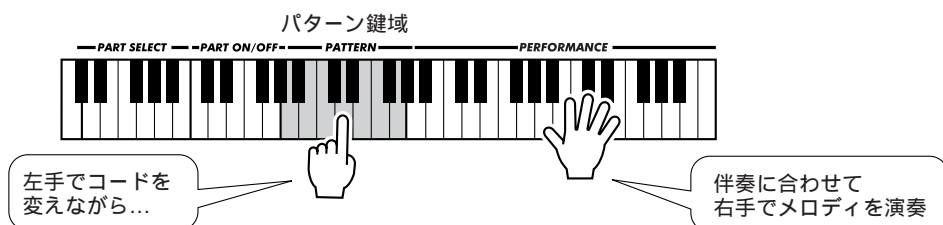
ビートリバース機能

パートコントロールがオンの場合、パターン演奏中にいちばん左の Beat Reverse 鍵盤を押すと、次の裏拍のタイミングでパターン演奏の1拍目が演奏されます(表拍と裏拍の入れ替え)。連続して押すとテクノ系・ハウス系パターンに有効な効果が得られます。



Beat Reverse鍵盤を押すたびに、ディスプレイの小節数は1つずつ増加します。

パターン演奏に合わせてメロディ演奏

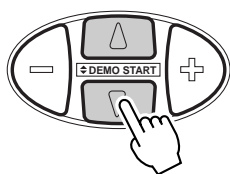


自分の演奏しやすいテンポに調整しましょう。(26ページ「テンポの調整」)

パターン音量の調整

パターン演奏全体の音量を調節して、パフォーマンス鍵域の演奏とのバランスをとることができます。

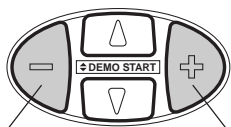
- 1 ディスプレイに「PtrnVol」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押しします。



PATTERN/SONG VOLUME



- 2 OVERALL[+] [-] ボタンを押して、パターン演奏の音量を000～127の範囲で変更します。



設定値が減少し、音量が小さくなります。

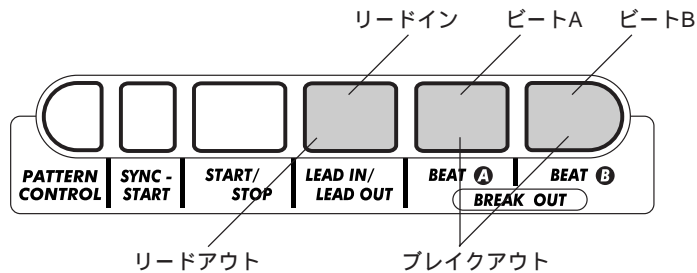
設定値が増加し、音量が大きくなります。



OVERALL[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

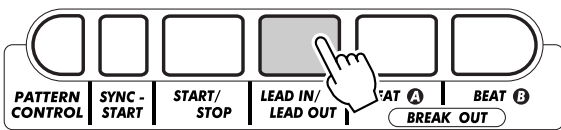
セクションの切り替え

パターン演奏には、リードイン、ビートA/B、ブレイクアウト、リードアウトのセクションがあります。曲の構成に合わせてセクションを変えることにより、表情豊かな演奏をすることができます。

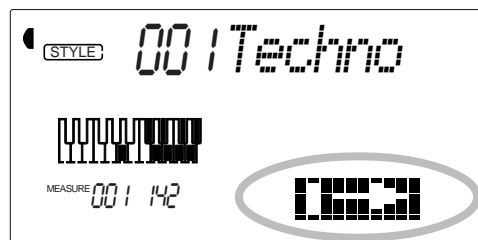


リードインセクション(LEAD IN/LEAD OUTボタン)

曲のスタート前にこのボタンを押すと、リードイン(曲の始まり)にふさわしいフレーズでスタートします。リードインセクションの演奏が終了すると、ビートA/Bセクションに移行します。



パターンスタート前にLEAD IN/LEAD OUTボタンを押します。



BEAT A/Bボタンを押してからLEAD IN/LEAD OUTボタンを押すと、リードイン演奏後のビートA/Bセクションを指定できます。

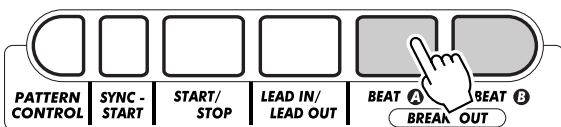
☞ 表示中にLEAD IN/LEAD OUTボタンを押すと、リードインがキャンセルされ、ディスプレイにはスタート後に演奏されるビートセクション「A(B)」が表示されます。



フットスイッチの操作で、リードインセクションを選択したりリードアウトさせることもできます。(84ページ参照)

ビートセクション(BEAT A/Bボタン)

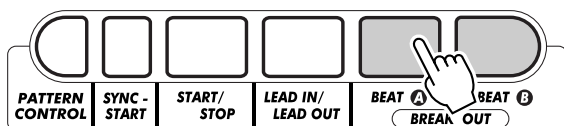
A/B2つのバリエーションがあります。BEAT A/Bボタンを押して切り替えます(演奏中に切り替えると自動的にブレイクアウトが演奏されます)。



フットスイッチの操作で、ビートA/Bセクションを切り替えることもできます。(84ページ参照)
スタート前(パターン停止中)にBEAT A/Bボタンを押してセクションを予約することもできます。

ブレイクアウトセクション(BEAT A/Bボタン)

ブレイクアウトは曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中にBEAT A/Bボタンを押すと、演奏状況に応じて最適なブレイクアウトが自動的に演奏され、伴奏にアクセントを付けることができます。

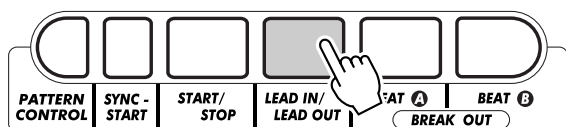


小節内の最終拍以降に、BEAT A/Bボタンを押すと、次の小節からブレイクアウトが始まります。

BEAT A/Bボタンを押し続けると、ブレイクアウトが繰り返し演奏されます。

リードアウトセクション(LEAD IN/LEAD OUTボタン)

曲の最後にこのボタンを押すと、リードアウト(曲の終り)にふさわしいフレーズになり、演奏が自動的にストップします。



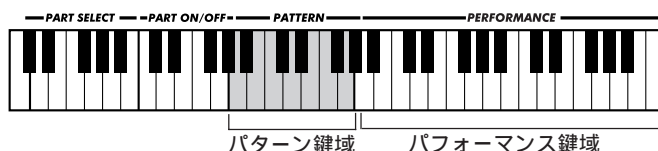
LEAD IN/LEAD OUTボタンを2拍目より後で押すと、次の小節からリードアウトが演奏されます。

フットスイッチの操作で、リードインセクションを選択したりリードアウト演奏させることもできます。(84ページ参照)

パターン演奏のスプリットポイントを変更する

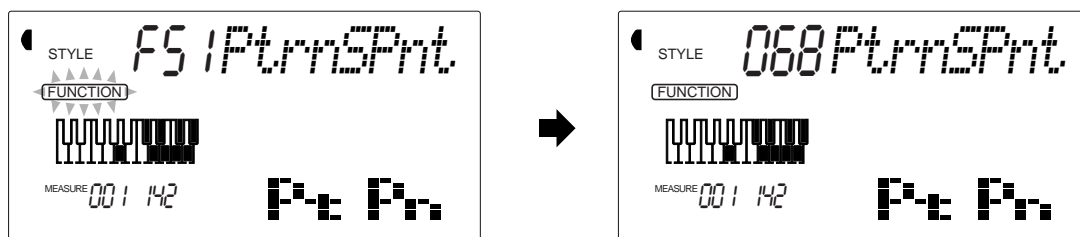
パターンを使って演奏する時のスプリットポイント(パフォーマンス鍵域とパターン鍵域の境界点)を変更します。

パターン演奏のスプリットポイント



ファンクション51の設定で、パターン演奏のスプリットポイントの設定を行うことができます。設定した鍵盤がパターン鍵域の最高音になります。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



現在設定されているパターン演奏のスプリットポイントをノートナンバーで表示します。ナンバーボタン、[+] [-] ボタンを押して、スプリットポイントを0~127の範囲で変更することができます。また、直接鍵盤を押してスプリットポイントを設定することもできます。この場合は鍵盤を押しても音は鳴りません。

スプリットポイントを変更したら、SONG/STYLE/VOICEボタンを押してファンクションモードを抜けます。(ファンクションモードを抜けると鍵盤演奏できます。)



デフォルト(工場出荷時)は「G#3(68)」に設定されています。(パートコントロールをオフにすると、1オクターブ下がりの「G#2(56)」になります。)

スプリットポイントのスプリットポイントの設定は、35ページを参照してください。また、パートコントロール「オン」の時やパターンコントロール「オン」時の鍵域設定に関しては、12ページを参照してください。



スタイルに合ったボイスを選ぶには (パフォーマンスセットアップ)

STYLEモードで、PERFORMANCE SETUP(PRESET A/B)ボタンを押すと、スタイルに最適なボイスが自動的にパネルに呼び出され、たいへん便利です。

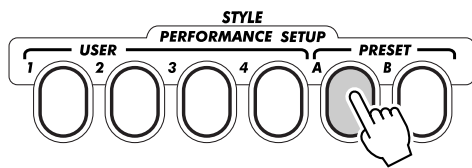
また、自由なパネル設定が16種類記録できます(ユーザーバンク1~4×ユーザー1~4)。記録したユーザー設定は、いつでも呼び出すことができます。



パフォーマンスセットアップで設定を呼び出すと、それまでのパネル設定は失われます。大切な設定データはユーザー1~4(53ページ参照)に記録しておきましょう。

プリセットA/Bを呼び出す

STYLEモードで好みのスタイルを選び、PERFORMANCE SETUP(PRESET A、またはB)ボタンを押すと、プリセットA/Bそれぞれに記憶されているパネル設定が呼び出されます。



パフォーマンスセットアップ(プリセットA/B)の設定内容

- ・メインボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・デュアルボイスオン/オフ
- ・デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・スプリットボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・リバーブオン/オフ、およびリバーブタイプ
- ・コーラスオン/オフ、およびコーラストイプ
- ・DSPオン/オフ
- ・アルペジエーターオン/オフ、およびアルペジエータータイプ、アルペジエータースピード
- ・パターンコントロール オン*
- ・セクション設定(ビートA/B)*
- ・パターン演奏のスプリットポイント*
- ・シンクロスタートオン*
- ・ピッチベンドレンジ
- ・ASSIGNノブ設定
- ・リボンコントローラー設定
- ・パートオン/オフ設定
- ・パートセレクト設定
- ・グループ
- ・ダイナミクス
- ・ダイナミクスストレングス

* 印の設定項目は、パターン演奏がストップしている時だけ呼び出されます。

ユーザー設定を記録する

パフォーマンスセットアップ(ユーザー1~4)の設定内容

- ・メインボイス(ボイスナンバー、ボリューム***、オクターブ、パン***、リバーブセンドレベル***、コーラスセンドレベル***、DSPセンドレベル***、カットオフ**、レゾナンス**、アタック**、リリース**、モジュレーション**)
- ・デュアルボイスオン/オフ
- ・デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム***、オクターブ、パン***、リバーブセンドレベル***、コーラスセンドレベル***、DSPセンドレベル***、カットオフ**、レゾナンス**、アタック**、リリース**、モジュレーション**)
- ・スプリットボイスオン/オフ
- ・スプリットボイス(ボイスナンバー、ボリューム***、オクターブ、パン***、リバーブセンドレベル***、コーラスセンドレベル***、DSPセンドレベル***、カットオフ**、レゾナンス**、アタック**、リリース**、モジュレーション**)
- ・スプリットポイント
- ・リバーブオン/オフ、およびリバーブタイプ
- ・コーラスオン/オフ、およびコーラスタイプ
- ・DSPオン/オフ、およびDSPタイプ
- ・アルペジエーターオン/オフ、およびアルペジエータータイプ、アルペジエータースピード**
- ・スタイルナンバー
- ・パターンコントロールオン/オフ
- ・セクション設定(ビートA/B)
- ・パターン演奏のスプリットポイント
- ・パターン各トラックの設定**(ボリューム、パン、カットオフ、レゾナンス、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル、アタック、リリース、モジュレーション)
- ・パートオン/オフ設定
- ・パートセレクト設定
- ・グループ**
- ・ダイナミクス**
- ・ダイナミクスストレングス**
- ・オーバーオール(BPM、トランスポーズ、チューニング、パターン音量、リボンコントローラーアサイン、ノブアサイン)
- ・フットスイッチ機能設定
- ・タッチセンス
- ・ピッチベンドレンジ

** 印の設定項目は、ノブやリボンコントローラーの操作により最後に設定された値(ノブの位置)が記録されます。

*** 印の設定項目は、ファンクション、およびノブやリボンコントローラーの操作により最後に設定された値が記録されます。



パフォーマンスセットアップのユーザー設定録音モードに入ります。

RECORDボタンを繰り返し押し続けて(ディスプレイのRECORDアイコン点滅中に)、ディスプレイに「PSU User」を表示させます。

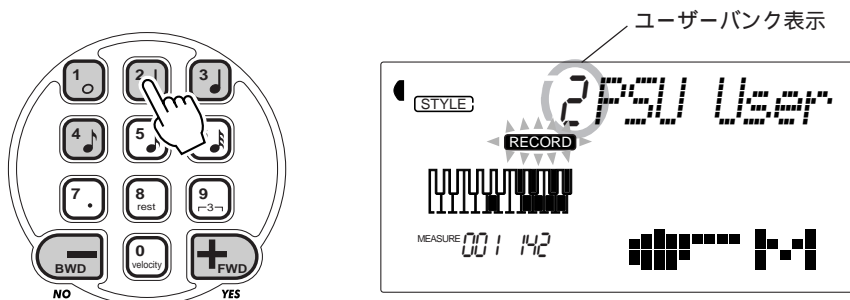


RECORDアイコンが点滅した後、点灯になります。

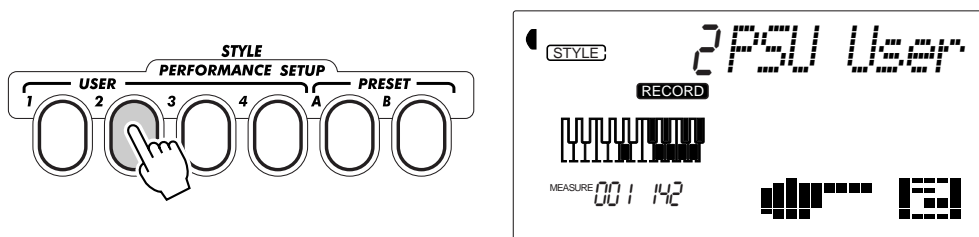


スタイルに合ったボイスを選ぶには(パフォーマンスセットアップ)

- 2 ナンバーボタン[1]~[4][+][-]ボタンを押して、記録したいユーザーバンク(1~4)を選択します。



- 3 USER1~4ボタンの中から記録したいボタンを押します。これで現在のパネル設定が記録されました。



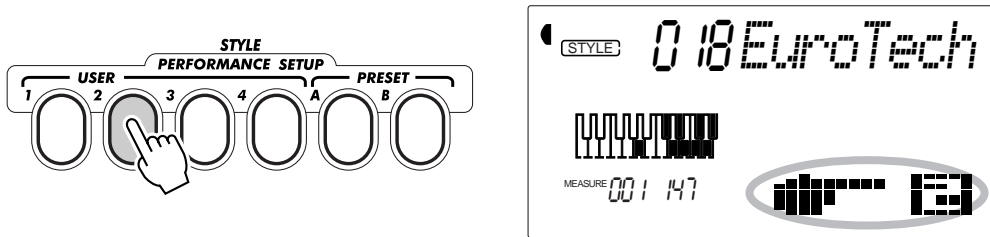
すでに設定データが記録されているユーザーボタンを選択すると、設定データが上書きされ、以前のデータは消去されます。

- 4 RECORDボタンを押して、録音モードを抜けます。(RECORDアイコン消灯)



記録したパネル設定(ユーザー1~4)を呼び出す

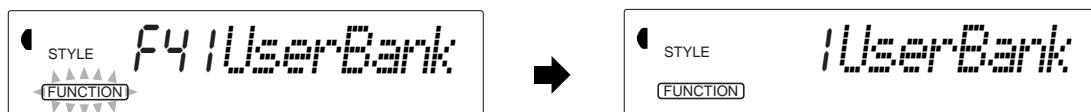
- 1 ▶ STYLEモードにします。
- 2 ▶ USER1~4ボタンを押すと、パネルに設定内容が呼び出されます。



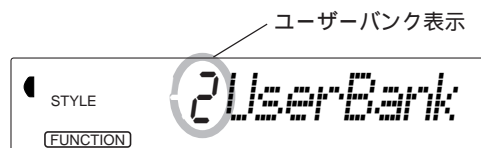
バンクを変えるには...

ファンクション41の設定で、呼び出したいユーザーバンクを選択します。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



ナンバーボタン[1]~[4] [+] [-] ボタンを押して、呼び出したいユーザーバンク(1 ~ 4)を選択します。

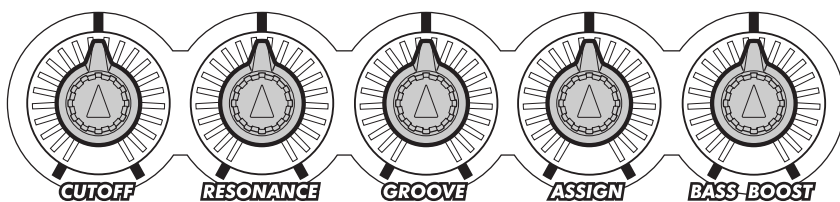




ノブ&リボンコントローラーを使ってみましょう(ノブ&リボンコントローラー)

DJXは、ノブやリボンコントローラーを使って、ソングやパターン、ボイスにいろいろな変化をつけることができます。
ソングやパターン、ボイスを鳴らしながら、アナログシンセサイザーを触る感覚でコントロールしてみましょう。

ノブについて



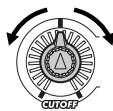
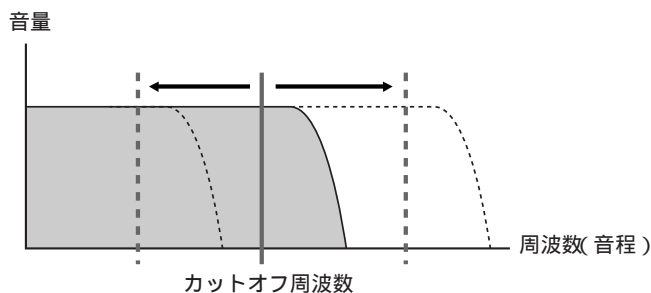
CUTOFFノブ、RESONANCEノブはパートセレクト(61ページ参照)で選択されたパート(メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス、ソング/スタイルの各パート)に対してさまざまな効果を与えます。

電源を入れた時は、パートセレクトは「Main Voice(パフォーマンス鍵域の演奏)」に設定されています。パフォーマンス鍵域で演奏しながらノブを回してみましょう。

また、GROOVEノブはパターン演奏に対して、BASS BOOSTノブはDJXで鳴るすべての音に対して効果を与えます。ASSIGNノブにはいろいろな機能をアサインする(割り当てる)ことができます。

CUTOFFノブ

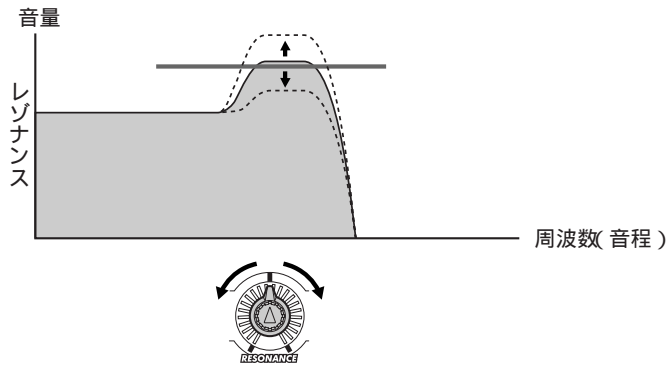
パートセレクトで選択されたパート(例：メインボイス)のカットオフ周波数をコントロールします。右に回すと明るい音色に、左に回すともった音色になります。



指定した周波数帯域より高音域をカットオフします。

RESONANCE ノブ

選択されたパート(例:メインボイス)のカットオフ周波数付近の効果の大きさをコントロールします。効果はボイスによって異なります。右に回すと効果が大きくなり、左に回すと効果が小さくなります。



GROOVE ノブ

パターンのタイミングを微妙にずらして、音楽のノリやグルーブ感を演出します。32種類のテンプレートを内蔵しているため、回し具合によって、選ばれる効果が異なります。(センター位置でもとの状態に戻ります。)

GROOVE ノブはパターン演奏を録音したユーザーソングの再生中も有効です。

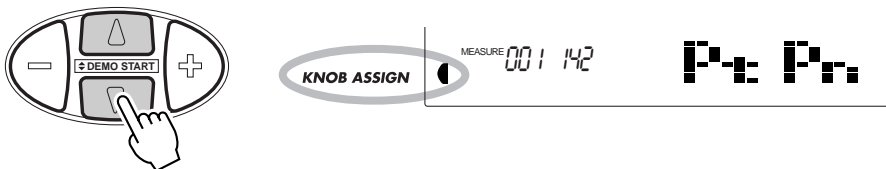
ASSIGN ノブ

ダイナミクスや、テンポ(BPM)とピッチなど、さまざまなコントロールがアサインできます。

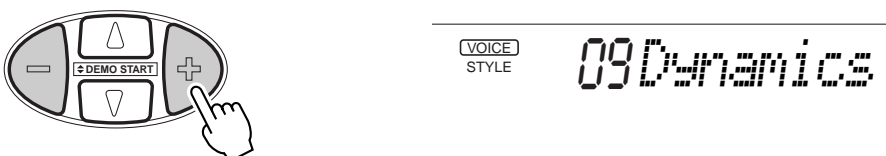
ASSIGN ノブでコントロールする効果の変更

ASSIGN ノブでコントロールする効果をアサイン(登録)します。

- 1 ディスプレイのOVERALLアイコンが「KNOB ASSIGN」の位置に移動するまで、OVERALL または ボタンを繰り返し押します。



- 2 OVERALL[+] [-] ボタンを押して、コントロールする効果を変更します。



ASSIGNノブ効果リスト

ナンバー	効果名	内容
01	<i>RevLevel</i> リバーブセンドレベル	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのリバーブセンドレベルをコントロールします。
02	<i>ChoLevel</i> コーラスセンドレベル	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのコーラスセンドレベルをコントロールします。
03	<i>DspLevel</i> DSPセンドレベル	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのDSPセンドレベルをコントロールします。
04	<i>Mod</i> モジュレーション	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパート演奏にビブラート(変調効果)をかけます。左右どちらに回しても同じ効果がかかります。
05	<i>Attack</i> アタック	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのアタックタイム(音が鳴り始めてから最大音量レベルに達するまでの時間)をコントロールします。ボイスによっては、変化しない場合もあります。
06	<i>Release</i> リリース	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのリリースタイム(音が鳴り止み始めてから鳴らなくなるまでの時間)をコントロールします。
07	<i>Pan</i> パン	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのパン(音の定位)をコントロールします。
08	<i>Volume</i> ボリューム	パートセレクト(61ページ参照)で選ばれているパートのボリューム(音量)をコントロールします。
09	<i>Dynamics</i> ダイナミクス	パターンのタイミングによってベロシティを増減して、パターンの印象を変化させます。32種類のテンプレートを内蔵しているため、回し具合によって、選ばれる効果が異なります。(センター位置でもとの状態に戻ります。)
10	<i>Strength</i> ダイナミクスストレングス	ダイナミクスで変化させるベロシティの大きさをコントロールします。
11	<i>Turntbl</i> ターンテーブル	パターンやソング演奏のテンポとピッチを同時にコントロールします。テンポはその時点でのテンポの - 59% ~ + 41.4% の範囲で、ピッチは - 800セント ~ + 600セントの範囲でコントロールできます。テンポは32 ~ 280の範囲を越えることはありません。ピッチはボイスによってはあまり変化しない場合もあります。ノブをいちばん左まで回すと、パターンやソング演奏がストップします。リボンコントローラー(59ページ参照)にアサインした場合は、いちばん左を押さえるとパターンやソング演奏がストップします。
12	<i>ArpSpeed</i> アルペジエータースピード	アルペジエーターのスピード(分解能)を10段階でコントロールします。(アルペジエーターオンの場合だけ機能します。)



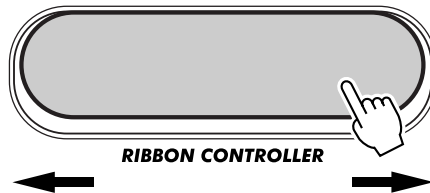
OVERALL[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。
選ばれているソング、スタイル、ボイスによっては、アサインした効果がかけられない場合もあります。

BASS BOOSTノブ

DJXで鳴るすべての音(メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス、パターン、ソング)の低域をブースト(強調)して、音色に厚みを加えます。右に回すと低域が強調され、左に回すと低域が弱くなります。センター位置でデフォルト(初期設定値)になります。

リボンコントローラーについて

RIBBON CONTROLLERは指でこずることにより、DJXにさまざまな効果を与えます。パターンやソングを鳴らしたり、鍵盤演奏しながら、スクラッチ感覚でRIBBON CONTROLLERをこずってみましょう。



左にこするとコントロールする効果の設定値が減少します。
(例「14: Turntbl」が設定されている場合: テンポが遅くなります。)

右にこするとコントロールする効果の設定値が増加します。
(例「14: Turntbl」が設定されている場合: テンポが速くなります。)

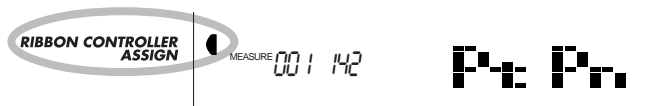
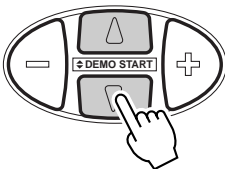


リボンコントローラーは指を離すと初期設定値に戻ります。設定値を変更した後に指を離して、そのまま演奏を続けたい場合は、その効果をASSIGNノブにアサインすると便利です。

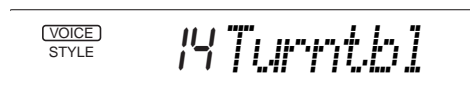
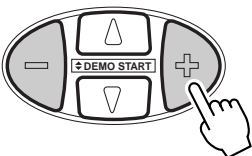
リボンコントローラーでコントロールする効果の変更

リボンコントローラーでコントロールする効果をアサインします(割り当てます)。

- 1 ディスプレイのOVERALLアイコンが「RIBBON CONTROLLER ASSIGN」の位置に移動するまで、OVERALL または ボタンを繰り返し押します。



- 2 OVERALL[+] [-] ボタンを押して、コントロールする効果を変更します。



ノブ&リボンコントローラーを使ってみましょう(ノブ&リボンコントローラー)

リボンコントローラー・効果リスト

ナンバー	効果名	内容
01	<i>Cutoff</i> カットオフ	CUTOFFノブと同様の効果がかかります。(56ページ参照)
02	<i>Resonanc</i> レゾナンス	RESONANCEノブと同様の効果がかかります。 (57ページ参照)
03	<i>RevLevel</i> リバーブセンドレベル	ASSIGNノブ設定「01 : RevLevel」と同様の効果です。 (58ページ参照)
04	<i>ChoLevel</i> コーラスセンドレベル	ASSIGNノブ設定「02 : ChoLevel」と同様の効果です。 (58ページ参照)
05	<i>DspLevel</i> DSPセンドレベル	ASSIGNノブ設定「03 : DspLevel」と同様の効果です。 (58ページ参照)
06	<i>Mod</i> モジュレーション	ASSIGNノブ設定「04 : Mod」と同様の効果です。 (58ページ参照)左端でデフォルト(初期設定)になります。
07	<i>Attack</i> アタック	ASSIGNノブ設定「05 : Attack」と同様の効果です。 (58ページ参照)
08	<i>Release</i> リリース	ASSIGNノブ設定「06 : Release」と同様の効果です。 (58ページ参照)
09	<i>Pan</i> パン	ASSIGNノブ設定「07 : Pan」と同様の効果です。 (58ページ参照)
10	<i>Volume</i> ボリューム	ASSIGNノブ設定「08 : Volume」と同様の効果です。 (58ページ参照)
11	<i>Groove</i> グルーブ	GROOVEノブと同様の効果がかかります。(57ページ参照)
12	<i>Dynamics</i> ダイナミクス	ASSIGNノブ設定「09 : Dynamics」と同様の効果です。 (58ページ参照)
13	<i>Strength</i> ダイナミクスストレンクス	ASSIGNノブ設定「10 : Strength」と同様の効果です。 (58ページ参照)
14	<i>Turntbl</i> ターンテーブル	ASSIGNノブ設定「11 : Turntbl」と同様の効果です。 (58ページ参照)左端を押さえるとパターンやソング演奏がストップします。
15	<i>ArpSpeed</i> アルペジエータースピード	ASSIGNノブ設定「12 : ArpSpeed」と同様の効果です。 (58ページ参照)



OVERALL[+][-]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

選ばれているソング、スタイル、ボイスによっては、アサインした効果がかからない場合もあります。

ノブ、リボンコントローラーでコントロールするパートの変更(パートコントロールの設定)

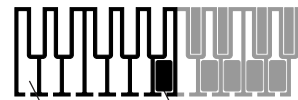
CUTOFFノブ、RESONANCEノブは、その効果をかけるパートを設定することができます。設定したパートは、ASSIGNノブ、リボンコントローラーにアサインされた機能によっては、それらのコントロールの対象パートになります。

PART CONTROLボタンを押して、パートコントロールをオンにします。パートコントロールをオンにすると、ボイス系ノブでコントロールするパートを切り替えることができます。



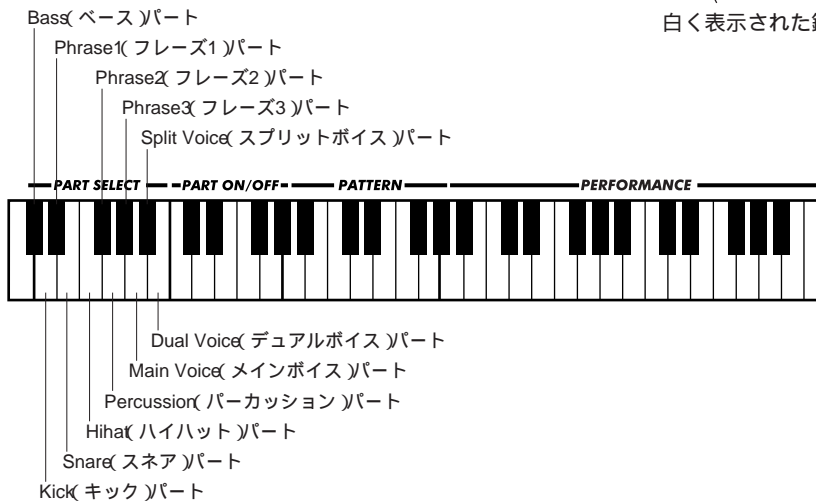
電源を入れた時は、パートコントロールは「オン」に設定されています。
GROOVEノブはパターン演奏をコントロールし、またBASS BOOSTノブはDJXで鳴るすべての音をコントロールするため、パートセレクトの設定は一切影響しません。

PART SELECT鍵盤を押さえて、パートを選びます。現在のパート情報は、ディスプレイの鍵盤イラストの左側に表示されます。

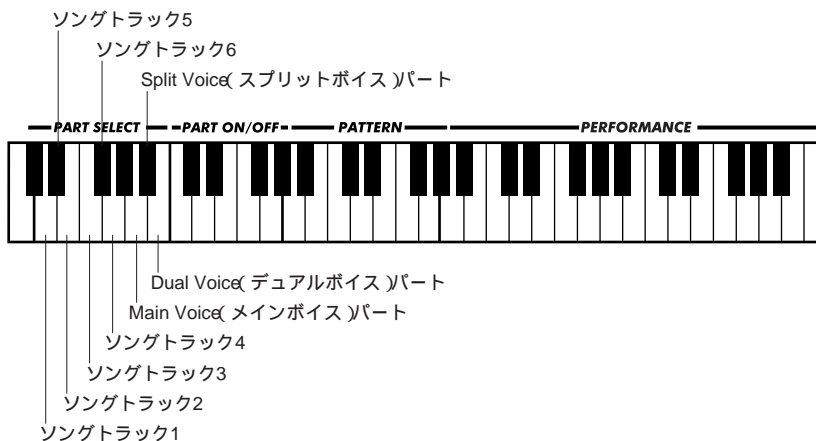


黒く表示された鍵盤(パート)...オン
白く表示された鍵盤(パート)...オフ

STYLEモード時



SONGモード時



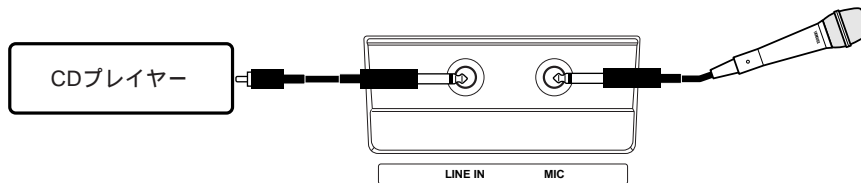


自分の声や音を録音するには(サンプリング)

DJXは、自分の声や物音、CDの演奏などを録音できるサンプリング機能を持っています。サンプリングした音は鍵盤を押さえて、他のボイスと同じようにピッチ付きで鳴らすことができます。

LINE IN端子 外部機器を接続すれば、シンセサイザーやCDプレイヤーなどの演奏を録音できます。

MIC端子 マイクを接続すれば、人の声などを録音できます。



マイク、または外部機器を接続して録音してみましょう。

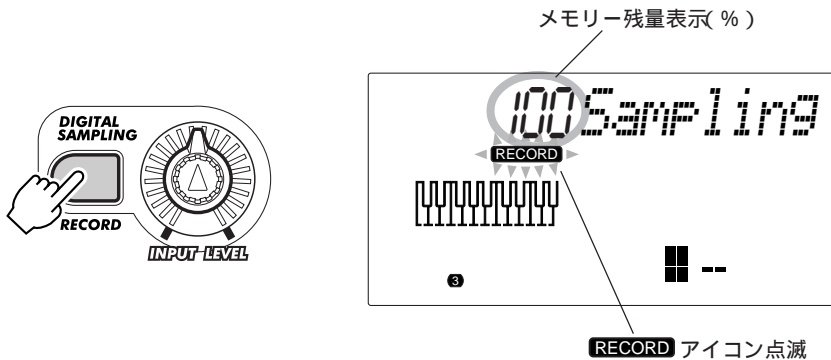
DJXのサンプリングについて

- 最大サンプリング数 : 12音(12個の音をサンプリング可能)
- メモリー(12音の合計) : 128kバイト
- 1音の最大サンプリング容量 : 64kバイト(全体の50%)
- 1音の最大サンプリング時間 : 約3秒(全体の50%)
- 総サンプリング時間 : 約6秒
- サンプリング周波数 : 22kHz
- サンプリング精度 : 8ビット

サンプリング

1 サンプリングモードに入ります。

DIGITAL SAMPLING部のRECORDボタンを押してサンプリングモードに入ります。



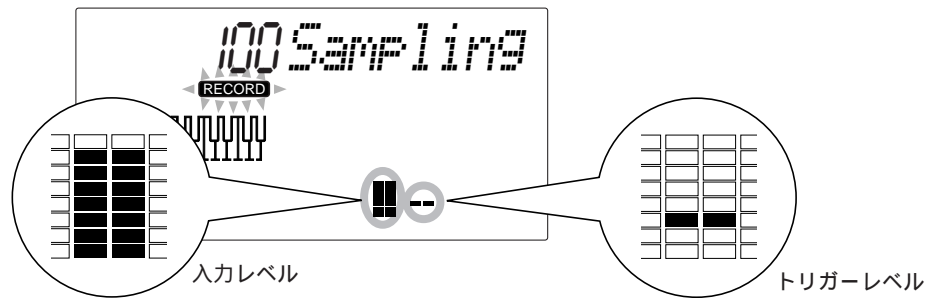
もう一度RECORDボタンを押すとサンプリングモードを抜けます。



すでにサンプリングデータがある場合は、データが記録されている鍵盤が点灯表示されます。

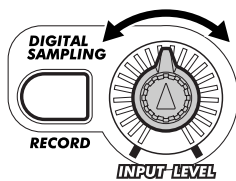
2 入力レベルとトリガーレベルを調節します。

ディスプレイのアイコン部分を参照しながら、入力レベルとトリガーレベルを調節します。アイコン部分の左側のバーが入力レベルを、右側のバーがトリガーレベルを表します。



入力レベル

実際にサンプリングする音をマイクに入れて(ライン入力して)ディスプレイの入力レベル表示を確認します。サンプリングする音が大きすぎたり小さすぎる場合は、INPUT LEVELノブを回して適度な値に調節します。

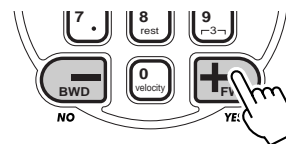


入力レベルは、上から2番目のバーが適切です。入力レベルがオーバーすると、サンプリング音が歪むことがあります。

トリガーレベル

後述のサンプリング待機状態(64ページ参照)に入ると、MIC/LINE IN端子からの入力信号が設定したトリガーレベルを越えた時に、サンプリングがスタートします。

トリガーレベルは、[+][-]ボタンを使って1~7の範囲で調節します(0dB ~ -18dB : -3dB単位の7段階)。



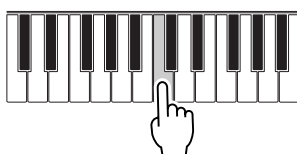
設定値が大きくなるほど、サンプリングをスタートするのに大きな入力信号(大きな音)が必要になります。

メモ トリガーレベルを低くすると、サンプリングする音の前に雑音が入りますので、ご注意ください。

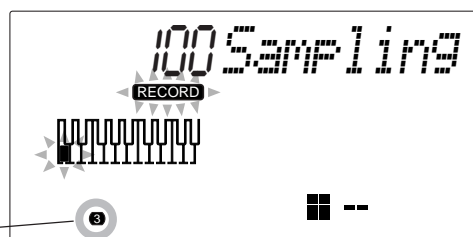
3 サンプリング音をアサインする鍵盤を選択します。

どの鍵盤にサンプリング音をアサインする(割り当てる)か、鍵盤を押して選択します。ディスプレイにはその鍵盤が表示されます。

例) C3の場合



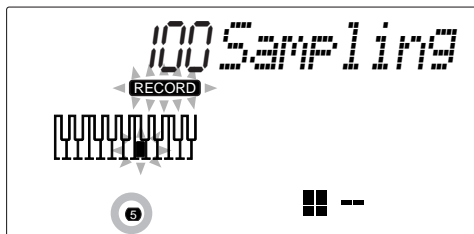
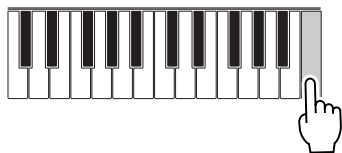
オクターブ表示(ソングトラック表示部)



自分の声や音を録音するには(サンプリング)

C1～B5までは鍵盤イラストの左半分と、オクターブナンバーで表示されます。
C6の場合は次のように表示されます。

例 C6の場合



OVERALL[+][-]ボタンを押すとオクターブナンバーが変更でき、すでにサンプリングされている鍵盤を確認する場合に便利です。(この操作では、サンプリングする鍵盤は選択されません。)



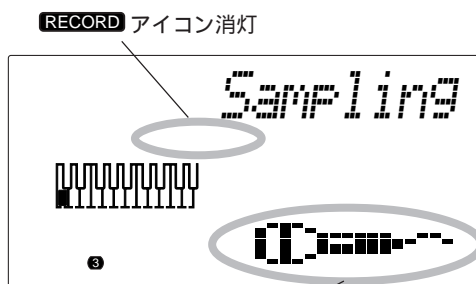
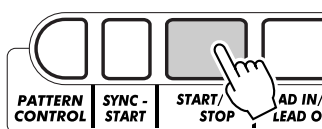
すでにサンプリングされている鍵盤を選択すると、ディスプレイに「YES Delete?」が表示され、そのサンプリング音を削除してもよいか確認を促します。(66ページ参照)
サンプリングのメモリー残量が0%で、録音(サンプリング)されていない鍵盤が選ばれると「Mem Full」が表示され、鍵盤を選択できません。

12音がすでにサンプリング済みの場合で、録音(サンプリング)されていない鍵盤が選ばれると「BankFull」が表示され、鍵盤を選択できません。

サンプリング後にアサインした鍵盤を変更することはできません。

4 サンプリング待機状態に入ります。

START/STOPボタンを押すと、サンプリング待機状態に入ります。



マイクアイコン(サンプリング待機状態)

もう一度START/STOPボタンを押すと、サンプリング待機状態を抜けて、手順3(サンプリングモード)に戻ります。

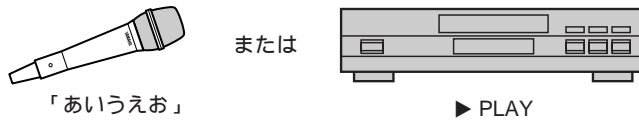


サンプリング待機状態に入ると、START/STOP以外のすべてのボタン操作ははたらきません。

手順3でサンプリング音をアサインする鍵盤が選択されていない場合は、サンプリング待機状態に入らず、「Sel.Key(鍵盤を選んでください)」が表示されます。手順3の操作を行ってください。

5 サンプリングをスタートします。

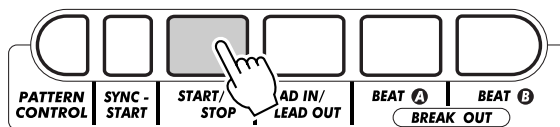
マイク/ライン入力で音声を入力します。入力レベルが、設定したトリガーレベルを越えるとサンプリングがスタートします。



サンプリング中は、START/STOP以外のすべてのボタン操作ははたらきません。

6 サンプリングをストップします。

START/STOPボタンを押すと、手順 3(サンプリングモード)に戻ります。



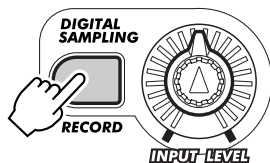
また、1音のサンプリング容量64kバイトを越えたり、全サンプリング音の合計容量が128kバイトを越えると、サンプリングは自動的にストップし、手順 3(サンプリングモード)に戻ります。



サンプリングのストップ操作が遅れると、録音時間(サンプリング容量)を費やしてしまいますので、ご注意ください。

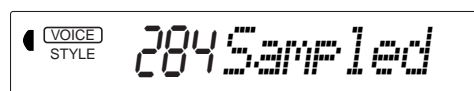
7 サンプリングモードを抜けます。

DIGITAL SAMPLING部のRECORDボタンを押してサンプリングモードを抜けます。



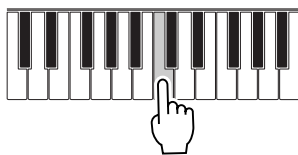
8 サンプリングした音を再生しましょう。

サンプリングモードを抜けると、メインボイスにボイスナンバー284(サンプリングボイス)が自動的に選ばれます。



サンプリング音を鍵盤で鳴らしましょう。

手順 3 で設定した鍵盤を押さえると、サンプリング音が再生されます。

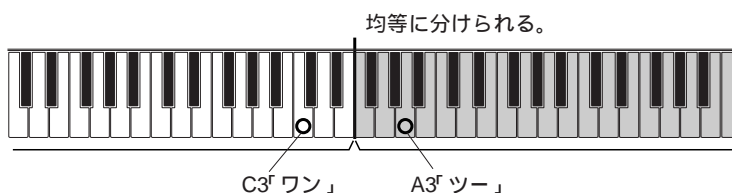


また、その左右の鍵盤を押さえると、ピッチ(音程)が変わって再生されます。



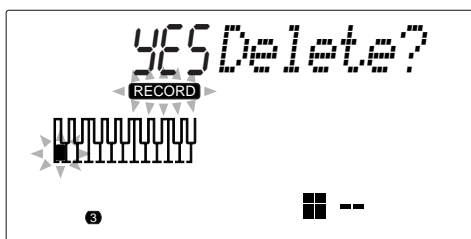
サンプリング音にも、チューニング、トランスポーズ、ピッチベンドは有効です。
 サンプリング音は、MIDIデータとして外部機器に出力して保存することができます。(93ページ参照)
 再生させたサンプリング音は、もとの音に比べて音質が少し異なる場合があります。
 サンプリング音を再生させているときにCUTOFFノブおよびRESONANCEノブを操作すると、音域によってはノイズが発生する場合があります。

DJXは最大12音までサンプリングすることができます。複数の鍵盤にサンプリングした場合、2つのサンプリング音の間の鍵盤を押さえると、2つの音が均等に分けられて再生されます。たとえば、C3に「ワン」というサンプリング音を、A3に「ツー」というサンプリング音を録音した場合、鍵盤では以下のように再生されます。

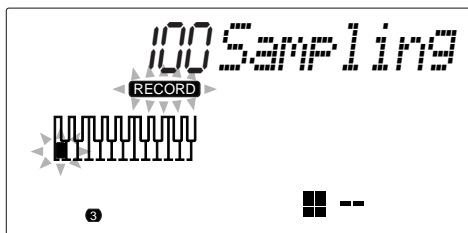
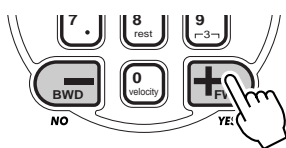


サンプリング音の削除

手順 3 で、すでにサンプリングされている鍵盤を選択すると、ディスプレイに「YES Delete?」が表示されます。



YES [+] ボタンを押すと、サンプリングされていた音が削除され、その鍵盤がアサインする鍵盤として選択されます。また、録音可能なメモリー容量が増加します。



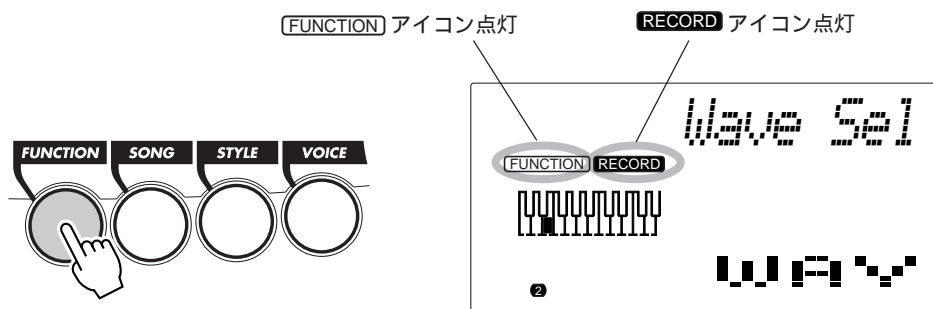
[-] ボタンを押すと、鍵盤選択はキャンセルされ、削除も実行されません。

ループ再生

サンプリングした音はそのまま鳴らすだけでなく、ループ(繰り返し)再生で鳴らすこともできます。

1 サンプリングモードに入ります。(62ページ参照)

2 サンプリング再生設定モードに入ります。
FUNCTIONボタンを押してサンプリング再生設定モードに入ります。



もう一度FUNCTIONボタンを押すとサンプリング再生設定モードを抜けて、サンプリングモードに戻ります。

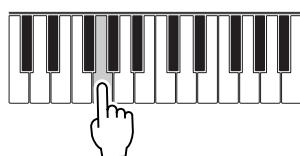


何もサンプリングされていない場合は、ディスプレイに「No Data」が表示されサンプリング再生設定モードに入れません。

3 再生設定するサンプリング音を選びます。

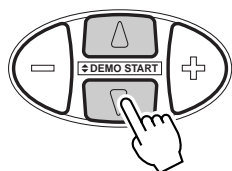
現在選ばれているサンプリング音がディスプレイに表示されます。

他のサンプリング音を再生設定する場合は、そのサンプリング音がアサインされている鍵盤を押します。



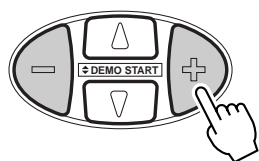
4 ループ再生を設定します。

OVERALL ボタンを押して「loop」を表示させます。



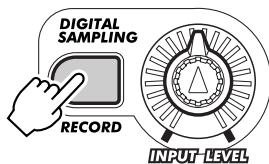
OVERALL[+]ボタンを押すと「YES」が表示され、現在選ばれているサンプリング音はループ再生されます。

OVERALL[-]ボタンを押すと「no」が表示され、現在選ばれているサンプリング音はループ再生されません。



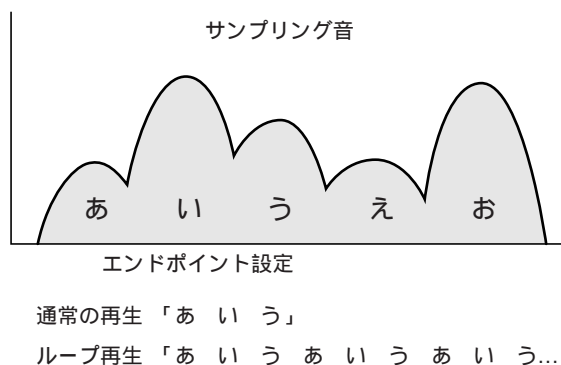
5 サンプリングモードを抜けます。

DIGITAL SAMPLING部のRECORDボタンを押してサンプリングモードを抜けます。



エンドポイントの設定

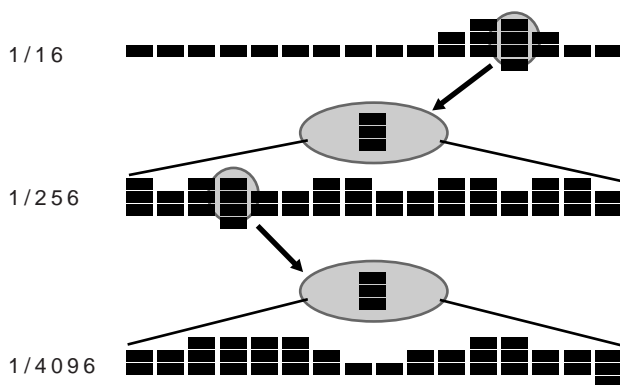
エンドポイント(再生の終了位置)を設定することで、再生する範囲を自由に決めることができます。



1 ループ再生の手順**1**~**3**の方法で、エンドポイントを設定するサンプリング音を選びます。

2 エンドポイントを設定します。

エンドポイント設定画面は「1/16」「1/256」「1/4096」の3段階があります。
 「1/16」ではサンプリング音の波形イメージを16分割して表示します。



「1/16」で設定したエンドポイントを、さらに細かく(波形イメージを拡大して)設定したい場合は「1/256」で設定します。アイコン部分では「1/16」をさらに16分割して拡大表示します。

「1/256」で設定したエンドポイントを、さらに細かく設定したい場合は「1/4096」で設定します。アイコン部分では「1/256」をさらに16分割して拡大表示します。

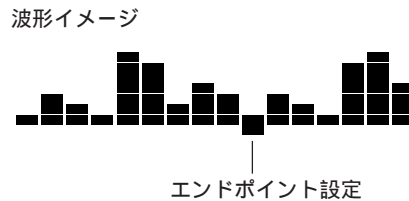
自分の声や音を録音するには(サンプリング)

1/16

OVERALL ボタンを押して「Ep 1/16」を表示させます。



アイコン部分には、選択されたサンプリング音が16分割されて表示されています。



OVERALL[+][-]ボタンを押して、エンドポイント(再生の終了位置)を設定します。

鍵盤を押さえてサンプリング音を鳴らし、正しいポイントで終了しているかどうか確認します。

1/256

エンドポイントをさらに細かく設定したい場合は、OVERALL ボタンを押して「Ep 1/256」を表示させます。



アイコン部分には、「Ep 1/16」で設定されたエンドポイントがさらに16分割されて(1/256)表示されています。OVERALL[+][-]ボタンを押して、エンドポイントを設定します。

1/4096

さらにOVERALL ボタンを押して「Ep 1/4096」を表示させると、さらに細かいエンドポイントを設定できます。



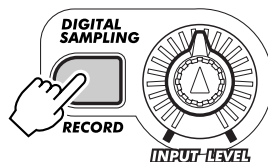
エンドポイントが設定できたら、鍵盤を押さえて正しいポイントで終了しているかどうか確認します。



メモ エンドポイントを設定して再生音を短くしても、残りのサンプリング容量は変わりません。

3 サンプリングモードを抜けます。

DIGITAL SAMPLING部のRECORDボタンを押してサンプリングモードを抜けます。





録音しましょう

ソングメモリー機能を使用すれば自分の演奏をユーザーソングとして3曲(User1 ~ 3)録音することができます。録音したソングは、デモソングと同様に聴いたり(25ページ参照)、ノブやリボンコントローラーで各パートやソング全体にいろいろな変化をつけることができます。(56ページ参照)

録音モードについて

RECORD アイコン点滅中にRECORDボタンを押すたびに、ディスプレイが以下のように切り替わり、録音モードを選択できます。

リアルタイム録音モード(ソングメモリー)
鍵盤演奏をテープレコーダーに録音するようにリアルタイムに録音します。 72ページ



パフォーマンスセットアップ
録音モード
パフォーマンスセットアップの
ユーザー設定を記録(録音)しま
す。 53ページ

ステップ録音モード
(ソングメモリー)
演奏を1音ずつステップ単位で録
音します。 76ページ



RECORDボタンを押すと、以前に選択した録音モードが最初に表示され、モード切り替えが一周すると、録音モードを抜けます。

録音モード中(**RECORD** 表示中)に、RECORDボタンを押すと、録音モードを抜けます
(**RECORD** が消えます)



同じソングのあるトラックをステップ録音し、別のトラックをリアルタイム録音することもできます。たとえば、コード演奏が苦手な人は、まずコードトラックをステップ録音し、それを再生しながら、メロディトラックをリアルタイム録音することができます。(リアルタイム録音したトラックをステップ録音でエディット[編集]することはできません。)

演奏をそのまま録音する(リアルタイム録音)

ソングメモリーのリアルタイム録音モードでは、鍵盤演奏をテープレコーダーに録音するようにリアルタイムに録音します。

ユーザーソング1～3の1曲ごとに6つのトラックを使って録音できます。

メロディトラック1～5 メロディ演奏を録音します。

メロディトラック6/コード パターンコントロールがオフの場合は、メロディ演奏を、オン
の場合はコード演奏を録音します。

「リアルタイム録音」で録音できるデータ

メロディトラック1～6に録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)
- ・ ベロシティ(押鍵の強弱)
- ・ メインボイス(ボイスナンバー*、ボリューム*、オクターブ*、パン*、リバーブセンドレベル*、コーラスセンドレベル*、DSPセンドレベル*)
- ・ デュアルボイスオン/オフ
- ・ デュアルボイス(ボイスナンバー*、ボリューム*、オクターブ*、パン*、リバーブセンドレベル*、コーラスセンドレベル*、DSPセンドレベル*)
- ・ リバーブオン/オフ、およびリバーブタイプ*
- ・ コーラスオン/オフ、およびコーラスタイプ*
- ・ DSPオン/オフ、およびDSPタイプ*
- ・ アルペジエーターオン/オフ、およびアルペジエータータイプ*、アルペジエータースピード*
- ・ サステインオン/オフ
- ・ テンポ/拍子(コードトラックが録音されていない場合)
- ・ ピッチベンド

コードトラックに録音できるデータ

- ・ コード変更、コード押鍵タイミング
- ・ セクションの変更
- ・ スタイルナンバー*
- ・ パターン音量*
- ・ リバーブタイプ*
- ・ コーラスタイプ*
- ・ DSPタイプ*
- ・ テンポ
- ・ 拍子*

* 印のデータは曲の先頭で録音されます。曲の途中の変更は録音されません。

ソングメモリーの容量は「メロディトラックだけを録音した場合(キーオン/キーオフ): 最大約10,000ノート、またコードトラックだけを録音した場合: 最大約5,500コード」です。



録音中に電源を切った場合や、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、電池が切れた場合はソングデータが失われますのでご注意ください。

1 ソングメモリーのリアルタイム録音モードに入ります。

RECORDボタンを繰り返し押し続けて(ディスプレイの **RECORD** アイコン点滅中に) ディスプレイに「RealTime」を表示させます。(自動的にSONGモードになり、パートコントロールがオフになります。)



どのトラックにもまだ録音していない場合は、ビートディスプレイの4つのバーが点滅して、シンクロ録音待機状態(トラック1選択状態)になります。

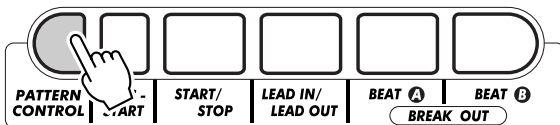
2 録音するユーザーソングナンバーを選びます。

現在選ばれているユーザーソングナンバーを変更したい場合は、ナンバーボタン[4]~[6][+][-]ボタンを使って、別のユーザーソングナンバーを選びます。



3 録音するトラックを選びます。

メロディトラック1つとコードトラックを同時に録音する場合パターンコントロールがオンで、コードトラックがまだ録音されていない場合は、メロディトラック1つとコードトラックが、録音トラックとして選ばれます。(例：ディスプレイの ① と **CHORD** 点滅)



点滅...録音トラックのスタンバイ状態。
点灯...録音されたデータあり。

SONG MEMORY 1~5ボタンを押して、メロディを録音するトラックを1つ選びます。

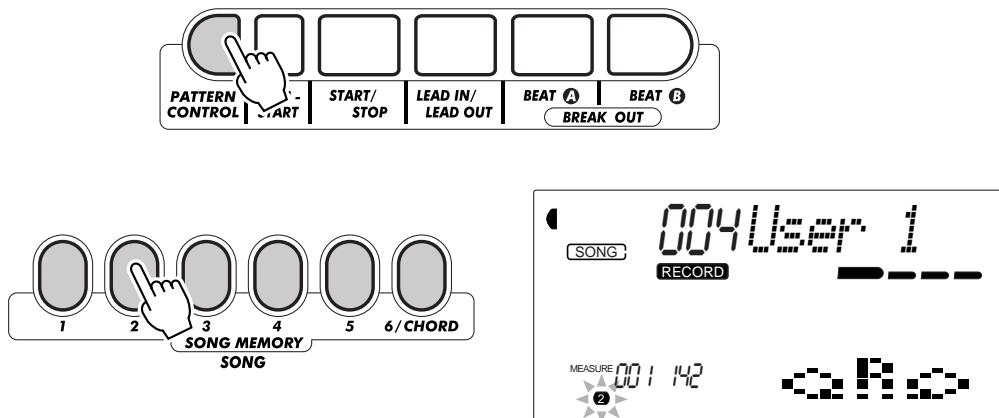


コードトラックに録音できるのは、パターンコントロールがオンの時だけです。パターンコントロールをオンにすると、録音トラックとしてコードトラックが自動的に選ばれます。

コードトラックだけを録音する場合は、点滅しているメロディトラックのボタンを押して消灯させます。

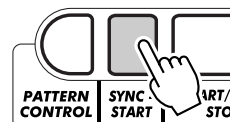
録音がスタートすると、パターンコントロールのオン/オフの切り替えはできません。

メロディトラックを録音する場合
 パターンコントロールがオフの場合は、メロディトラックだけの録音になります。
 SONG MEMORY 1～6 ボタンを押して、録音トラックを1つ選びます。選んだトラックはディスプレイに点滅表示されます。



メモ パターンコントロールがオフの場合は、コードトラックをメロディトラック6として録音できます。
 複数のメロディトラックを同時に録音することはできません。
 録音していないトラックを、録音トラックとして選んだ場合は、自動的にシンクロ録音待機状態になります。

リハーサルモードについて
 SYNC-STARTボタンを押してシンクロ録音待機状態を解除すれば、録音前の練習(リハーサル)ができます。もう一度SYNC-STARTボタンを押すと、シンクロ録音待機状態に戻ります。



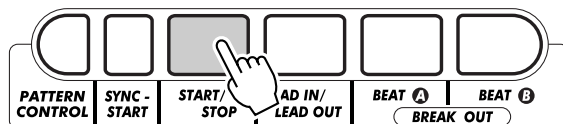
4 録音をスタートします。

シンクロ録音待機状態で、鍵盤を弾くと録音が始まります。また、START/STOPボタンを押しても、録音が始まります。
 録音中は、ディスプレイのMEASUREに現在の小節ナンバーが表示されます。

メモ フットスイッチの操作で、リアルタイム録音をスタートさせることもできます。
 (84ページ参照)

5 録音をストップします。

START/STOPボタンを押すと録音がストップします。



コードトラック録音中は、LEAD IN/LEAD OUTボタンを押すと、リードアウトセクションを演奏してから録音をストップします。

録音を終了すると、ディスプレイの小節ナンバーは「1」に戻り、録音済みのトラックのナンバーは点灯表示に変わります。

6 他のトラックを録音します。

手順 3~5を繰り返し、他のトラックを録音しましょう。

SONG MEMORY 1 ~ 6/CHORDボタンを押すことにより、録音済みのトラックを再生しながら(トラックナンバー点灯)、他のトラックを録音することもできますし、録音済みのトラックをミュート(消音)して(トラックナンバー消灯)、他のトラックを録音することもできます。

録音をやり直すには...

録音済みのトラックを録音トラックとして選択します(シンクロ録音待機状態解除)。録音をスタートすれば、上書き録音することができます。この場合、そのトラックに録音されていた以前のデータはすべて削除されます。メロディトラックについては何も録音せずにスタート/ストップすれば、そのトラックのデータを削除できます。

7 録音モードを抜けます。

RECORDボタンを押すと、ディスプレイの **RECORD** アイコンが消灯し、録音モードから抜けます。デモソング(ソングナンバー1~3)と同様に、録音したユーザーソングを再生してみましょう。



録音中の場合は、手順5の方法で録音をストップしてから録音モードから抜けます。

楽譜形式で1音ずつ録音する(ステップ録音)

演奏をステップ単位で録音(入力)します。

ステップ録音では、リアルタイム録音同様ユーザーソング1~3に、それぞれ6トラック録音できますが、録音操作は1トラックずつ行います。

「ステップ録音」で録音できるデータ

メロディトラック1~6に録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)
- ・ ベロシティ(ベロシティカーブ)
- ・ メインボイス(ボイスナンバー*、ボリューム*、オクターブ*、パン*、リバーブセンドレベル*、コーラスセンドレベル*、DSPセンドレベル*)
- ・ デュアルボイスオン/オフ
- ・ デュアルボイス(ボイスナンバー*、ボリューム*、オクターブ*、パン*、リバーブセンドレベル*、コーラスセンドレベル*、DSPセンドレベル*)
- ・ リバーブオン/オフ*、およびリバーブタイプ*
- ・ コーラスオン/オフ*、およびコーラスタイプ*
- ・ DSPオン/オフ*、およびDSPタイプ*
- ・ テンポ*(コードトラックが録音されていない場合)

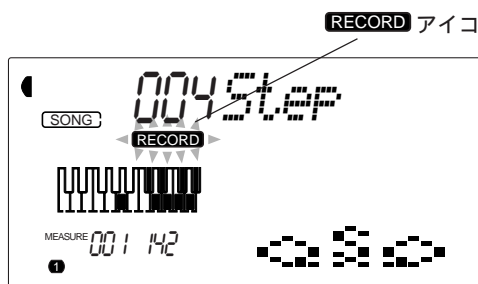
コードトラックに録音できるデータ

- ・ コード変更、コード押鍵タイミング
- ・ セクションの変更
- ・ スタイルナンバー*
- ・ パターン音量*
- ・ リバーブタイプ*
- ・ コーラスタイプ*
- ・ DSPタイプ*
- ・ テンポ*
- ・ 拍子*

* 印のデータは曲の先頭で録音されます。曲の途中の変更は録音されません。

1 ソングメモリーのステップ録音モードに入ります。

RECORDボタンを繰り返し押して(ディスプレイの **RECORD** アイコン点滅中に)、ディスプレイに「Step」を表示させます。(パートコントロールは自動的にオフになります。)



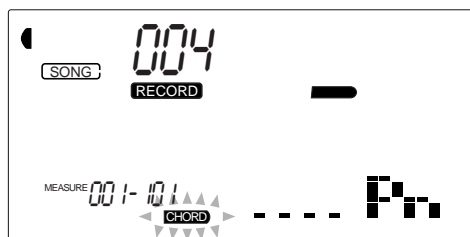
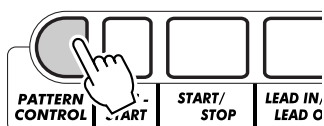
メモ ステップ録音モードに入ると、パートコントロールはオフになります。

2 録音するユーザーソングナンバーを選びます。

手順1で選ばれたユーザーソングナンバーを変更したい場合は、ナンバーボタン[4]~[6][+][-]ボタンを使って、別のユーザーソングナンバーを選びます。

3 録音するトラックを選びます。

コードトラックを録音する場合
PATTERN CONTROLボタンを押してパターンコントロールをオンにします。ディスプレイの **CHORD** が点滅します。

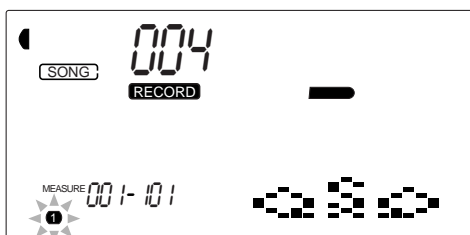
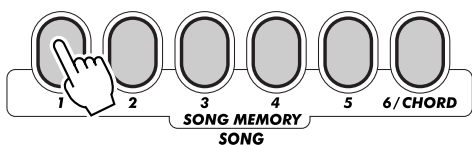


パターンコントロールをオンにすると、録音トラックとしてコードトラックが自動的に選ばれます。

録音スタート後にパターンコントロールオン/オフを切り替えると、「コードトラックの録音」「トラック6の録音」の切り替えになります。

録音済みのトラックに録音しようとする、ディスプレイに「Delete(消去しますか?)」が表示されます。(81ページ参照)

メロディトラック1~6を録音する場合
SONG MEMORY1~6ボタンを押して、録音トラックを1つ選びます。選んだトラックナンバーが点滅します。

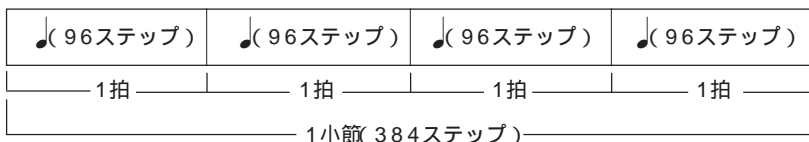


ステップ録音では、メロディトラックとコードトラックは同時に録音できません。

4 録音をスタートします。

DJXの分解能は1拍が96ステップになります。

4/4の場合



ディスプレイの左下には、録音のステップ位置が表示されます。

例)ステップ位置「1小節目 - 1拍目 - 1ステップ目」の場合

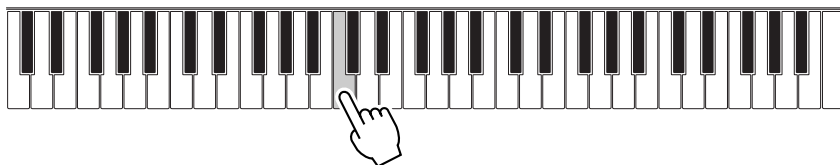


ステップ録音では、ディスプレイのステップ位置表示を目安に、「音階」と「音符の長さ」を組み合わせ、1音1音入力します。

たとえば「ド(C3)を4分音符の長さで入力する」場合は、以下の手順で入力します。

音程の入力

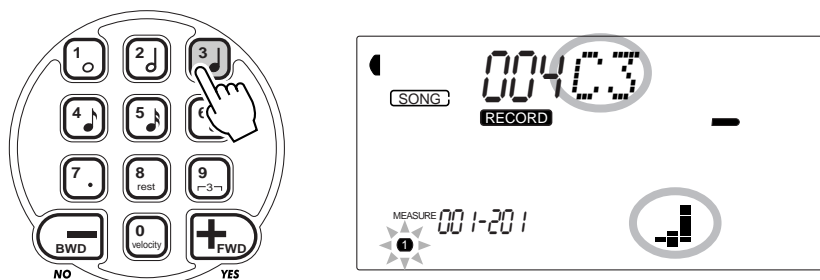
鍵盤を押さえて、音程を指定します。押さえた鍵盤(音名)がディスプレイに表示されます。コードの入力方法は80ページを参照してください。








音符の長さの入力

ナンバーボタン[1]~[6]を押さえて、音符の長さを入力すると1音分の入力が完了し、ステップが進みます。

例] 3 を押して4分音符を入力した場合



音符の長さ	ステップ数	音符の長さ	ステップ数
全音符 	384(1小節)	16分音符 	24
2分音符 	192(2拍)	3連16分音符 	16
4分音符 	96(1拍)	32分音符 	12
8分音符 	48	3連32分音符 	8
3連8分音符 	32		

詳細は次ページの「ステップ入力について」を参照してください。

START/STOPボタンを押すと、現在録音しているトラックだけを再生することができます。
手順 **3**~**4** を繰り返して、他のトラックを入力します。

5 録音を終了します。(録音モードを抜けます。)

RECORDボタンを押すと、ディスプレイの **RECORD** アイコンが消え、録音モードから抜けます(ステップ録音の終了)。



ステップ入力について

以下にステップ入力の方法を紹介します。以下の方法で効率的にステップ入力しましょう。

004C3

004Chord
004Beat B

メロディトラックの和音の入力

音程を入力する時に、複数の鍵盤を押さえます。ディスプレイには最後に押した鍵盤(音名)だけが表示されますが、和音が録音されます。

コードトラックのコード/セクションの入力

コードを押さえます。ディスプレイには「Chord」とコード名が表示されます。セクションを録音する場合は、セクションボタンを押さえます。ディスプレイにはセクション名が表示されます。コードだけ、セクションだけを録音することもできます。

コードやビートセクションを入力する場合は、音符の長さを入力すると次のステップへ自動的に移動します。リードイン/リードアウトセクションを入力する場合は、小節数が決まっているため、自動的に次のステップに移動します。また、リードアウトセクションの場合は、自動的にコードトラックの録音を終了します。

コードの入力方法は「パターン演奏のコードの押さえ方」(45ページ参照)と同じです。

休符の入力



ナンバーボタン[8](rest)を押し、続いてナンバーボタン[1]~[6]を押して「休符の長さ」を入力します。



同じ休符を続けて入力する場合、2つめ以降の休符はFWDボタンを押すだけで入力できます。

付点音符の入力



ナンバーボタン[7](・)を押し、続いてナンバーボタン[1]~[6]を押して付点音符の基本になる音符を入力します。この2つの操作で付点音符が入力できます。



ナンバーボタン[7]を押した後に、もう一度ナンバーボタン[7]を押すと、付点の入力は解除されます。

付点休符を入力する場合は、ナンバーボタン[8] [7] [1]~[6](付点休符の基本になる音符)を押します。

3連符の入力



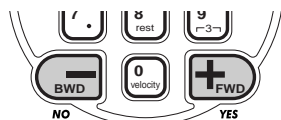
1回の操作で
1つ入力

ナンバーボタン[9](≡)を押し、続いてナンバーボタン[1]~[6]を押して(2つのボタンを組み合わせると)3連符の中の1つを入力します。



ナンバーボタン[9]を押した後に、もう一度ナンバーボタン[9]を押すと、3連符の入力は解除されます。

ステップの移動(FWD/BWDボタン)

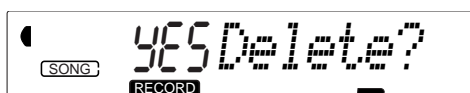


BWDボタンを押すと、1つ前のステップに移動して発音します。押し続けると、曲の先頭に移動します。FWDボタンを押すと次のステップに移動して発音します。何も記録されていない場合は、次の拍の先頭に移動します。この場合、休符が自動的に入力されます。

音符の置き換え

音程/コードを間違えた場合は、修正することができます。置き換えたい音符が録音されているステップに移動して、音程/コードの修正をします。

音符の長さを入力するとディスプレイに「YES Delete?」が表示されます。YES[+]ボタンを押すと、置き換えが実行されます。NO[-]ボタンを押すと、置き換えがキャンセルされます。また、音符の長さやセクションを訂正する場合も、音符の置き換えを行ってください。



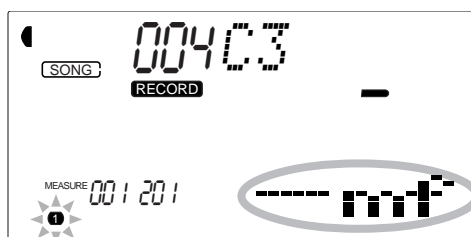
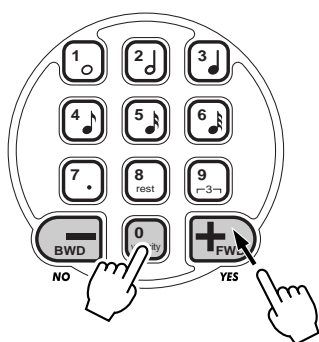
音符の置き換えにより、置き換えたステップ以降のデータはすべて削除されます。
リアルタイム録音したトラックは、ステップ録音で修正できません。

ベロシティカーブの設定

16種類のベロシティカーブを使用して、ステップ録音した曲に強弱の抑揚を付けることができます。(メロディトラックだけに設定可能です。)

曲の中で「この部分は弱く」「この部分はだんだん強く」など、好みに合わせてアレンジすることができます。

- 1 ステップ録音モードに入り(76ページ参照)、ベロシティカーブを設定したいトラックを録音待機状態にします。
- 2 FWD/BWDボタンで、ベロシティカーブを設定したいステップに移動します。
- 3 ナンバーボタン[0] (velocity) を押すと、ディスプレイ右下に現在のベロシティカーブがアイコン表示されます。
ナンバーボタン[0] を押しながら、[+]ボタン、または[-]ボタンを押すとベロシティカーブが選択できます。次ページの「ベロシティカーブリスト」を参照して、好みのカーブを選びます。



- 4 ナンバーボタン[0] velocity から指を離すと、ディスプレイに「YES Change?」が表示されます。



- 5 YES[+] ボタンを押すと、ベロシティカーブが変更されます。NO[-] ボタンを押すと、ベロシティカーブは変更されません。

ベロシティカーブリスト

ディスプレイ	タイプ	内容
	m(メゾフォルテ)	ベロシティ値「80」で固定(ベロシティを変更しない場合の初期設定値)
	f(フォルテ)	ベロシティ値「100」で固定
	ff(フォルテシモ)	ベロシティ値「120」で固定
	mp(メゾピアノ)	ベロシティ値「60」で固定
	p(ピアノ)	ベロシティ値「40」で固定
	pp(ピアノシモ)	ベロシティ値「20」で固定
	クレッシェンド1	2小節間でベロシティ値「+40」
	クレッシェンド2	2小節間でベロシティ値「+20」
	クレッシェンド3	2小節間でベロシティ値「+10」
	デクレッシェンド1	2小節間でベロシティ値「-40」
	デクレッシェンド2	2小節間でベロシティ値「-20」
	デクレッシェンド3	2小節間でベロシティ値「-10」
	アクセント1	1拍目のベロシティ値「+30」
	アクセント2	1拍目と3拍目のベロシティ値「+30」(4拍子の場合)
	三角波	ベロシティ値「±30」を2小節間で繰り返す。
	方形波	ベロシティ値「+30」「-30」を1小節ごとに繰り返す。



メモ クレッシェンド1~3、デクレッシェンド1~3を設定すると、カーブの後は最終のベロシティ値を引き継ぎます。これから入力する音にベロシティカーブを設定したい場合は、録音済みの最後の音をFWD[+] BWD[-] ボタンで選び、ベロシティカーブを選択してください。この場合、最後の音のベロシティカーブは変更されず、続けて新しく入力した音にベロシティカーブが有効になります。

ソングを削除する(ソングクリア)

ファンクション61～63で、録音したユーザーソング1～3をクリア(削除)することができます。

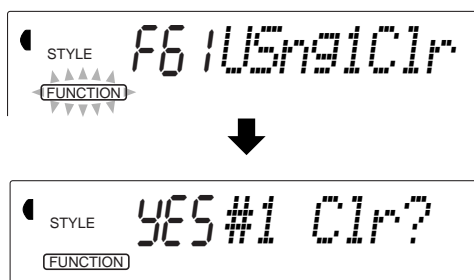
ユーザーソング1をクリア ファンクション61

ユーザーソング2をクリア ファンクション62

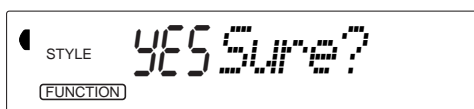
ユーザーソング3をクリア ファンクション63

ファンクションの選び方(18ページ参照)

ユーザーソング1をクリアする(ファンクション61を選んだ)場合、「F61 USng1Clr」表示後、「YES #1 Clr?」を表示します。



YES[+]ボタンを押すと「YES Sure?」が表示され、ソングクリアの実行を確認します。



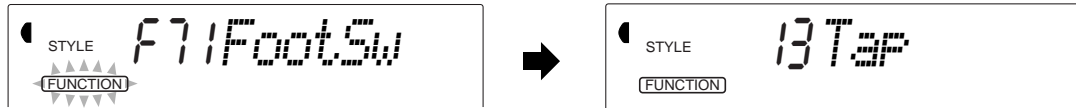
もう一度YES[+]ボタンを押すとソングクリアが実行されます。NO[-]ボタンを押すとソングクリアは実行されません。

クリアが終わったら、SONG/STYLE/VOICEボタンを押すと、ファンクションモードを抜けて、通常の演奏状態に戻ります。



フットスイッチの機能を設定しましょう

ファンクション71の設定で、DJXに接続したフットスイッチの機能を設定できます。ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F71」表示後、現在設定されている機能を表示します。下記リストを参考に機能を選び、ナンバーボタン、[+] [-] ボタンで設定します。

フットスイッチ機能リスト

ナンバー	機能名	内容
01	<i>Sustain</i> サステイン	フットスイッチを踏み込んでいる間、鍵盤演奏にサステインがかかります。
02	<i>ArpegHold</i> アルペジエーターホールド	鍵盤演奏にアルペジエーターがかかっている時にフットスイッチを踏み込むと、踏み込んでいる間は鍵盤から指を離してもアルペジエーターが鳴り続けます。
03	<i>StartStp</i> スタート/ストップ	フットスイッチを踏むと、パネルのSTART/STOPボタンと同様に機能します。
04	<i>Ld InOut</i> リードイン/リードアウト	フットスイッチを踏むと、パネルのLEAD IN/LEAD OUTボタンと同様に機能します。
05	<i>Beat A</i> ビートA	フットスイッチを踏むと、パネルのBEAT Aボタンと同様に機能します。
06	<i>Beat B</i> ビートB	フットスイッチを踏むと、パネルのBEAT Bボタンと同様に機能します。
07	<i>Arpegator</i> アルペジエーター	フットスイッチを踏むと、アルペジエーターをオン/オフします。(ファンクション37と同様の機能です。)
08	<i>Dual</i> デュアル	フットスイッチを踏むと、デュアルボイスをオン/オフします。(ファンクション18と同様の機能です。)
09	<i>Split</i> スプリット	フットスイッチを踏むと、スプリットボイスをオン/オフします。(ファンクション28と同様の機能です。)
10	<i>Reverb</i> リバーブ	フットスイッチを踏むと、リバーブをオン/オフします。(ファンクション31と同様の機能です。)
11	<i>Chorus</i> コーラス	フットスイッチを踏むと、コーラスをオン/オフします。(ファンクション33と同様の機能です。)
12	<i>DSP</i> DSP	フットスイッチを踏むと、DSPをオン/オフします。(ファンクション35と同様の機能です。)
13	<i>Tap</i> タップ	選ばれているソングやパターンの拍子数分フットスイッチを踏むと(4拍子の場合は4回踏む) 踏んだテンポ(BPM)でソングやパターンがスタートします。また、再生中に2回踏むと、テンポを変更できます。



デフォルト(工場出荷時)は「13: Tap(タップ)」に設定されています。



MIDI機器を接続して演奏しましょう

DJXはリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)がついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。ここではMIDIとは何か、MIDIでできること、DJXのMIDI関連の操作方法などについて説明します。

MIDIを使用する時は、STYLEモードにしてください。

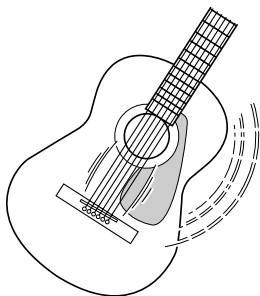
MIDIって何?

「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉聞いたことがあるでしょうか? 今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはアコースティックピアノやガットギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。

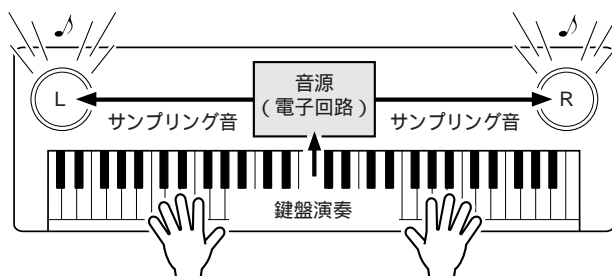
それではデジタル楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか?

アコースティック楽器の発音



弦を弾くとボディが共鳴して鳴る

電子楽器(デジタル楽器)の発音



鍵盤からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとなる演奏情報とはいったい何なのでしょう?

たとえば、DJXの鍵盤でグランドピアノの音色で「ド」の音を4分音符の長さで強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どのボイスで」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつ離れたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音が鳴るのです。

演奏情報の例

ボイスナンバー(どのボイスで)	15(グランドピアノ)
ノートナンバー(どの鍵盤を)	60(ド : C3)
ノートオン(いつ押さえたか)&ノートオフ(いつ離れたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ベロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)

MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなどと)で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

チャンネルメッセージ

DJXは16チャンネル扱える電子楽器です。これは「16種類の楽器を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノートオン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	DJXの操作/パネル設定
ノートオン/オフ	鍵盤の演奏情報(ノートナンバーとベロシティで構成)
プログラムチェンジ	ボイスの設定 (コントロールチェンジのバンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定)
コントロールチェンジ	ボイスの設定(ボリューム、パンポットなど)など

システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	DJXの操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/コーラス/DSPタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロック スタート/ストップ

MIDIインプリメンテーションチャート(104ページ参照)にDJXで送信/受信できるメッセージが掲載されています。チャートを見ながらメッセージの内容を理解しましょう。

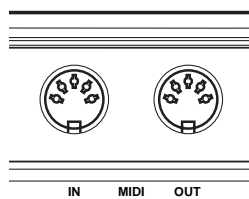
MIDI端子について

複数の機器間でMIDIデータ(演奏情報)をやりとりするために、それらの機器をMIDIケーブルで接続します。

DJXのリアパネルには2種類のMIDI端子がついています。

MIDI IN 他のMIDI機器からのMIDIデータを受信します。

MIDI OUT DJXの演奏情報をMIDIデータとして他のMIDI機器へ送信します。



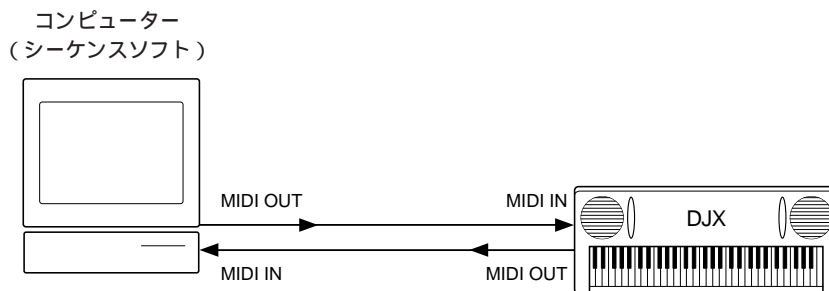
パーソナルコンピューターと接続する

DJXのMIDI端子とパソコン(パーソナルコンピューター)を接続すると、パソコン用の音楽ソフトを楽しむことができます。

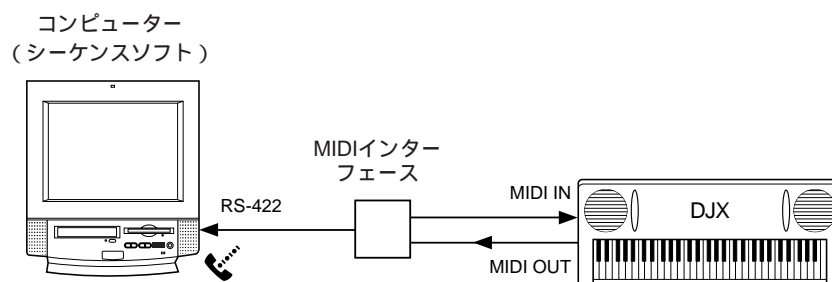
コンピューター側に取り付けたMIDIインターフェース機器を使用して、コンピューターとDJXのMIDI端子を接続します。

接続に使用するケーブルは、専用のMIDIケーブルをご使用ください。

コンピューターとDJXのMIDI端子を接続します。



MacintoshシリーズにMIDIインターフェース(別売)を使用する場合は、コンピューターのRS-422端子(モデムまたはプリンター端子)にMIDIインターフェースを下図のように接続します。



* Macintoshシリーズをお使いの場合、使用するMIDIインターフェースの設定に合わせて、アプリケーションソフトウェア側で、MIDIインターフェースのクロックを設定してください。詳しくは、お使いになるソフトウェアの説明書をよくお読みください。

外部機器からMIDIデータを受信する(リモートチャンネルの設定)

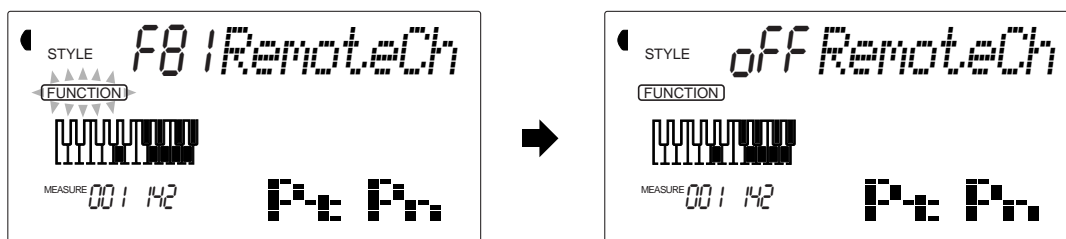
リモートチャンネルのナンバーを選択します。設定したチャンネルナンバーでMIDI情報を送信すれば、外部MIDIキーボードでDJXをリモートコントロールできます。この場合、設定したチャンネルナンバー以外のチャンネルがマルチ音源として使用できます。16チャンネルのマルチ音源として使用する場合は「oFF(オフ)」に設定してください。

リモートコントロールできるMIDIデータ

- | | |
|------------|-----------------|
| ・キーオン/オフ | ・バンクセレクトMSB/LSB |
| ・プログラムチェンジ | ・モジュレーション |
| ・ボリューム | ・エクスプレッション |
| ・サステイン | ・オールサウンドオフ |
| ・オールノートオフ | ・ピッチベンド |

ファンクション81の設定で、リモートチャンネルを設定できます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F81」表示後、現在のリモートチャンネルを表示します。ナンバーボタン、[+] [-] ボタンでリモートチャンネルを設定します。



デフォルト(工場出荷時)は「oFF(オフ)」に設定されています。

外部機器へMIDIデータを送信する(キーボードアウト/パターンアウトの設定)

キーボードアウトは、ボイス(メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス)のパート演奏情報を「送信する/しない」を一括して設定します。

パターンアウトは、パターン(ハイハット、パーカッション、ベース、フレーズ1/2/3、キック、スネア)のパート演奏情報を「送信する/しない」を一括して設定します。

それぞれのパート情報が送信されるチャンネルは固定されています。

キーボードアウト

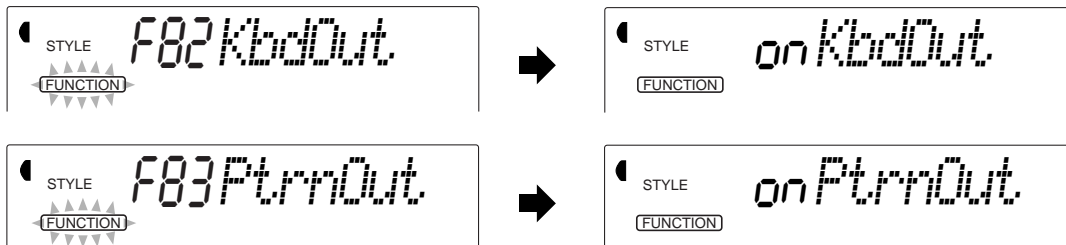
メインボイスパート	1チャンネル
スプリットボイスパート	2チャンネル
デュアルボイスパート	11チャンネル

パターンアウト

ハイハット	3チャンネル
パーカッション	4チャンネル
ベース	5チャンネル
フレーズ1	6チャンネル
フレーズ2	7チャンネル
フレーズ3	8チャンネル
キック	9チャンネル
スネア	10チャンネル

ファンクション82の設定でキーボードアウトを、ファンクション83の設定でパターンアウトを設定できます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F82」, 「F83」表示後、現在の送信設定を表示します。[+][-]ボタンで「送信する(on)/しない(off)」を設定します。



デフォルト(工場出荷時)は、キーボードアウト/パターンアウト共に「on(オン)」に設定されています。

SONGモードの時は表示が「---」になり、この設定は行えません。

ローカルオン/オフを設定する

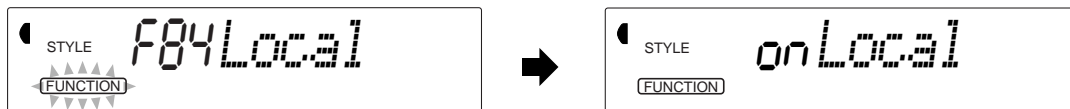
ローカルコントロールのオン/オフを設定します。ローカルコントロールとは、DJXの演奏を内部音源で「鳴らす/鳴らさない」という設定です。

ローカルオン(on)..... 本体の演奏は通常通り発音します。また、MIDI INから受信した情報も発音します。


ローカルオフ(off)..... 本体の演奏は発音しません。ただし、MIDI INから受信した情報は発音します。(リモートチャンネルで設定されたチャンネルの情報を除く)

ファンクション84の設定で、ローカルコントロールを設定できます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F84」表示後、現在のローカルコントロールの設定を表示します。[+] [-] ボタンでオン/オフを設定します。

 デフォルト(工場出荷時)は「on(オン)」に設定されています。

クロックを設定する

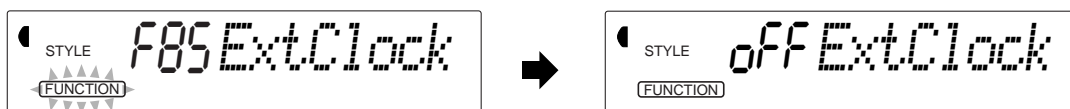
DJXを、MIDIケーブルで接続した外部機器のクロックに「同期させる/させない」を設定します。

オフ(off)..... 内部クロックで動作します。


オン(on)..... 外部機器のクロックで動作します。

ファンクション85の設定でクロックを設定できます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F85」表示後、現在のクロック設定を表示します。[+] [-] ボタンでオン/オフを設定します。

 SONGモードにするとクロックは自動的にオフになります。(オンにできません。)
デフォルト(工場出荷時)は「off(オフ)」に設定されています。

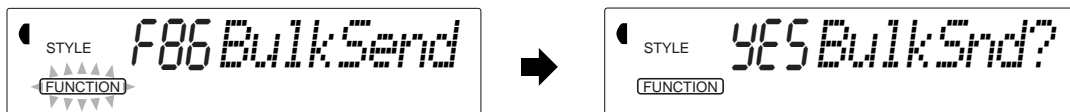
MIDIを使用する時は、STYLEモードにしてください。

バルクダンプを送信する

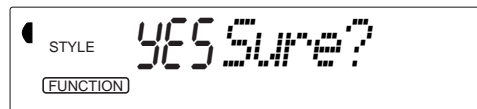
バルクダンプとは、DJXのメモリーデータ(パフォーマンスセットアップ(ユーザー設定)、ユーザーソング)をMIDI OUTから送信する機能です。バルクダンプ送信を利用すれば、DJXのデータをシーケンサーやデータファイラーに記録しておくことができます。

ファンクション86でバルクダンプを送信します。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F86 BulkSend」表示後、「YES BulkSnd?」を表示します。YES[+]ボタンを押すと「YES Sure?」が表示され、バルクダンプ送信の実行を確認します。



もう一度YES[+]ボタンを押すとバルクダンプ送信が実行されます。NO[-]ボタンを押すとバルクダンプ送信は実行されません。

バルクダンプの送信中、ディスプレイは「Send:PSU」(パフォーマンスセットアップデータ送信中)、「Send:Sng」(ソングデータ送信中)を表示します。

送信が終了すると、ディスプレイに「End」が表示されます。



バルクダンプ送信を途中で中止する場合は、NO[-]ボタンを押してください。ディスプレイに「Cancel」が表示され、送信が中止されます。

パターン再生中、SONGモード時、録音モード時、パフォーマンスセットアップの呼び出し時、バルクダンプ受信中は、ディスプレイに「---BulkSnd?」が表示され、バルクダンプ送信は実行できません。

バルクダンプ受信

もう1台のDJXやデータファイラーなどの外部機器からバルクダンプ(エクスクルーシブメッセージ)を受信することができます。受信するとディスプレイに「Rcv:PSU」「Rcv:Sng」を表示して、パフォーマンスセットアップ、ユーザーソングの受信データがDJXに記録されます。

受信が終了すると、ディスプレイに「End」を表示します。



バルクダンプ受信時、パネルの操作はできません。

受信中にエラーが起こると、ディスプレイに「Error」が表示され、受信中だったDJXの記録データ(ユーザーソング、パフォーマンスセットアップ)が初期化されます。

パターン再生中、SONGモード時、録音モード時、パフォーマンスセットアップの呼び出し時、バルクダンプ送信中は、バルクダンプ受信は受け付けません。

バルクダンプを受信すると、DJXのユーザーソング/パフォーマンスセットアップのデータは、受信したデータに変更されます。

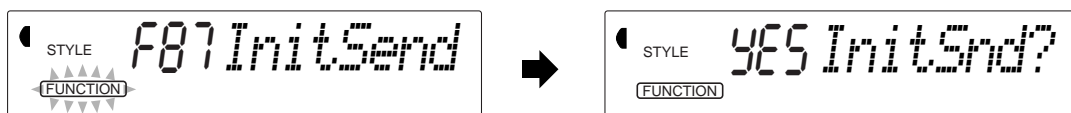
DJXのパネル設定を送信する(イニシャルセンド)

DJXのパネル設定を外部機器に送信します。

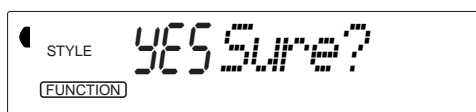
たとえば、DJXの演奏を外部シーケンサーに録音する場合は、演奏の前にDJXのパネル設定を外部シーケンサーに送信(イニシャルセンド)して、録音します。パネル設定を録音することにより、再生する時に「録音した時のパネル設定」を再現することができます。

ファンクション87でイニシャルセンドを実行します。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F86 InitSend」表示後、「YES InitSnd?」を表示します。YES[+]ボタンを押すと「YES Sure?」が表示され、イニシャルセンドの実行を確認します。



もう一度YES[+]ボタンを押すとイニシャルセンドが実行されます。NO[-]ボタンを押すとイニシャルセンドは実行されません。

データ送信中は、ディスプレイに「Wait (お待ちください)」が表示され、送信が終了すると「End」が表示されます。



直接外部シーケンサーに録音する場合、最初にパネル設定が録音されていないと、演奏が正しく再生されません。

パネル設定データは、トラックごとに設定されている送信チャンネルから送信されます。(89ページ参照)

パターン再生中、SONGモード時、録音モード時、バルクダンプ受信中は、ディスプレイに「--- InitSnd?」が表示され、イニシャルセンドは実行できません。

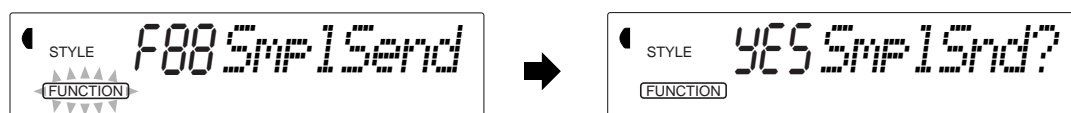
サンプリングデータをバルクダンプ送信する(サンプルバルクダンプ)

DJXにサンプリングしたデータ(62ページ参照)を、システムエクスクルーシブメッセージとしてMIDI OUTから外部機器に送信する機能です。

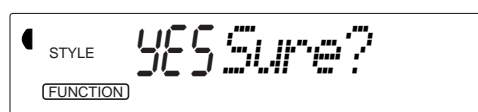
サンプルバルクダンプを利用すれば、DJXのサンプリングデータをシーケンサーやデータファイラーに記録しておくことができます。

ファンクション88でサンプリングデータをバルクダンプ送信できます。

ファンクションの選び方(18ページ参照)



「F88 Smp1Send」表示後、「YES Smp1Snd?」を表示します。YES[+]ボタンを押すと「YES Sure?」が表示され、サンプルバルクダンプの実行を確認します。



もう一度YES[+]ボタンを押すとサンプルバルクダンプが実行されます。NO[-]ボタンを押すとサンプルバルクダンプは実行されません。

データ送信中は、ディスプレイに「Wait (お待ちください)」が表示され、送信が終了すると「End」が表示されます。



サンプリングデータがない場合は、このファンクション(F88)は選択できません。
パターン再生中、SONGモード時、録音モード時、パフォーマンスセットアップの呼び出し時、バルクダンプ受信中は、ディスプレイに「--- Smp1Snd?」が表示され、サンプルバルクダンプ送信は実行できません。

ボイスリスト

最大同時発音数について

DJXの最大同時発音数は32音ですが、デュアルボイスやスプリットボイス、パターン演奏、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、パターン演奏やソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先で発音します。



リストの「MIDI PRG No.」欄にはMIDIプログラムチェンジナンバー(ボイスナンバー)を掲載します。MIDIを使ってDJXのボイスを鳴らす場合は、このプログラムチェンジナンバーを使用してください。

サステインペダル(フットスイッチ)を踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

[パネルボイスリスト]

ボイス No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
000	0	123	48	DJX
SYNTH LEAD				
001	0	115	84	Fuzzline
002	0	113	84	Talkbox
003	0	114	84	Acid Sync
004	0	113	83	Universe
005	0	112	84	Adrenaline
006	0	112	85	Fragile
007	0	112	83	Cut Glass
BASS LEAD				
008	0	112	87	Killer S
009	0	118	87	Reso-X
010	0	117	87	Choppy
011	0	113	87	PhatMan
012	0	114	87	Organese
013	0	115	87	Happy Vibes
014	0	116	87	TriTouch
015	0	119	87	Sync
SQUARE LEAD				
016	0	117	80	MC-Line
017	0	116	80	Alien
018	0	115	80	Psyche
019	0	114	80	Clanger
020	0	112	80	Square Lead 1
021	0	113	80	Square Lead 2
SAW LEAD				
022	0	122	81	Break It
023	0	117	81	Scary
024	0	120	81	Move It
025	0	119	81	Robot Lead
026	0	116	81	Fat
027	0	115	81	Seq Ana
028	0	118	81	Stab
029	0	114	81	Pulse Saw
030	0	112	81	Sawtooth Lead 1
031	0	113	81	Sawtooth Lead 2
032	0	121	81	Bedtime
SYNTH PAD				
033	0	112	90	Sequenza
034	0	112	94	Insomnia
035	0	112	95	Wave2001
036	0	113	91	Amber
037	0	112	89	Eerie
038	0	112	91	Trance Pad
RESONANCE BASS				
039	0	113	38	Techno Bass
040	0	116	38	Kickin'B

ボイス No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
041	0	114	38	Bassline
042	0	117	38	Nu Floor
043	0	115	38	Fish303
044	0	118	38	No.No.No
045	0	119	38	Nu Swing
046	0	112	38	Synth Bass
ANALOG BASS				
047	0	112	39	Analog Bass
048	0	113	39	Dance Bass
049	0	114	39	Snap Bass
050	0	115	39	Old Mini
051	0	116	39	Power Bass
052	0	117	39	Dub Bass
053	0	118	39	Factory
054	0	119	39	Hyper
055	0	120	39	Kidz Bass
056	0	121	39	Techno
BASS				
057	0	112	32	Acoustic Bass
058	0	112	33	Finger Bass
059	0	112	34	Pick Bass
060	0	112	35	Fretless Bass
061	0	112	36	Slap Bass
SCRATCH				
062	0	112	120	Scratch
063	0	113	120	Killer DJ
SFX				
064	0	123	16	FMTB 1
065	0	123	17	BLJ Trill
066	0	123	18	Omen-FX
067	0	123	19	Rave Pipe 1
068	0	123	20	Rave Pipe 2
069	0	123	21	FMTB 2
070	0	123	22	GtrChord
071	0	123	23	HiquiTB
072	0	123	24	Reverse
073	0	123	25	Signal
074	0	123	26	Aah
075	0	112	126	Turntable
HIT				
076	0	114	55	Metal Hit
077	0	113	55	Sharp Hit
078	0	112	55	Mild Hit
HUMAN VOICE				
079	0	123	0	Come On 1
080	0	123	1	Come On 2
081	0	123	2	GetUp!

ボイス No.	バンクセレクト		MIDIプロ グラムチェ ンジNo.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
082	0	123	3	Go!!
083	0	123	4	Huea
084	0	123	5	Hiuhu
085	0	123	6	Yo-Kurt
086	0	123	7	Oh Babe
087	0	123	8	Ohh 1
088	0	123	9	Ohh 2
089	0	123	10	One More Time
090	0	123	11	Uhh
091	0	123	12	Uhh+Hit
092	0	123	13	Yeah...
DRUM LOOP				
093	0	123	32	091bpmC4
094	0	123	33	095bpmC4
095	0	123	34	096bpmC4
096	0	123	35	102bpmC4
097	0	123	36	103bpmC4
098	0	123	37	106bpmC4
099	0	123	38	110bpmC4
100	0	123	39	114bpmC4
101	0	123	40	134bpmC4
102	0	123	41	135bpmC4
103	0	123	42	137bpmC4
104	0	123	43	138bpmC4
105	0	123	44	144bpmC4
106	0	123	45	160bpmC4
107	0	123	46	Samba137
PIANO				
108	0	112	4	Funky Electric Piano
109	0	112	5	DX Electric Piano
110	0	113	2	CP 80
111	0	114	5	Bell Electric Piano
112	0	112	7	Clavi
ORGAN				
113	0	112	16	Jazz Organ 1
114	0	112	17	Jazz Organ 2
115	0	112	18	Rock Organ
116	0	113	16	Cheez Organ
117	0	118	16	16'+2' Organ
118	0	113	17	Dance Organ
119	0	114	17	MissU
120	0	115	17	R&B Organ

ボイス No.	バンクセレクト		MIDIプロ グラムチェ ンジNo.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
121	0	113	26	Octave Guitar
122	0	112	27	Clean Guitar
123	0	112	28	Muted Guitar
124	0	112	29	Overdriven Guitar
STRINGS				
125	0	112	48	Strings
126	0	112	49	Marcato Strings
127	0	112	50	Synth Strings
128	0	113	50	StringPad
129	0	112	45	Pizzicato
BRASS				
130	0	114	62	Techno Brass
131	0	113	62	Jump Brass
132	0	116	62	Brass Phase
133	0	112	62	Synth Brass
134	0	112	61	Bright Brass
135	0	115	62	Brass Tek
FLUTE				
136	0	113	73	Ethnic Flute
137	0	112	73	Coco Flute
PERCUSSIVE				
138	0	113	115	Claps-X
139	0	112	115	Rim-X
140	0	112	117	Tom-X
DRUM KITS				
141	127	0	0	Standard Kit 1
142	127	0	1	Standard Kit 2
143	127	0	8	Room Kit
144	127	0	16	Rock Kit
145	127	0	24	Electronic Kit 1
146	127	0	25	Analog Kit 1
147	127	0	27	Dance Kit
148	127	0	32	Jazz Kit
149	127	0	40	Brush Kit
150	127	0	48	Symphony Kit
SPECIAL KITS				
151	126	0	19	Analog Kit 2
152	126	0	20	Analog Kit 3
153	126	0	21	Electronic Kit 2
154	126	0	22	B900 Kit
155	126	0	23	DJX Kit

ボイスリスト

[GMボイスリスト]

ボイス No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチャンネルNo.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
PIANO				
156	0	0	0	Acoustic Grand Piano
157	0	0	1	Bright Acoustic Piano
158	0	0	2	Electric Grand Piano
159	0	0	3	Honky-tonk Piano
160	0	0	4	Electric Piano 1
161	0	0	5	Electric Piano 2
162	0	0	6	Harpsichord
163	0	0	7	Clavi
CHROMATIC PERCUSSION				
164	0	0	8	Celesta
165	0	0	9	Glockenspiel
166	0	0	10	Music Box
167	0	0	11	Vibraphone
168	0	0	12	Marimba
169	0	0	13	Xylophone
170	0	0	14	Tubular Bells
171	0	0	15	Dulcimer
ORGAN				
172	0	0	16	Drawbar Organ
173	0	0	17	Percussive Organ
174	0	0	18	Rock Organ
175	0	0	19	Church Organ
176	0	0	20	Reed Organ
177	0	0	21	Accordion
178	0	0	22	Harmonica
179	0	0	23	Bandoneon
GUITAR				
180	0	0	24	Acoustic Guitar (nylon)
181	0	0	25	Acoustic Guitar (steel)
182	0	0	26	Electric Guitar (jazz)
183	0	0	27	Electric Guitar (clean)
184	0	0	28	Electric Guitar (muted)
185	0	0	29	Overdriven Guitar
186	0	0	30	Distortion Guitar
187	0	0	31	Guitar Harmonics
BASS				
188	0	0	32	Acoustic Bass
189	0	0	33	Electric Bass (finger)
190	0	0	34	Electric Bass (pick)
191	0	0	35	Fretless Bass
192	0	0	36	Slap Bass 1
193	0	0	37	Slap Bass 2
194	0	0	38	Synth Bass 1
195	0	0	39	Synth Bass 2
STRINGS				
196	0	0	40	Violin
197	0	0	41	Viola
198	0	0	42	Cello
199	0	0	43	Contrabass
200	0	0	44	Tremolo Strings
201	0	0	45	Pizzicato Strings
202	0	0	46	Orchestral Harp
203	0	0	47	Timpani
ENSEMBLE				
204	0	0	48	Strings Ensemble 1
205	0	0	49	Strings Ensemble 2
206	0	0	50	Synth Strings 1

ボイス No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチャンネルNo.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
207	0	0	51	Synth Strings 2
208	0	0	52	Choir Aahs
209	0	0	53	Voice Oohs
210	0	0	54	Synth Voice
211	0	0	55	Orchestra Hit
BRASS				
212	0	0	56	Trumpet
213	0	0	57	Trombone
214	0	0	58	Tuba
215	0	0	59	Muted Trumpet
216	0	0	60	French Horn
217	0	0	61	Brass Section
218	0	0	62	Synth Brass 1
219	0	0	63	Synth Brass 2
REED				
220	0	0	64	Soprano Sax
221	0	0	65	Alto Sax
222	0	0	66	Tenor Sax
223	0	0	67	Baritone Sax
224	0	0	68	Oboe
225	0	0	69	English Horn
226	0	0	70	Bassoon
227	0	0	71	Clarinet
PIPE				
228	0	0	72	Piccolo
229	0	0	73	Flute
230	0	0	74	Recorder
231	0	0	75	Pan Flute
232	0	0	76	Blown Bottle
233	0	0	77	Shakuhachi
234	0	0	78	Whistle
235	0	0	79	Ocarina
SYNTH LEAD				
236	0	0	80	Lead 1 (square)
237	0	0	81	Lead 2 (sawtooth)
238	0	0	82	Lead 3 (calliope)
239	0	0	83	Lead 4 (chiff)
240	0	0	84	Lead 5 (charang)
241	0	0	85	Lead 6 (voice)
242	0	0	86	Lead 7 (fifth)
243	0	0	87	Lead 8 (bass+lead)
SYNTH PAD				
244	0	0	88	Pad 1 (new age)
245	0	0	89	Pad 2 (warm)
246	0	0	90	Pad 3 (polysynth)
247	0	0	91	Pad 4 (choir)
248	0	0	92	Pad 5 (bowed)
249	0	0	93	Pad 6 (metallic)
250	0	0	94	Pad 7 (halo)
251	0	0	95	Pad 8 (sweep)
SYNTH EFFECTS				
252	0	0	96	FX 1 (rain)
253	0	0	97	FX 2 (soundtrack)
254	0	0	98	FX 3 (crystal)
255	0	0	99	FX 4 (atmosphere)
256	0	0	100	FX 5 (brightness)
257	0	0	101	FX 6 (goblins)
258	0	0	102	FX 7 (echoes)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDIプロ グラムチエ ンジNo.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
259	0	0	103	FX 8 (sci-fi)
ETHNIC				
260	0	0	104	Sitar
261	0	0	105	Banjo
262	0	0	106	Shamisen
263	0	0	107	Koto
264	0	0	108	Kalimba
265	0	0	109	Bagpipe
266	0	0	110	Fiddle
267	0	0	111	Shanai
PERCUSSIVE				
268	0	0	112	Tinkle Bell
269	0	0	113	Agogo
270	0	0	114	Steel Drums
271	0	0	115	Woodblock

ボイス No.	バンクセレクト		MIDIプロ グラムチエ ンジNo.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
272	0	0	116	Taiko Drum
273	0	0	117	Melodic Tom
274	0	0	118	Synth Drum
275	0	0	119	Reverse Cymbal
SOUND EFFECTS				
276	0	0	120	Guitar Fret Noise
277	0	0	121	Breath Noise
278	0	0	122	Seashore
279	0	0	123	Bird Tweet
280	0	0	124	Telephone Ring
281	0	0	125	Helicopter
282	0	0	126	Applause
283	0	0	127	Gunshot

[サンプリングボイス]

284	111	0	0	Sampled
-----	-----	---	---	---------

スタイルリスト

スタイル No.	スタイルネーム	スタイル No.	スタイルネーム	スタイル No.	スタイルネーム	スタイル No.	スタイルネーム
INTRODUCTION		27	Pop Trip Hop	51	Hard Floor	76	Jack
1	Pop Techno	28	Vintage Trip Hop	52	Hip House	77	Old Skool
2	Trip Hop	ELECTRO		53	Club House	78	Party
3	Electro Beat	29	Plastic Electro	54	Dub House	79	Theque
4	Goa	30	Cosmic Beat	ABSTRACT BEATS		FRESH	
5	Hard Step 8th	31	Body Rock	55	Digital Rock	80	Chillin'
6	Handbag 1	32	Compilation	56	Underground	81	Dreamin'
7	Romantic House	TRANCE		57	Chill Out	82	EastSide
8	Ambient	33	Trance	RAP		83	Grind
9	Acid Jazz	34	Psychodelic Trance	58	Bomb	84	Hezee
10	Treach	35	Relaxx	59	Dance Hall	85	Loc
11	Steppa	36	Hypnotic	60	Hype	R & B	
12	Struttin'	37	Dark Trance	61	Money	86	Bouncy
13	All That	DRUM'N'BASS		62	Ragga	87	Do it up
14	Soulful	38	Drum'n'Bass	63	Shakin'	88	Hump
TECHNO		39	Hard Jungle	64	Tip	89	Plush
15	Tribal Techno	40	Soul 2001	HARDCORE		90	Pow!
16	Gabba	DANCE FLOOR		65	Buggin'	91	Skippin'
17	Soft Gabba	41	Euro Dance	66	Diesel	92	Solid
18	Euro Techno	42	Euro Latin	67	Hi Rolla	SLO JAMS	
19	Modern Detroit Techno	43	Pop Reggae	68	Homies	93	1stLuv
20	Vintage Detroit Techno	44	Handbag 2	69	SuckaMC	94	Cool
21	Modern Berlin Techno	HOUSE		70	SupaBad	95	DaLadies
22	Minimal Techno	45	House	71	WestSide	96	Daydream
23	Speed Garage	46	Acid House	OLD SKOOL		97	Loverz
24	Acid Techno	47	Deep House	72	Beatbox	98	On Hit
25	Samba Techno	48	Progressive House	73	Delight	99	Pushin'
TRIP HOP		49	Tribal House	74	Flares	100	Sultry
26	Funky Trip Hop	50	Vintage Chicago	75	Funked Up		

ドラムキットリスト

← は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。

各パーカッション音の使用発音数は1です。

DJXの鍵盤 Keyboard のNote#とNoteは、MIDIのNote#とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シーククリックハイ(MIDI Note# 24/Note C0)」をDJXの鍵盤で鳴らす場合は、Note# 36/Note C1を押さえます。

オルタネートナンバー1~4が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

「Key off」の欄に 印が付いているボイスは、鍵盤を離すとすぐに鳴り止みます(キーオフされます)。

Voice#					141	142	143	144	145	
Bank MSB#					127	127	127	127	127	
Bank LSB#					0	0	0	0	0	
Program Change#					0	1	8	16	24	
Keyboard		MIDI		Key off	Alternate Assign	Standard Kit 1	Standard Kit 2	Room Kit	Rock Kit	Electronic Kit 1
Note#	Note	Note#	Note							
25	C#	0	13	C#	-1	3	Surdo Mute	←	←	←
26	D	0	14	D	-1	3	Surdo Open	←	←	←
27	D#	0	15	D#	-1		Hi-Q	←	←	←
28	E	0	16	E	-1		Whip	←	←	←
29	F	0	17	F	-1	4	Scratch H	←	←	←
30	F#	0	18	F#	-1	4	Scratch L	←	←	←
31	G	0	19	G	-1		Finger Snap	←	←	←
32	G#	0	20	G#	-1		Click	←	←	←
33	A	0	21	A	-1		Metronome Click	←	←	←
34	A#	0	22	A#	-1		Metronome Bell	←	←	←
35	B	0	23	B	-1		Seq Click L	←	←	←
36	C	1	24	C	0		Seq Click H	←	←	←
37	C#	1	25	C#	0		Brush Tap	←	←	←
38	D	1	26	D	0	○	Brush Swirl	←	←	←
39	D#	1	27	D#	0		Brush Slap	←	←	←
40	E	1	28	E	0	○	Brush Swirl W/Attack	←	←	Reverse Cymbal
41	F	1	29	F	0	○	Snare Roll	←	←	←
42	F#	1	30	F#	0		Castanet	←	←	Hi Q
43	G	1	31	G	0		Snare H Soft	Snare H Soft2	←	SD Elec M
44	G#	1	32	G#	0		Sticks	←	←	Snare L
45	A	1	33	A	0		Bass Drum L	Bass Drum L2	←	Bass Drum H
46	A#	1	34	A#	0		Open Rim Shot	Open Rim Shot2	←	←
47	B	1	35	B	0		Bass Drum M	←	←	Bass Drum H3
48	C	2	36	C	1		Bass Drum H	Bass Drum H 2	←	BD Rock
49	C#	2	37	C#	1		Side Stick	←	←	BD Rock 2
50	D	2	38	D	1		Snare L	Snare L2	SD Room L	SD Rock
51	D#	2	39	D#	1		Hand Clap	←	←	SD Elec M
52	E	2	40	E	1		Snare H Hard	Snare H Hard2	SD Room H	SD Rock Rim
53	F	2	41	F	1		Floor Tom L	←	Room Tom 1	SD Elec H
54	F#	2	42	F#	1	1	Hi-Hat Closed	←	←	Rock Tom 1
55	G	2	43	G	1		Floor Tom H	←	Room Tom 2	Rock Tom 2
56	G#	2	44	G#	1	1	Hi-Hat Pedal	←	←	E Tom 2
57	A	2	45	A	1		Low Tom	←	Room Tom 3	Rock Tom 3
58	A#	2	46	A#	1	1	Hi-Hat Open	←	←	E Tom 3
59	B	2	47	B	1		Mid Tom L	←	Room Tom 4	Rock Tom 4
60	C	3	48	C	2		Mid Tom H	←	Room Tom 5	Rock Tom 5
61	C#	3	49	C#	2		Crash Cymbal 1	←	←	E Tom 5
62	D	3	50	D	2		High Tom	←	Room Tom 6	Rock Tom 6
63	D#	3	51	D#	2		Ride Cymbal 1	←	←	←
64	E	3	52	E	2		Chinese Cymbal	←	←	←
65	F	3	53	F	2		Ride Cymbal Cup	←	←	←
66	F#	3	54	F#	2		Tambourine	←	←	←
67	G	3	55	G	2		Splash Cymbal	←	←	←
68	G#	3	56	G#	2		Cowbell	←	←	←
69	A	3	57	A	2		Crash Cymbal 2	←	←	←
70	A#	3	58	A#	2		Vibraslap	←	←	←
71	B	3	59	B	2		Ride Cymbal 2	←	←	←
72	C	4	60	C	3		Bongo H	←	←	←
73	C#	4	61	C#	3		Bongo L	←	←	←
74	D	4	62	D	3		Conga H Mute	←	←	←
75	D#	4	63	D#	3		Conga H Open	←	←	←
76	E	4	64	E	3		Conga L	←	←	←
77	F	4	65	F	3		Timbale H	←	←	←
78	F#	4	66	F#	3		Timbale L	←	←	←
79	G	4	67	G	3		Agogo H	←	←	←
80	G#	4	68	G#	3		Agogo L	←	←	←
81	A	4	69	A	3		Cabasa	←	←	←
82	A#	4	70	A#	3		Maracas	←	←	←
83	B	4	71	B	3	○	Samba Whistle H	←	←	←
84	C	5	72	C	4	○	Samba Whistle L	←	←	←
85	C#	5	73	C#	4		Guiro Short	←	←	←
86	D	5	74	D	4	○	Guiro Long	←	←	←
87	D#	5	75	D#	4		Claves	←	←	←
88	E	5	76	E	4		Wood Block H	←	←	←
89	F	5	77	F	4		Wood Block L	←	←	←
90	F#	5	78	F#	4		Cuica Mute	←	←	Scratch Push
91	G	5	79	G	4		Cuica Open	←	←	Scratch Pull
92	G#	5	80	G#	4	2	Triangle Mute	←	←	←
93	A	5	81	A	4	2	Triangle Open	←	←	←
94	A#	5	82	A#	4		Shaker	←	←	←
95	B	5	83	B	4		Jingle Bell	←	←	←
96	C	6	84	C	5		Bell Tree 1	←	←	←

ドラムキットリスト

Voice#				146	147	148	149	150		
Bank MSB#				127	127	127	127	127		
Bank LSB#				0	0	0	0	0		
Program Change#				25	27	32	40	48		
Keyboard		MIDI		Key off	Alternate Assign	Analog Kit 1	Dance Kit	Jazz Kit	Brush Kit	Symphony Kit
Note#	Note	Note#	Note							
25	C# 0	13	C# -1		3	<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
26	D 0	14	D -1		3	<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
27	D# 0	15	D# -1			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
28	E 0	16	E -1			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
29	F 0	17	F -1		4	<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
30	F# 0	18	F# -1		4	<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
31	G 0	19	G -1			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
32	G# 0	20	G# -1			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
33	A 0	21	A -1			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
34	A# 0	22	A# -1			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
35	B 0	23	B -1			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
36	C 1	24	C 0			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
37	C# 1	25	C# 0			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
38	D 1	26	D 0	○		<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
39	D# 1	27	D# 0			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
40	E 1	28	E 0	○		Reverse Cymbal	Reverse Cymbal	<<<	<<<	<<<
41	F 1	29	F 0	○		<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
42	F# 1	30	F# 0			Hi Q	Hi Q	<<<	<<<	<<<
43	G 1	31	G 0			SD Elec H2	SD Analog 2	<<<	Brush Slap L	<<<
44	G# 1	32	G# 0			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
45	A 1	33	A 0			Bass Drum H	BD Analog 2	<<<	<<<	Bass Drum L3
46	A# 1	34	A# 0			<<<	SD Analog Open Rim	<<<	<<<	<<<
47	B 1	35	B 0			BD Analog 1L	BD Analog 3	<<<	<<<	Gran Casa
48	C 2	36	C 1			BD Analog 1H	BD Analog 4	BD Jazz	BD Jazz	Gran Casa Mute
49	C# 2	37	C# 1			Analog Side Stick 1	Analog Side Stick 1	<<<	<<<	<<<
50	D 2	38	D 1			SD Analog 1H	SD Analog 3	SD Jazz L	Brush Slap H	Marching SD M
51	D# 2	39	D# 1			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
52	E 2	40	E 1			SD Analog 1L	SD Analog 4	SD Jazz H	Brush Tap	Marching SD H
53	F 2	41	F 1			Analog Tom 1	Analog Tom 1	Jazz Tom 1	Brush Tom 1	Jazz Tom 1
54	F# 2	42	F# 1	1		Analog HH Closed1	Dance HH Closed1	<<<	<<<	<<<
55	G 2	43	G 1			Analog Tom 2	Analog Tom 2	Jazz Tom 2	Brush Tom 2	Jazz Tom 2
56	G# 2	44	G# 1	1		Analog HH Closed2	Dance HH Closed2	<<<	<<<	<<<
57	A 2	45	A 1			Analog Tom 3	Analog Tom 3	Jazz Tom 3	Brush Tom 3	Jazz Tom 3
58	A# 2	46	A# 1	1		Analog HH 1 Open	HH Open2	<<<	<<<	<<<
59	B 2	47	B 1			Analog Tom 4	Analog Tom 4	Jazz Tom 4	Brush Tom 4	Jazz Tom 4
60	C 3	48	C 2			Analog Tom 5	Analog Tom 5	Jazz Tom 5	Brush Tom 5	Jazz Tom 5
61	C# 3	49	C# 2			Analog Cymbal	Analog Cymbal	<<<	<<<	Hand Cym.L Open
62	D 3	50	D 2			Analog Tom 6	Analog Tom 6	Jazz Tom 6	Brush Tom 6	Jazz Tom 6
63	D# 3	51	D# 2			<<<	<<<	<<<	<<<	Hand Cym. L Closed
64	E 3	52	E 2			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
65	F 3	53	F 2			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
66	F# 3	54	F# 2			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
67	G 3	55	G 2			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
68	G# 3	56	G# 2			Analog Cowbell	Analog Cowbell	<<<	<<<	<<<
69	A 3	57	A 2			<<<	<<<	<<<	<<<	Hand Cym. H Open
70	A# 3	58	A# 2			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
71	B 3	59	B 2			<<<	<<<	<<<	<<<	Hand Cym. H Closed
72	C 4	60	C 3			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
73	C# 4	61	C# 3			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
74	D 4	62	D 3			Analog Conga H	Analog Conga H	<<<	<<<	<<<
75	D# 4	63	D# 3			Analog Conga M	Analog Conga M	<<<	<<<	<<<
76	E 4	64	E 3			Analog Conga L	Analog Conga L	<<<	<<<	<<<
77	F 4	65	F 3			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
78	F# 4	66	F# 3			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
79	G 4	67	G 3			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
80	G# 4	68	G# 3			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
81	A 4	69	A 3			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
82	A# 4	70	A# 3			Analog Maracas	Analog Maracas	<<<	<<<	<<<
83	B 4	71	B 3	○		<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
84	C 5	72	C 4	○		<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
85	C# 5	73	C# 4			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
86	D 5	74	D 4	○		<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
87	D# 5	75	D# 4			Analog Claves	Analog Claves	<<<	<<<	<<<
88	E 5	76	E 4			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
89	F 5	77	F 4			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
90	F# 5	78	F# 4			Scratch Push	Scratch Push	<<<	<<<	<<<
91	G 5	79	G 4			Scratch Pull	Scratch Pull	<<<	<<<	<<<
92	G# 5	80	G# 4		2	<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
93	A 5	81	A 4		2	<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
94	A# 5	82	A# 4			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
95	B 5	83	B 4			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<
96	C 6	84	C 5			<<<	<<<	<<<	<<<	<<<

ドラムキットリスト

[DJXスペシャルキットリスト]

Voice#				141	151	152	153	154	155
Bank MSB#				127	126	126	126	126	126
Bank LSB#				0	0	0	0	0	0
Program Change#				0	19	20	21	22	23
Keyboard		MIDI		Standard Kit 1	Analog Kit 2	Analog Kit 3	Electronic Kit 2	B900 Kit	DJX Kit
Note#	Note	Note#	Note						
25	C# 0	13	C# -1	Surdo Mute	<=>	<=>	<=>		
26	D 0	14	D -1	Surdo Open	<=>	<=>	<=>		
27	D# 0	15	D# -1	Hi-Q	<=>	<=>	<=>		
28	E 0	16	E -1	Whip	<=>	<=>	<=>		
29	F 0	17	F -1	Scratch H	<=>	<=>	<=>		
30	F# 0	18	F# -1	Scratch L	<=>	<=>	<=>		
31	G 0	19	G -1	Finger Snap	<=>	<=>	<=>		
32	G# 0	20	G# -1	Click	<=>	<=>	<=>		
33	A 0	21	A -1	Metronome Click	<=>	<=>	<=>		
34	A# 0	22	A# -1	Metronome Bell	<=>	<=>	<=>		
35	B 0	23	B -1	Seq Click L	<=>	<=>	<=>		
36	C 1	24	C 0	Seq Click H	<=>	<=>	<=>		
37	C# 1	25	C# 0	Brush Tap	<=>	<=>	<=>		
38	D 1	26	D 0	Brush Swirl	<=>	<=>	<=>		
39	D# 1	27	D# 0	Brush Slap	<=>	<=>	<=>		
40	E 1	28	E 0	Brush Swirl W/Attack	<=>	<=>	<=>		
41	F 1	29	F 0	Snare Roll	<=>	<=>	<=>		
42	F# 1	30	F# 0	Castanet	<=>	<=>	<=>		
43	G 1	31	G 0	Snare H Soft	SD T8 1	SD T9 1	<=>		
44	G# 1	32	G# 0	Sticks	<=>	<=>	<=>		
45	A 1	33	A 0	Bass Drum L	BD Analog	BD Analog	<=>		
46	A# 1	34	A# 0	Open Rim Shot	<=>	<=>	<=>		
47	B 1	35	B 0	Bass Drum M	BD T8 2	BD Jungle 4	<=>		
48	C 2	36	C 1	Bass Drum H	BD T8 3	BD T9 1	BD T8 2	BD Jungle 4	BD T9 Distortion
49	C# 2	37	C# 1	Side Stick	T8 Side Stick	T9 Side Stick	BD T8 2Long	BD T8 2Long	BD T9 4
50	D 2	38	D 1	Snare L	SD T8 3L	SD T9 4L	BD T8 3	BD Jungle 1	BD T8 Low Long
51	D# 2	39	D# 1	Hand Clap	<=>	<=>	SD T8 1	BD Jungle 2	BD T8 4
52	E 2	40	E 1	Snare H Hard	SD T8 3M	SD T9 4H	SD T8 3M	BD T8 2Cont	BD Hard Distortion
53	F 2	41	F 1	Floor Tom L	T8 Tom 1	T9 Tom 1	SD T8 4	BD Jungle 5	BD Jungle 6
54	F# 2	42	F# 1	Hi-Hat Closed	T8 HH 1 Closed1	T9 HH 1 Closed1	SD T8 5	BD HipHop1	SD T8 6
55	G 2	43	G 1	Floor Tom H	T8 Tom 2	T9 Tom 2	T8 Conga 1	BD HipHop2	SD Snap Hi
56	G# 2	44	G# 1	Hi-Hat Pedal	T8 HH 1 Closed2	T9 HH 1 Closed2	T8 Cowbell	SD Jungle 1	SD T9 4
57	A 2	45	A 1	Low Tom	T8 Tom 3	T9 Tom 3	T8 Conga 2	SD Jungle 2	SD brutal
58	A# 2	46	A# 1	Hi-Hat Open	T8 HH 1 Open 1	T9 HH 1 Open 2	T8 Maracas	SD Jungle 3	SD Snap Lo
59	B 2	47	B 1	Mid Tom L	T8 Tom 4	T9 Tom 4	T8 Conga 3	SD Jungle 4	SD Elect.2
60	C 3	48	C 2	Mid Tom H	T8 Tom 5	T9 Tom 5	T8 Conga 4	SD HipHop1	SD T9 4
61	C# 3	49	C# 2	Crash Cymbal 1	<=>	<=>	T8 Side Stick	SD HipHop2	SD noisy scratch
62	D 3	50	D 2	High Tom	T8 Tom 6	T9 Tom 6	T8 Clave	SD HipHop3	SD T8 3
63	D# 3	51	D# 2	Ride Cymbal 1	<=>	<=>	T8 Clap	SD Elect.1	HH MS Closed
64	E 3	52	E 2	Chinese Cymbal	<=>	<=>	<=>	SD Elect.2	HH MS Open
65	F 3	53	F 2	Ride Cymbal Cup	<=>	<=>	T8 Tom 1	SD Elect.3	T9 HH 2 Hard Closed
66	F# 3	54	F# 2	Tambourine	<=>	<=>	T8 HH 1 Closed1	SD Elect.4	T9 HH 2 Hard Open
67	G 3	55	G 2	Splash Cymbal	<=>	<=>	T8 Tom 2	SD T8 3M	T8 HH 2 Closed
68	G# 3	56	G# 2	Cowbell	<=>	<=>	T8 HH 1 Closed2	SD T8	T8 HH 2 Open
69	A 3	57	A 2	Crash Cymbal 2	<=>	<=>	T8 Tom 3	HH 1 Closed	HH FX1
70	A# 3	58	A# 2	Vibraslap	<=>	<=>	T8 HH 1 Open	HH 2 Closed	HH FX2
71	B 3	59	B 2	Ride Cymbal 2	<=>	<=>	T8 Tom 4	HH 2 Open	T9 HH 3 Closed
72	C 4	60	C 3	Bongo H	<=>	<=>	Analog Cymbal	HH 3 Closed	T9 HH 3 Open
73	C# 4	61	C# 3	Bongo L	<=>	<=>	<=>	HH 78 Open	T6 HH Closed
74	D 4	62	D 3	Conga H Mute	<=>	<=>	<=>	HH 4 Closed	T6 HH Open
75	D# 4	63	D# 3	Conga H Open	<=>	<=>	BD T9 1	HH 4 Open	HH Nat Closed
76	E 4	64	E 3	Conga L	<=>	<=>	BD T9 3n	PC Snap	HH Nat Open
77	F 4	65	F 3	Timbale H	<=>	<=>	BD Jungle 4	PC Tamb2	HH FX3
78	F# 4	66	F# 3	Timbale L	<=>	<=>	T9 HH 1 Open 2	BD Jungle 4Long	HH FX4
79	G 4	67	G 3	Agogo H	<=>	<=>	SD T9 1L	BD Analog	HH T9Low Closed
80	G# 4	68	G# 3	Agogo L	<=>	<=>	SD T9 2	Hit 1L	HH T9Low Open
81	A 4	69	A 3	Cabasa	<=>	<=>	SD T9 1M	Hit 1M	HH Metal Closed
82	A# 4	70	A# 3	Maracas	<=>	<=>	SD T9 3	Hit 1H	HH Metal Open
83	B 4	71	B 3	Samba Whistle H	<=>	<=>	SD T9 1H	Hit 2L	CBD
84	C 5	72	C 4	Samba Whistle L	<=>	<=>	SD T9 4L	Hit 2M	CSD
85	C# 5	73	C# 4	Guiro Short	<=>	<=>	T9 Side Stick	Hit 2H	Analog Claves
86	D 5	74	D 4	Guiro Long	<=>	<=>	SD T9 4M	Hit Brass 1	Pulse L
87	D# 5	75	D# 4	Claves	<=>	<=>	T9 Clap	SCR 1L	Pulse M
88	E 5	76	E 4	Wood Block H	<=>	<=>	SD T9 4H	SCR 1M	Pulse H
89	F 5	77	F 4	Wood Block L	<=>	<=>	T9 Tom 1	SCR 1H	Analog BD
90	F# 5	78	F# 4	Cuica Mute	<=>	<=>	T9 HH 1 Closed1	SCR 2L	Analog Tom
91	G 5	79	G 4	Cuica Open	<=>	<=>	T9 Tom 2	SCR 2M	Analog SD
92	G# 5	80	G# 4	Triangle Mute	<=>	<=>	T9 HH 1 Closed2	SCR 2H	Pulse&Noise
93	A 5	81	A 4	Triangle Open	<=>	<=>	T9 Tom 3	SCR 3L	Reverse Pulse&Noise
94	A# 5	82	A# 4	Shaker	<=>	<=>	T9 HH 1 Open 2	SCR 3M	Analog Snaps 1
95	B 5	83	B 4	Jingle Bell	<=>	<=>	T9 Tom 4	SCR 3H	Noise Echo
96	C 6	84	C 5	Bell Tree 1	<=>	<=>	T9 Crash 1	SCR 4L	Reverse BD
97	C# 6	85	C# 5		Bell Tree 2	Bell Tree 2	T9 Ride	SCR 4M	Reverse Percussion
98	D 6	86	D 5		Bell Tree 3	Bell Tree 3	T9 Crash 2	SCR 4H	Analog Snaps 2
99	D# 6	87	D# 5		BD T8 2	BD T8 2	BD T8 2	SCR 6L	Analog Claps
100	E 6	88	E 5		SD T8 4	SD T8 4	SD T8 4	SCR 6ML	Reverse Claps
101	F 6	89	F 5		SD T8 3H	SD T8 3H	SD T8 3H	SCR 6MH	
102	F# 6	90	F# 5		T8 HH 2 Closed1	T8 HH 2 Closed1	T8 HH 2 Closed1	SCR 6H	
103	G 6	91	G 5		T8 Cowbell	T8 Cowbell	T8 Cowbell	SCR 7L	
104	G# 6	92	G# 5		T8 HH 2 Closed2	T8 HH 2 Closed2	T8 HH 2 Closed2	SCR 7ML	
105	A 6	93	A 5		T8 Tambourine	T8 Tambourine	T8 Tambourine	SCR 7MH	
106	A# 6	94	A# 5		T8 HH 2 Open	T8 HH 2 Open	T8 HH 2 Open	SCR 7H	
107	B 6	95	B 5		T8 Guiro	T8 Guiro	T8 Guiro	Hit Brass 2	
108	C 7	96	C 6		Metal	Metal	Metal	Analog Cymbal	

・ 欄は何も鳴りません。

・ このリストのKeyboard Note#, Noteは、メインボイスのオクターブ設定(F02 が[♯] - 1)の場合の値です。ボイスナンバー141(Standard Kit1)~152(Analog Kit3)のメインボイスのオクターブ設定(デフォルト)が[♯] - 1ですが、ボイスナンバー153(Electronic Kit2)~155(DJX Kit)のメインボイスのオクターブ設定(デフォルト)が[♯] 0ですので、リストに書かれている音を鳴らすためには1オクターブ下の鍵盤を押す必要があります。

エフェクトタイプリスト

リバーブタイプリスト

ナンバー	タイプ	解説
1~2	Hall1~2(ホール1~2)	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
3~4	Room1~2(ルーム1~2)	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
5~6	Stage1~2(ステージ1~2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
7~8	Plate1~2(プレート1~2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
9	Off(オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

コーラスタイプリスト

ナンバー	タイプ	解説
1~2	Chorus1~2(コーラス1~2)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
3~4	Flanger1~2(フランジャー1~2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
5	Off(オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。

DSPタイプリスト

ナンバー	タイプ	解説
01~02	Hall1~2(ホール1~2)	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
03~04	Room1~2(ルーム1~2)	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
05~06	Stage1~2(ステージ1~2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
07~08	Plate1~2(プレート1~2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
09~10	Early Reflection1~2(アーリーリフレクション1~2)	リバーブの初期反射音のみ取り出したエフェクトです。
11	Gate Reverb(ゲートリバーブ)	ゲートリバーブをシミュレートしたものです。
12	Reverse Gate(リバースゲート)	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたものです。
13~14	Chorus1~2(コーラス1~2)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
15~16	Flanger1~2(フランジャー1~2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
17	Symphonic(シンフォニック)	音にうねりと広がりを与える効果です。
18	Phase(フェイザー)	位相(フェイズ)を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。
19~20	Rotary Speaker1~2(ロータリースピーカー1~2)	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
21~22	Tremolo1~2(トレモロ1~2)	音量を周期的に変化させて音の揺れを作り出す効果です。
23	Guitar Tremolo(ギタートレモロ[トレモロ3])	エレキギター用のトレモロをシミュレートしたものです。
24	Auto Pan(オートパン)	音の定位を左右、前後に周期的に移動させるプログラムです。
25	Auto Wah(オートワウ)	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
26	Delay L, C, R(ディレイL, C, R)	Left, Center, Rightの3本のディレイ音を発生するプログラムです。
27	Delay L, R(ディレイL, R)	Left, Rightの2本のディレイ音を発生するプログラムです。2本のフィードバックディレイを持っています。
28	Echo(エコー)	Left, Rightの2本のディレイと、Left, Right独立のフィードバックディレイを持っています。
29	Cross Delay(クロスディレイ)	2本のディレイのフィードバックディレイをクロスさせたプログラムです。
30	Distortion Hard(ディストーションハード)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)
31	Distortion Soft(ディストーションソフト)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)
32	EQ Disc(イコライザーディスコ)	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスコ風のエフェクト効果が得られます。
33	EQ Telephone(イコライザーテレフォン)	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られます。
34	Off(オフ)	DSPエフェクトはかかりません。

エフェクトタイプリスト

アルペジエータータイプリスト

ナンバー	タイプ	解説
01	Techno-A(テクノA)	典型的テクノシーケンス TYPE A(ユーロテクノタイプ)
02	Techno-B(テクノB)	典型的テクノシーケンス TYPE B(UK タイプ Velocity付き)
03	Techno-C(テクノC)	典型的テクノシーケンス TYPE C(ジャパンテクノタイプ)
04	Techno-D(テクノD)	典型的テクノシーケンス TYPE D(ジャーマンテクノタイプ)
05	DAHouse(DAハウス)	ハウス系のバックイングシーケンス(左手でベース、右手でコード)
06	Syncop(シンコペーション)	シンコペーションシーケンス
07	BaseLine(ベースライン)	ベース向きアルペジオフレーズ
08	Ech(エコー)	エコー感のあるシーケンス
09	TekkEch(テクノエコー)	エコー感がありつつ、フィルターが動くシーケンス
10	SweepLine(スイープライン)	フィルターがスイープしながら動くシーケンス
11	PulseLine(パルスライン)	ベースラインとシーケンスラインが混在したシーケンス
12	Up(アップ)	演奏したコード(またはフレーズ)が上がって行くタイプ
13	Down(ダウン)	演奏したコード(またはフレーズ)が下がって行くタイプ
14	UpDownA(アップダウンA)	演奏したコード(またはフレーズ)が上がってきた後、下がっていくタイプ
15	UpDownB(アップダウンB)	演奏したコード(またはフレーズ)が上がってきた後、順番に下がっていく(UpDwAOctとは少し異なる)タイプ
16	Random(ランダム)	弾いた鍵盤の音程(コード)を基にランダム(不規則)に上がったり下がったりするタイプ

故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
STAND BY/ONスイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
演奏に雑音(ハム音など)が混じる。	電源アダプターをパネルの上に置いたり、本体に近くに置いているためです。	電源アダプターを本体から遠ざけてください。
<ul style="list-style-type: none"> 音量が小さくなった。 音質が劣化した。 パフォーマンスセットアップのユーザー設定が、正しくはたらかない。 ソングなどの録音内容が正しく演奏(再生)されない。 突然ディスプレイの表示が消え、パネル設定がリセットされた。 	電池が消耗しています。	6本とも新しい電池と交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
演奏音にディストーションがかかっている、またはノイズが混じっている。	DJXには、スタイルにマッチするようにあらかじめそのようなボイスが入っています。	故障ではありません。
	CUTOFFノブとRESONANCEノブ(さらにMASTER VOLUMEコントロール)をいちばん右まで回すと、ディストーションがかかります。	故障ではありません。
	(サンプリングボイスの場合)入力レベルが高すぎました。	故障ではありません。入力レベルを下げてもう一度サンプリングしてください。

現象	原因	解決方法
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。	PHONES/AUX OUT(ヘッドフォン/外部出力端子)に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	パターン/スプリットボイスのスプリットポイント設定中は、(35, 51ページ参照) 鍵盤を押さえても音が鳴りません。 ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
	メインボイス/デュアルボイス/スプリットボイスのボリュームの設定が下がっています。	29, 32, 35ページを参照して、それぞれのボリュームを確認してください。
	ローカルオン/オフの設定がオフに設定されています。	90ページの「ローカルオン/オフを設定する」の項を参照して、ローカルオンに設定してください。
効果(リバーブ/コーラス/DSP)がかからない。	各効果(リバーブ/コーラス/DSP)がオンになっていません。	各効果がオンになっているか確認してください。(37, 38, 39ページ参照)
	メインボイス/デュアルボイス/スプリットボイスのセンドレベルが下がっています。	29, 32, 35ページを参照して、それぞれのセンドレベルを確認してください。
・同時に押さえた鍵盤の音で鳴らない音があった。 ・鍵盤演奏すると、パターンやソングの演奏音が途切れる。	DJXの最大同時発音数を越えています。	DJXの最大同時発音数は32です。パターン演奏やソングなども含めて最大32音の範囲で鳴らすことができます。
パターン演奏がスタートしない。	クロックの設定が、オンに設定されています。	90ページの「クロックを設定する」の項を参照して、クロックをオフに設定してください。
パターンが正しく演奏されない。	パターン音量の設定が下がっています。	48ページを参照して、それぞれの設定を確認してください。
	コード押鍵に対し、パターンのスプリットポイントの設定が不適切です。	51ページの「パターンのスプリットポイントを変更する」の項を参照して、パターンのスプリットポイントを適切な位置に設定してください。
パターンのいくつかのパートが鳴らない。	パートコントロールで、いくつかのパートがオフになっています。	ディスプレイのパートオン/オフ表示を確認し(47ページ参照) 各パートのオン/オフを設定してください。
ASSIGNノブやリボンコントローラーに設定した効果が、選択したパートにかからない。	選択したパートによって、効果の大きさが異なります。	故障ではありません。
「GROOVE(グループ)」、「Dynamics(ダイナミクス)」の効果が、スペシャルボイス(ボイスナンバー000)の黒鍵(ドラムグループ)の演奏にかからない。	「GROOVE」や「Dynamics」はパターン演奏だけに効果がかかります。	故障ではありません。
フットスイッチのオン/オフが逆になった。	フットスイッチを踏みながら電源を入れたからです。	電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
サンプリングできない。	マイク、または外部機器が接続されていません。	MIC/LINE IN端子に、マイク、または外部機器を接続してください。(62ページ参照)
	サンプリング容量(メモリー容量)がいっぱいです。	サンプリングモードに入った時に、残りのメモリー容量がパーセンテージ(%)表示されます(62ページ参照)。必要に応じて、不要なサンプリング音を削除してから、サンプリングしてください。
サンプリングがすぐにスタートする、または、なかなかスタートしない。	トリガーレベルが適切な値に設定されていない。	トリガーレベルを適切な値に設定してください。(63ページ参照)
MIDIが思うように機能しない。	SONGモードではMIDIははたらきません。	STYLEボタンを押して、STYLEモードにしてからMIDIの設定を行ってください。
外部シーケンサーなどから、ソング、パフォーマンスセットアップのデータをひとつずつDJXへバルクダンプ送信しても、DJXでうまく受信できない。	データの送信間隔を調整する必要があります。	ソング、パフォーマンスセットアップのひとつずつのデータを、継続して(2秒未満の間隔)送信するか、完全にひとつひとつのデータの間隔をあけて(DJXでバルクダンプ受信が終了し、ディスプレイが通常の状態に戻ってから)送信してください。

MIDIインプリメンテーションチャート

[ポータブルキーボード]
Model: DJX (PSR-D1)

Date: 1998. 4.15
Version: 1.0

MIDI インプリメンテーションチャート

ファンクション	送信	受信	備考	
ベーシック チャンネル	電源ON 設定可能	1 ~ 16チャンネル 1 ~ 16チャンネル	1 ~ 16チャンネル 1 ~ 16チャンネル	1 1
モード	電源ON メッセージ 代用	モード3 X *****	モード3 X X	
ノート ナンバー	音域	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127	
ベロシティー	ノートオン ノートオフ	O 9nH, v=1 ~ 127 O 9nH, v=0	O 9nH, v=1 ~ 127 O 9nH, v=0 or 8nH	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	X X	X X	
ピッチベンダー		O	O	
コントロール				
	0, 32	O	O	バンクセレクト モジュレーション エクスプレッション データエンタリー サステイン サウンドコントローラー ポルタメント コントロール エフェクトデプス データ インクリメント、デクリメント RPN LSB, MSB オールサウンド オフ リセット オール コントローラー
	1	O	O	
	7, 10	O	O	
	11	X	2 O	
	6, 38	O	2 O	
	64	O	O	
	71 ~ 74	O	O	
	84	X	2 O	
	91, 93, 94	O	O	
	96, 97	X	O	
	100, 101	X	2 O	
	120	X	O	
	121	X	O	
プログラム チェンジ	設定可能範囲	O 0 ~ 127 *****	O 0 ~ 127	
エクスクルーシブ		O 3	O 3	
コモン	ソング ポジション ソング セレクト チューン	X X X	X X X	
リアル	クロック コマンド	O O 5	O 4 O 5	
その他	ローカル ON/OFF オール ノート オフ アクティブ センス リセット	X X O X	X O (123 ~ 127) O X	

モード1: オムニ オン、ポリ
モード3: オムニ オフ、ポリ

モード2: オムニ オン、モノ
モード4: オムニ オフ、モノ

: あり
x: なし

1 デフォルト(工場出荷時)は、MIDI入力16チャンネルのマルチティンバー音源として機能し、パネル音色やパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、パターン、およびソングに影響します。

- ・ MIDI マスターチューン
- ・ リバース、コーラス、DSPの各タイプを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ

パネル設定(F81)によりリモートチャンネルの設定が可能です。設定されたチャンネルで受信するチャンネルメッセージは、本体の鍵盤をオン/オフした場合と同様に扱われます。このモードに設定したチャンネルでは以下のメッセージを受信しません。これ以外は受信しません。

- ・ ノートオン
- ・ ノートオフ
- ・ コントロールチェンジ
 - バンクセレクト(メインボイスのみ)
 - モジュレーション
 - ボリューム
 - エクスプレッション
 - サステイン
 - オールサウンドオフ
 - オールノートオフ
 - プログラムチェンジ(メインボイスのみ)
 - ピッチベンド

2 これらのコントロールチェンジは、パネル操作によっては送信されないが、パターンまたはアルペジエーター演奏中に送信されることがある。

3 エクスクルーシブ

< GMシステムオン >

F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H

- ・ MIDIマスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。

< MIDIマスターボリューム >

F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, 01H, mmH, F7H

- ・ 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
- ・ mmの値をMIDIマスターボリューム値として用います。(01は無視)

< MIDIマスターチューニング >

F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, 00H, mmH, 01H, ccH, F7H

- ・ 全チャンネルの音程を一度に変えるメッセージです。
- ・ mm, 01の値をMIDIマスターチューニング値として用います。
- ・ mm, 01のデフォルトは08H, 00Hです。また、nおよびccの値は任意です。

< バルクダンプ >

- ・ 録音データ(ユーザーソング、ユーザーパフォーマンスセッティングアップ、サンプリングデータ)が対象です。

< 内部クロック/外部クロック >(受信のみ)

F0H, 43H, 73H, 01H, 02H, F7H(内部クロック)

F0H, 43H, 73H, 01H, 03H, F7H(外部クロック)

- ・ パターンのクロック設定をコントロールします。

< リバースタイプ >

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, mmH, 01H, F7H

- ・ mm: リバースタイプMSB
- ・ 01: リバースタイプLSB

詳細はエフェクトマップ(106ページ)を参照してください。

< コーラスタイプ >

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 20H, mmH, 01H, F7H

- ・ mm: コーラスタイプMSB
- ・ 01: コーラスタイプLSB

詳細はエフェクトマップ(106ページ)を参照してください。

< DSPタイプ >

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 40H, mmH, 01H, F7H

- ・ mm: DSPタイプMSB
- ・ 01: DSPタイプLSB

詳細はエフェクトマップ(106ページ)を参照してください。

< ドライレベル >

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 08H, 0mH, 11H, 01H, F7H

- ・ 0m: MIDIチャンネル
- ・ 01: データ

4 外部クロック、内部クロックの切り替えが可能です。

5 パターンのスタート時にFAHを、ストップ時にFCHを送信します。クロック設定が外部の場合は、FAH(パターンのスタート)、FCH(パターンのストップ)を受信します。

SONGモードでは、MIDIメッセージの送受信は行われません。

MIDIインプリメンテーションチャート

エフェクトマップ

- ・ TYPE LSBに、エフェクトタイプを持たない値を受信した場合、LSB=0のタイプとなります。
- ・ ()内のナンバー/名前はパネルディスプレイ上でのものです。
- ・ 外部機器からのMIDIエクスクルーシブデータをDJXに送信すれば、DJXのパネル操作では設定できないリバーブ/コーラス/DSPタイプを設定することができます。その場合、各エフェクトタイプの設定画面では「 - 」が表示されます。

REVERB

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000	NO EFFECT									
001	(1)HALL1					(2)HALL2				
002	ROOM					(3)ROOM1		(4)ROOM2		
003	STAGE				(5)STAGE1	(6)STAGE2				
004	PLATE				(7)PLATE1	(8)PLATE2				
005...127	NO EFFECT									

CHORUS

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000...064	NO EFFECT									
065	CHORUS		(2)CHORUS2							
066	CELESTE					(1)CHORUS1				
067	FLANGER			(3)FLANGER1		(4)FLANGER2				
068...127	NO EFFECT									

DSP

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000	NO EFFECT									
001	(1)HALL1					(2)HALL2				
002	ROOM					(3)ROOM1		(4)ROOM2		
003	STAGE				(5)STAGE1	(6)STAGE2				
004	PLATE				(7)PLATE1	(8)PLATE2				
005	DELAY L,C,R				(26)DELAY L,C,R					
006	(27)DELAY L,R									
007	(28)ECHO									
008	(29)CROSS DELAY									
009	(9)EARLY REFLECTION1	(10)EARLY REFLECTION2								
010	(11)GATE REVERB									
011	(12)REVERSE GATE									
012...019	NO EFFECT									
020	KARAOKE									
021...063	NO EFFECT									
064	THRU									
065	CHORUS		(14)CHORUS2							
066	CELESTE					(13)CHORUS1				
067	FLANGER			(15)FLANGER1		(16)FLANGER2				
068	SYMPHONIC				(17)SYMPHONIC					
069	ROTARY SPEAKER				(19)ROTARY SPEAKER1					
070	TREMOLO				(21)TREMOLO1					
071	AUTO PAN				(24)AUTO PAN		(20)ROTARY SPEAKER2	(22)TREMOLO2	(23)GUITAR TREMOLO	
072	(18)PHASER									
073	DISTORTION									
074	OVERDRIVE									
075	AMP SIMULATION				(30)DISTORTION HARD	(31)DISTORTION SOFT				
076	3BAND EQ				(32)EQ DISCO	(33)EQ TEL				
077	2BAND EQ									
078	AUTO WAH				(25)AUTO WAH					
079...127	THRU									

初期化(イニシャライズの方法)

DJXのパネル上の設定は、電源を入れ直すとそれぞれの初期設定値に戻りますが、下記の設定データはSTAND BY/ONスイッチをオフにしても、電源アダプターが接続されているか、乾電池がセットされていればバックアップされています。

- ・ユーザーソングのデータ
- ・タッチセンス
- ・スプリットボイスのスプリットポイント
- ・パターンのスプリットポイント
- ・サンプリングデータ
- ・パフォーマンスセットアップバンクナンバー
- ・パフォーマンスセットアップ設定内容
- ・フットスイッチの機能

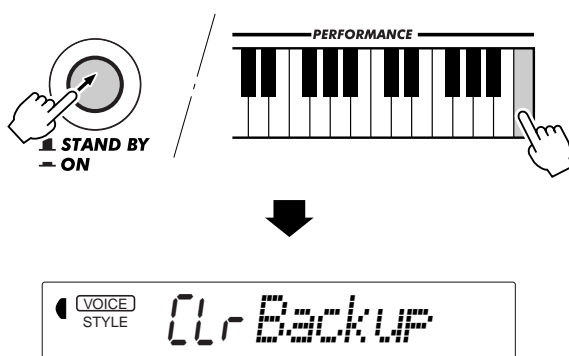
DJXのすべての設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行ってください。



初期化を実行すると、バックアップされていた設定は、初期設定値に戻りますのでご注意ください。

DJXが、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、一旦電源を切り、初期化の操作を行ってください。

- 1 STAND BY/ONスイッチを押して電源を切ります。
- 2 鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら、STAND BY/ONスイッチを押して電源を入れると、初期化が実行されます。初期化が完了するとディスプレイに「CLr Backup」が表示されます。



オプション(別売)商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000	MIDIケーブル	MIDI-15(15m)	¥3,000
	HPE-3	¥3,000		MIDI-03(3m)	¥1,100
キーボードスタンド	L-2L	¥4,000	ソフトケース	SCC-36	¥8,000
	L-2C	¥6,000			
フットスイッチ	FC4	¥3,000			
	FC5	¥1,500			

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

インデックス

B			
BPM(テンポ).....	26		
D			
DSPオン/オフ.....	39		
DSPタイプ.....	101		
G			
GMシステムレベル1.....	28		
GMボイス.....	28		
M			
MIC/LINE端子.....	62		
MIDI.....	85		
MIDIインプリメンテーション チャート.....	104		
MIDI端子.....	86		
A			
アイコン(絵記号).....	24		
アサイン.....	57, 59		
アタック(ASSIGNノブ/ リボンコントローラー).....	58, 60		
アルペジエーターオン/オフ.....	40		
アルペジエータータイプ.....	102		
アルペジエータースピード (ASSIGNノブ/ リボンコントローラー).....	58, 60		
アルペジエーターホールド (フットスイッチ).....	84		
I			
イニシャライズ.....	107		
イニシャルセンド.....	92		
E			
エフェクトタイプリスト.....	101		
演奏の準備.....	6		
エンドポイント.....	69		
O			
オーバーオール.....	22		
オプション商品.....	107		
音符の置き換え(ステップ録音)....	76		
音量の調節.....	22		
カ			
外部出力端子.....	7		
各部の名称.....	8		
カットオフ.....	56		
乾電池.....	6		
ク			
グループ.....	57		
クロック.....	90		
ケ			
鍵盤表示.....	24		
コ			
故障かな?と思ったら.....	102		
コードトラック.....	73, 77		
コード表示.....	24		
コーラスオン/オフ.....	38		
コーラストाइプ.....	101		
サ			
最大同時発音数.....	94		
サステイン.....	84		
サンプリング.....	62		
サンプリング音の削除.....	66		
サンプルバルクダンプ.....	93		
シ			
システムメッセージ.....	86		
仕様.....	110		
小節表示.....	24		
初期化.....	107		
シンクロスタート.....	43		
ス			
スタイル.....	42		
スタイルリスト.....	97		
スタート.....	26, 43		
ステップ(ステップ録音).....	76		
ステップ入力.....	80		
ステップ録音.....	76		
ストップ.....	26, 44		
スプリットオン/オフ.....	33		
スプリットボイス・ DSPセンドレベル.....	35		
スプリットボイス・オクターブ....	35		
スプリットボイス・ コーラスセンドレベル.....	35		
スプリットボイス・パン.....	35		
スプリットボイス・ボリューム....	35		
スプリットボイス・ リバースセンドレベル.....	35		
スプリットボイスの選択.....	35		
スペシャルキット.....	30		
セ			
セクションの切り替え.....	49		
ソ			
ソング.....	25		
ソングクリア(ユーザーソング)....	83		
ソングの再生.....	25		
ソングメモリー.....	71		
ソング音量の調節.....	27		
タ			
ダイナミクス(ASSIGNノブ/ リボンコントローラー).....	58, 60		
ダイナミクスストレンクス (ASSIGNノブ/ リボンコントローラー).....	58, 60		
タッチセンス.....	31		
タップ.....	84		
ターンテーブル(ASSIGNノブ/ リボンコントローラー).....	58, 60		
チ			
チャンネルメッセージ.....	86		
チューニング.....	36		
テ			
デジタルサンプリング.....	62		
デモ.....	25		
デュアルオン/オフ.....	32		
デュアルボイス・ DSPセンドレベル.....	33		
デュアルボイス・オクターブ.....	32		
デュアルボイス・ コーラスセンドレベル.....	33		
デュアルボイス・パン.....	32		
デュアルボイス・ボリューム.....	32		
デュアルボイス・ リバースセンドレベル.....	32		
デュアルボイスの選択.....	33		

電源アダプター	6
電源の準備	6
電源を入れる	23
テンポ (BPM)	26

ト

トラックオン/オフ	27
ドラムキット	30
ドラムキットリスト	98
トランスポーズ	36
トリガーレベル	63

ナ

ナンバーボタン	23
---------------	----

ニ

入力レベル	63
-------------	----

ノ

ノブ	56
----------	----

ハ

パーソナルコンピューター	87
パターンアウト	89
パターン演奏	42
パターン演奏の スプリットポイント	51
パターン音量の調節	48
パターン鍵域	45, 51
パターンコントロールオン/オフ ...	43
パート	47
パートコントロール	61
パートセレクト	61
パネルボイス	28
パフォーマンス鍵域	12, 29
パフォーマンスセットアップ	52
パフォーマンスセットアップ録音	53
バルクダンプ受信	91
バルクダンプ送信	91

ヒ

ビートA/B(セクション)	49
ビート表示(ビートディスプレイ) ..	26
ビートリバース	47

フ

ファンクション	18
フットスイッチ	84
フットスイッチ端子	7
譜面立て	6
プリセットA/B (パフォーマンスセットアップ) ..	52
ブレイクアウト(セクション)	50
プログラムチェンジナンバー	94

ヘ

ベースブースト	59
ヘッドフォン	7
ベロシティカーブ	81

ホ

ボイス	28
ボイスセット	31
ボイスリスト	94
保証とアフターサービス	111

メ

メインボイス	28
メロディトラック	73, 77

モ

モジュレーション(ASSIGNノブ/ リボンコントローラー)	58, 60
モード	23

ユ

ユーザー (パフォーマンスセットアップ) ..	53
----------------------------	----

リ

リアルタイム録音	72
リードアウト(セクション)	50
リードイン(セクション)	49
リードインスタート	44
リハーサルモード	74
リバースオン/オフ	37
リバースタイプ	101
リボンコントローラー	59
リモートチャンネル	88
リリース(ASSIGNノブ/ リボンコントローラー)	58, 60

ル

ループ再生	67
-------------	----

レ

レゾナンス	57
-------------	----

ロ

ローカル	90
録音	71
録音モード	71

DJX仕様

鍵盤

レギュラーサイズ61鍵(C1~C6:タッチレスボンス付)

ディスプレイ

大型液晶ディスプレイ

セットアップ

STAND BY/ONスイッチ

MASTER VOLUMEコントロール: MIN~MAX

コントロール

OVERALL [+] [-] ボタン、FUNCTIONボタン、
SONGボタン、STYLEボタン、VOICEボタン、ナンバーボタ
ン [1] [0] [+] [YES/FWD] [-] [NO/BWD] ボタン

デモソング

3曲

ボイス

パネルボイス140音色+15ドラムキット+GMボイス128音
色+スペシャルボイス1音色+サンプリングボイス1音色(最大
同時発音数32)

ボイスセット機能付

デュアルボイス

スプリットボイス

パターン

100スタイル

PATTERN CONTROLオン/オフ

パターンコントロール: SYNC-START、START/STOP、
LEAD IN/LEAD OUT、BEAT A/B(BREAK OUT)

ビート表示

パターン音量

パートコントロール

ビートリバース

パートセレクト

・STYLEモード: Bass, Kick, Phrase 1, Snare, Hi-hat,
Phrase 2, Percussion, Phrase 3, Main
Voice, Split Voice, Dual Voice

・SONGモード: Track1, 2, 3, 4, 5, 6, Main Voice, Split
Voice, Dual Voice

パートオン/オフ Bass, Kick, Phrase 1, Snare, Hi-hat,
Phrase 2, Percussion, Phrase 3

リアルタイムコントロール

ノブ: CUTOFF, RESONANCE, GROOVE, ASSIGN, BASS
BOOST

リボンコントローラー

ピッチベンドホイール

フットスイッチ

パフォーマンスセットアップ

プリセットA/B

ユーザー(4バンク×4ボタン)

オーバーオール

BPM(テンポ): 32~280

トランスポーズ

チューニング

パターン/ソング音量

リボンコントローラーアサイン

ノブアサイン

エフェクト

リバース: 8種類

コーラス: 4種類

DSP: 33種類

アルペジエーター: 16種類

ソング

プリセット3曲+ユーザー3曲

ソングクリア

録音

ユーザーソング: 3曲

リアルタイム録音/ステップ録音

録音トラック: 1, 2, 3, 4, 5, 6/CHORD

パフォーマンスセットアップ: ユーザー(4バンク×4ボタン)

デジタルサンプリング

サンプリング数: 最大12

メモリー: 128kバイト(約6秒)

ループ設定

エンドポイント設定

MIDI

リモートチャンネル設定

キーボードアウト/パターンアウト

ローカルオン/オフ

クロック

バルクダンブ送信

サンプルダンブ送信

イニシャルセンド

付属端子

DC IN 10-12V、PHONES/AUX OUT、
FOOT SWITCH、MIDI IN/OUT、LINE IN、MIC

アンプ実用最大出力

電源アダプターPA-5C使用時 6.0W + 6.0W(EIAJ)

乾電池使用時 5.6W + 5.6W(EIAJ)

スピーカー

12cm × 2

使用電池

単1乾電池(1.5V) × 6

電池寿命

約17時間

(アルカリ電池使用、デモ演奏連続使用、マスターボリューム
約70%)

使用電源アダプター

PA-5C

消費電力

電源アダプターPA-5C使用時 28W

寸法(幅×奥×高mm)

933 × 370 × 138

重量(kg) 乾電池含まず

6.8

付属品

電源アダプターPA-5C、譜面立て、取扱説明書、保証書

仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中川区木月1184 TEL. 044-434-3100
東京サービスステーション* (*お持込み修理のみお取扱い)	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-6625
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内 TEL. 087-822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
[本社]カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053-465-1158

ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器インフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-1696
受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

電子楽器営業部	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-6641
ポータブル楽器営業グループ		
北海道支店 第二営業課	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-512-6113
仙台支店 第二営業課	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6147
東京支店 第二営業部 企画課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5476
関東支店 第二営業課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-1688
名古屋支店 第二営業課	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5199
大阪支店 第二営業部 第二営業課	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL. 06-252-7491
広島支店 第二営業課	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3749
九州支店 第二営業課	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130

住所および電話番号は変更になる場合があります。

インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照下さい。

ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>



ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division © 1998 Yamaha Corporation

V233940 80?POTN?.?-01A0 Printed in China